EPSON

LP-9800C

ネットワーク設定ガイド

本機をネットワークプリンタとして使用していく上で必要となる情報を詳しく説明しています。また、各種トラブルの解決方法やお客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。目的に応じて必要な章をお読みください。

NPD0648-01

EPSON ESC/Page および ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
IBM PC 、IBM は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
ノベル、Novell、NetWare、NDS は、米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社の登録商標です。
NDS は、Novell Directory Services の略称です。
Novell Directory Services、Client 32、IPX、IntranetWare、IntranetWare Client、IPX/SPX、NetWare3、NetWare4、NetWare5、NetWare6、NLSP、NLM、SPX、NovellDistributed Print Services および NDPS は、米国 Novell, Inc. の商標です。
Apple の名称、Macintosh、PowerMacintosh、漢字 Talk、Mac、Mac OS、Mac OS X、AppleTalk、EtherTalk、Open Transport、Rendezvous、TrueType は Apple Computer, Inc. の登録商標または商標です。
MS-DOS、Microsoft、Windows および WindowsNT は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Acrobat Reader、PostScript は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。
Java およびすべての Java 関連の名称は、米国 Sun Microsytems,Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
This product includes software developed by the University of California, Berkeley, and its contributors.

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
② 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
④ 運用した結果の影響については、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
⑤ 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
⑥ エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

本書中のマーク、表記について

マークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

注 意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しないと想定される内容を記載しています。また、必ずお守りいただきたいこと（操作）を示しています。

参 考　補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

☞　関連する内容の参照ページを示しています。

Windows の表記について

Microsoft® Windows®95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows®98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows®Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Server 2003 Operating System 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 4.0 日本語版

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows NT4.0 と表記しています。また、Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows NT4.0 を総称する場合は、「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 95/98/Me」のように、Windows の表記を省略することがあります。

Mac OS/Macintosh の表記について

Apple® Mac OS® バージョン 8.6 ～ 9.2.2
Apple® Mac OS® X バージョン 10.2 およびそのアップデート版
Apple® Mac OS® X バージョン 10.3 およびそのアップデート版

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Mac OS 8/9、Mac OS X と表記しています。また、システム条件を表すために Mac OS 8.6-9.x、Mac OS X 10.2 以降のように省略したバージョンを表記することがあります。なお、これらの OS を総称する場合や Macintosh のハードウェア自体を表す場合は、「Macintosh」と表記します。

掲載画面について

- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows XP の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X 10.3 の画面を使用しています。

もくじ

ご使用の前に

設定の前に

コンピュータのネットワーク設定

ネットワークインターフェイスの設定

ダイヤルアップルータ使用時の注意

プリンタドライバのインストール

NetWare サーバの設定

EpsonNet Print の使い方

EpsonNet Config（Web）の使い方

困ったときは

その他の便利な機能の紹介

付録

ご使用の前に

最初にお読みください。ネットワークインターフェイスの機能と動作環境を説明します。

動作環境

ネットワークインターフェイスの動作環境

本機のネットワークインターフェイスの動作環境は次の通りです。

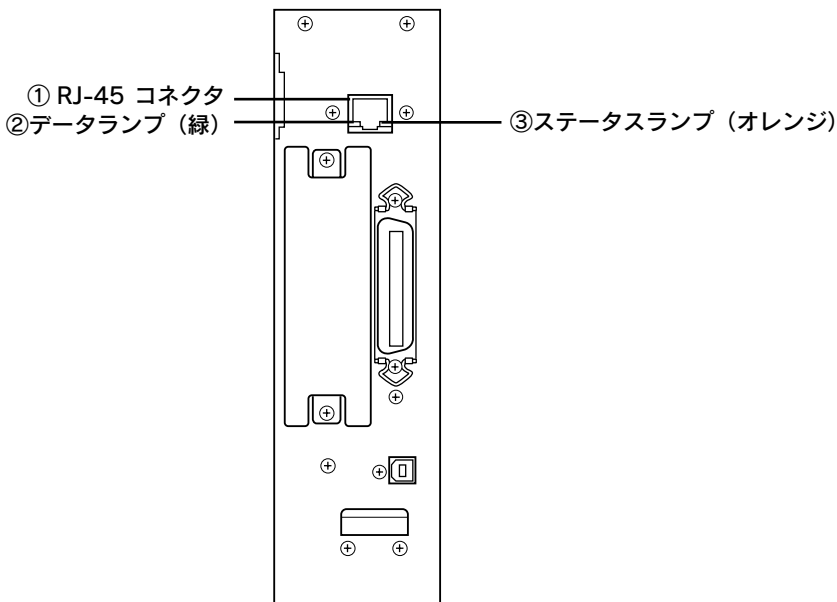
OS	バージョン	印刷方法
Windows 95/98	--	・TCP/IP（EpsonNet Print 使用） ・IPP（EpsonNet Internet Print 使用） ・MS Network
Windows Me	--	・TCP/IP（EpsonNet Print 使用） ・IPP ・MS Network
Windows NT 4.0	--	・TCP/IP（LPR または EpsonNet Print 使用） ・IPP（EpsonNet Internet Print 使用） ・MS Network
Windows 2000/XP/Server 2003	--	・TCP/IP（LPR、Standard TCP/IP Port または EpsonNet Print 使用） ・IPP ・MS Network
Macintosh	・Mac OS 8.6-9.x	・AppleTalk
	・Mac OS X 10.2.x-10.3.x	・EPSON AppleTalk ・EPSON TCP/IP ・Rendezvous
NetWare	・3.xJ	・バインダリモード
	・4.1xJ/4.2J ・IntranetWare-J	・NDS モード ・バインダリエミュレーションモード
	・5J/5.1J ・6.xJ	・NDS モード ・NDPS

参 考

- Windows XP/Server 2003 は NetBEUI プロトコルに正式に対応していませんが、Microsoft ネットワーク上の共有プリンタへの印刷は可能です。
☞23 ページ「コンピュータのネットワーク設定」
- Windows NT は、Windows NT（Intel 版）にのみ対応しています。
- Mac OS 9.x のマルチユーザー環境には対応していません。
- ダイヤルアップルータをご使用の環境に設置する場合、ネットワークインターフェイスには、必ずそのセグメントの設定に合った IP アドレスを設定してください。正しいアドレスを設定しないと、不必要なダイヤルアップが行われてしまう可能性があります。

各部の名称と働き

ネットワークインターフェイスの各部の名称と機能を説明します。

参考	ネットワークインターフェイスは、プリンタ本体の背面に装着されています。

① RJ-45 コネクタ

Ethernet ケーブルを接続します。Ethernet ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリー 5）を使用してください。10Base-T、100Base-TX のどちらでも使えます。

②データランプ（緑）

点灯：Link
点滅：データ受信中

③ステータスランプ（オレンジ）

点灯：100Base-TX で接続されている状態
消灯：10Base-T で接続されている状態

EpsonNet ソフトウェアのご案内

ここでは、本製品で使用できる各種ネットワーク関連のソフトウェアを紹介します。本製品に付属していないソフトウェアは、エプソンのホームページからダウンロードできます。EpsonNet ソフトウェアのインストールやダウンロードの方法については、以下のページをご覧ください。
☞ 14 ページ「ネットワークツール / ソフトウェアの入手方法」

印刷ツール

EpsonNet Print（本製品付属）

Windowsから、ネットワークプリンタにダイレクト印刷することができるツールです。TCP/IP プロトコルを使用します。
このツールを使うと、プリントサーバ（クライアントに印刷サービスを提供するコンピュータ）がない環境でも、ネットワークプリンタへの印刷が可能になります。
詳細は以下のページをご覧ください。
☞ 129 ページ「EpsonNet Printの使い方」

EpsonNet Internet Print

Windows 95/98/NT4.0 から、ネットワークプリンタにインターネット印刷することができるツールです。TCP/IP プロトコルを使用します。
このツールを使うと、プリントサーバ（クライアントに印刷サービスを提供するコンピュータ）がない環境でも、ネットワークプリンタへの印刷が可能になります。
インターネット印刷は、セグメントを越えて印刷する時に有効です。
入手方法については、以下のページをご覧ください。
☞ 14 ページ「ネットワークツール / ソフトウェアの入手方法」

参考 Windows Me/2000/XP/Server 2003 については、OS 標準の IPP ポートモニタをご使用ください。

設定ツール

EpsonNet Config（Windows）（本製品付属）

Windows から、ネットワークインターフェイスの各種アドレスや名称などを設定するためのツールです。TCP/IP、NetWare、MS Network、AppleTalk、SNMP に関する設定を行えます。
詳細は以下のページをご覧ください。
☞ 45 ページ「EpsonNet Config（Windows）」

EpsonNet Config（Mac OS 8/9 および Mac OS X）（本製品付属）

Macintosh から、ネットワークインターフェイスの各種アドレスや名称などを設定するためのツールです。TCP/IP、AppleTalk、SNMP に関する設定を行えます。
詳細は以下のページをご覧ください。
☞ 48 ページ「EpsonNet Config（Mac OS 8/9 および Mac OS X）」

EpsonNet Config（Web）（本製品付属）

ネットワークインターフェイスに内蔵しているツールです。ネットワーク上のコンピュータで、Web ブラウザから起動します。本機の操作パネルから可能な、ネットワークインターフェイス設定（TCP/IP、NetWare、MS Network、AppleTalk など）とプリンタ設定を行えます。プリンタ設定では、消耗品の確認や給紙装置の設定など、各種の確認・設定をすることができます。
EpsonNet Config（Web）は、ネットワークインターフェイスおよびコンピュータで IP アドレスが設定されていないと使えませんので、初めて設定する時は EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 8/9 および Mac OS X）をお使いください。
詳細は以下のページをご覧ください。
☞ 153 ページ「EpsonNet Config（Web）の使い方」

管理ソフトウェア

EpsonNet WebManager

ネットワークプリンタの状態把握やネットワークインターフェイスの各種設定のほか、印刷ジョブ情報の確認や消耗品の管理、プリンタドライバの自動配信などの機能を持つ、管理者用のソフトウェアです。ダウンロードしてお使いください。
入手方法については、以下のページをご覧ください。
☞ 14 ページ「ネットワークツール / ソフトウェアの入手方法」

EpsonNet LogBrowser V2

ネットワークプリンタの印刷ログの自動収集や、印刷枚数の制限をするソフトウェアです。用紙使用量やプリンタの利用状況の把握と管理が簡単に行えます。
入手方法については、以下のページをご覧ください。
☞ 14 ページ「ネットワークツール / ソフトウェアの入手方法」

EpsonNet InstallManager

ネットワークプリンタのクライアント側のセットアップを、自動で行えるソフトウェアです。各クライアントが、管理者により作成・配付されたスクリプトファイルを実行するだけでプリンタのセットアップが完了します。ネットワークプリンタを、多数のクライアントで共有する際に便利です。
入手方法については、以下のページをご覧ください。
☞ 14 ページ「ネットワークツール / ソフトウェアの入手方法」

ネットワークツール / ソフトウェアの入手方法

本製品に添付していないネットワークツール / ソフトウェアは以下の手順で入手してください。

1 コンピュータに、本製品付属の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

2 ウィルスチェックプログラムに対処します。

- ウィルスプログラムの実行中は、[インストール中止] ボタンをクリックしてウィルスチェックプログラムを終了させてから作業を開始します。
- ウィルスチェックプログラムがない、または停止中は [続ける] ボタンをクリックして次へ進みます。

参考	画面が自動的に表示されないときや [インストール中止] ボタンをクリックした後に作業を再開したいときは、[マイコンピュータ] 内の CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。

3 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認して [同意する] ボタンをクリックし、[EpsonNet ワールドにはいる] をクリックします。

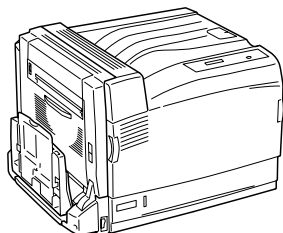
4 画面の指示に従って、必要なネットワークツール / ソフトウェアをダウンロードしてください。

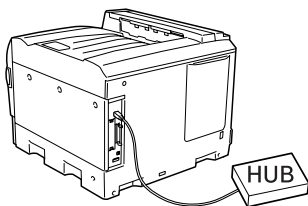
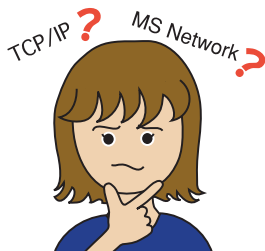
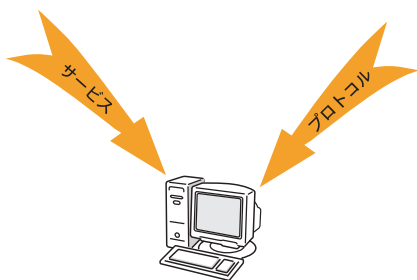
ネットワークツール / ソフトウェアはエプソンのホームページからダウンロードされます。

設定の前に

ネットワークプリンタの設定に不慣れな方は、この章をお読みください。ネットワークプリンタ導入作業の概要や、印刷方法などを紹介しています。

ネットワークプリンタ導入作業の流れ

ネットワークプリンタをお使いいただくための、作業の流れを説明します。

①プリンタをセットアップします	
	プリンタに用紙・トナー・感光体などをセットし、印刷可能な状態にセットアップします。 「セットアップガイド」（紙マニュアル）

②プリンタをネットワークに接続します	
 	プリンタとHUBをEthernetケーブルで接続します。 「セットアップガイド」（紙マニュアル）

③ネットワーク環境に応じて、印刷方法を決めます	
 	お使いのネットワークの形態やOSに応じて、印刷方法を決めます。 18ページ「印刷方法を決めます」

④コンピュータのネットワーク設定を確認

プリンタを利用するコンピュータのネットワーク設定を確認し、必要に応じてネットワークプロトコルなどを追加します。

☞ 23 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

⑤ネットワークプリンタ を設定します

本製品に付属の設定ユーティリティを使用して、印刷方法の選択とプリンタドライバのインストール、各種アドレスまたは名称などを設定します。
NetWare サーバを経由して印刷する場合は、前もってサーバ側のプリンタ環境を設定しておきます。

☞ 42 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

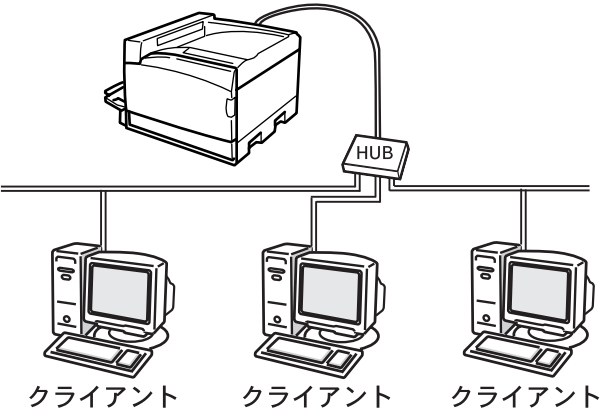
印刷方法を決めます

ネットワーク印刷プロトコルの知識がない方は、次の説明を参考にして、印刷方法を決めてください。

Windows から印刷する場合

プリントサーバ（クライアントに印刷サービスを提供するコンピュータ）として稼働しているWindows NT4.0/2000/XP/Server 2003の有無、印刷を実行するコンピュータのOSなどに応じて印刷方法を決めます。

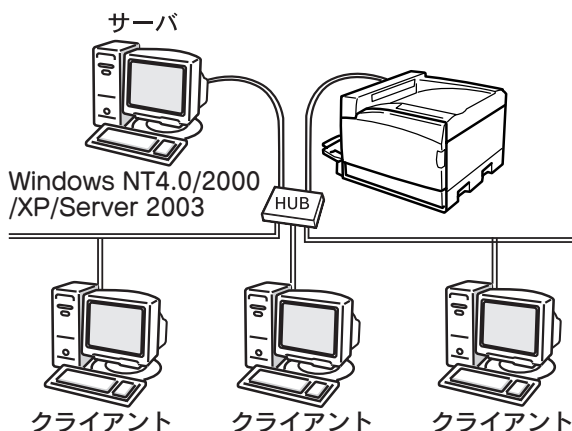
> **参考**
> - ここでは、推奨する方法のみ紹介します。" よくわからないけど、印刷できればいい " という方は、お使いの環境に合わせて推奨する方法で印刷してください。
> - ここで紹介しているほかにも、以下のページで説明する印刷方法があります。必要に応じてご覧ください。
> 21 ページ「各印刷方法の概要と特長」

プリントサーバが設置されていない場合

印刷を実行するコンピュータのOSに応じて、次の印刷方法を推奨します。

OS	印刷方法
Windows 95 Windows 98 Windows Me	本製品に付属のユーティリティ「EpsonNet Print」をインストールし、TCP/IP（ティーシーピー / アイピー）での直接印刷を行います。
Windows NT4.0 Windows 2000 Windows XP Windows Server 2003	Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 標準の LPR印刷機能を使って、TCP/IP での直接印刷を行います。

参 考

- LPRはWindows NT4.0/2000/XP/Server 2003が標準で備えている印刷機能です。
- 通常使用していないコンピュータがある場合は、そのコンピュータにWindows NT4.0/2000/XP/Server 2003をインストールし、LPR印刷機能を使ったプリンタを共有設定することで、プリントサーバとして機能させることができます。
  この場合クライアントは、OSを問わず共有プリンタに接続することになるため、複数のOSが混在している環境でも、クライアントの印刷設定を統一することができます。

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003が設置されている場合

次の印刷方法を推奨します。

- Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003でプリンタをLPR（TCP/IP）接続し、共有設定します。
- EpsonNet Config（Windows）からネットワークインターフェイス設定をし、クライアントから上記の共有プリンタに印刷します。

Macintosh から印刷する場合

Macintosh の各 OS は、次のプロトコルを使用して印刷することができます。

Mac OS 8.6-9.x

- AppleTalk

Mac OS X 10.2.x-10.3.x

- EPSON AppleTalk
- EPSON TCP/IP
- Rendezvous

☞ 38 ページ「Macintosh の場合」

各印刷方法の概要と特長

印刷方法の概要

印刷を実行するコンピュータのOSに応じて、次の印刷方法があります。

TCP/IPでの直接印刷

インターネットの標準プロトコル（言語）であるTCP/IP（ティーシーピー/アイピー）を使用して、コンピュータから印刷データをプリンタに直接送る方法です。

LPR（エルピーアール：Line Printer Remoteの略）

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003が標準で備えている印刷方法です。Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003からネットワークプリンタに印刷する場合、最も一般的な方法です。ルータを越えての利用が可能です。
Windows 95/98/Meには標準で備わっていませんが、本製品付属の印刷ユーティリティ「EpsonNet Print」を使用すると、LPRでの印刷が可能になります。

IPP（アイピーピー：Internet Printing Protocolの略）

Windows 2000/XP/Server 2003/Meが標準で備えている印刷方法です。インターネット印刷とも呼ばれる方法で、プロキシサーバ（外部インターネットに代理接続するサーバ）を越えて印刷することができますが、同一セグメント（ルータを越えない範囲）内のプリンタに印刷する方法としては、一般的ではありません。
Windows 95/98/NT4.0には標準で備わっていませんが、印刷ユーティリティ「EpsonNet Internet Print」を使用すると、IPPでの印刷が可能になります。

MS Network（Microsoftネットワークでのプリンタ共有）

Microsoftネットワーク（ワークグループ）上にプリンタが表示されます。ワークグループを構成している場合に、候補となる方法です。
TCP/IPではコンピュータ1台ずつで各種アドレスの設定が必要ですが、MS Network（エムエスネットワーク）ではその必要がないため、設定が簡単です（ただしWindows XP/Server 2003の場合は、各種アドレスの設定が必要です）。MS Networkは、同一セグメント（ルータを越えない範囲）内のプリンタに印刷する場合に利用できます。ルータを越えての利用はできません。

参考

- Windows 2000/XP/Server 2003でIPP接続したプリンタは共有設定できませんので、Windows 2000/XP/Server 2003をプリントサーバとして使う場合、IPP接続はしないでください。
- MS NetworkまたはIPP印刷の場合、用紙やトナー残量などの状態を確認できるユーティリティ「EPSONプリンタウィンドウ!3」は使用できませんのでご注意ください。

各印刷方法の長所と短所

各印刷方法の長所と短所は次の通りです。印刷方法を決める際の参考にしてください。

LPR（TCP/IP）

長所	• プリントサーバ（コンピュータ）が不要です（Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 では、LPR 接続したコンピュータをプリントサーバとして機能させることができます）。 • Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 では、特別な印刷ユーティリティは必要ありません。 • EPSONプリンタウィンドウ!3 を使って、プリンタの状態をコンピュータ上で確認することができます。 • Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 では、イベントビューアを使用して印刷ログ（記録）を取ることができます。 • ルータを越えて利用することができます。
短所	TCP/IP の設定が必要です（TCP/IP 環境では、プリンタを使う以前に必要）。

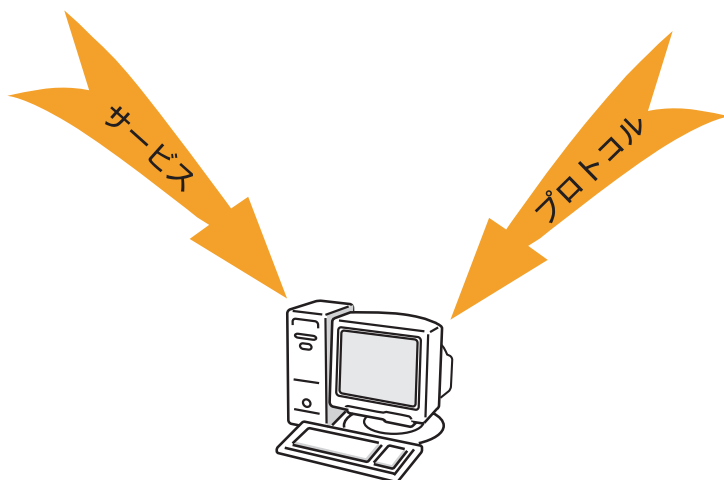
IPP（TCP/IP）

長所	• プリントサーバ（コンピュータ）が不要です。 • プロキシサーバを越えての印刷（インターネット上のプリンタへの印刷）が可能です。
短所	• EPSON プリンタウィンドウ!3 は使用できません。 • TCP/IP や DNSなどの設定が必要です（TCP/IP 環境では、プリンタを使う以前に必要）。 • ルータやプロキシサーバに対して、Port631 を利用可能にするための設定が必要です。 • Windows 95/98/NT4.0では、印刷を実行するコンピュータ1台1台にEpsonNet Internet Printをインストールする必要があります。 • Windows 95/98/NT4.0、Windows 2000/XP/Server 2003、Windows Me で、それぞれ印刷設定が異なり 1 台 1 台に設定する手間がかかります（複数の OS が混在している環境では、設定を統一できません）。 • Windows 2000/XP/Server 2003 で IPP 接続したプリンタは共有設定できません。

MS Network

長所	• 設定が簡単です（アドレス不要。ただし Windows XP/Server 2003 を除く）。 • プリントサーバ（コンピュータ）が不要です。 • 特別な印刷ユーティリティは必要ありません。 • 数種類の Windows 系 OS が混在している環境でも、各 OS で印刷方法をほぼ統一できます。
短所	• EPSON プリンタウィンドウ !3 は使用できません。 • ルータを越えて利用することはできません。 • ネットワークプリンタの検索に時間がかかり、印刷が通常よりも遅くなる場合があります（解決方法はありますが、ネットワークインターフェイスにIP アドレスが必要になります）。 • Windows XP/Server 2003 の場合は、各種アドレスの設定が必要です。

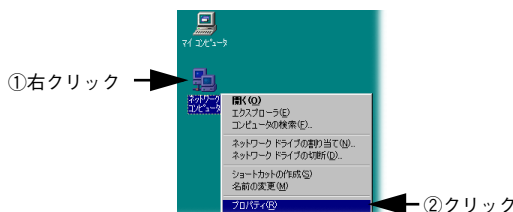
コンピュータのネットワーク設定

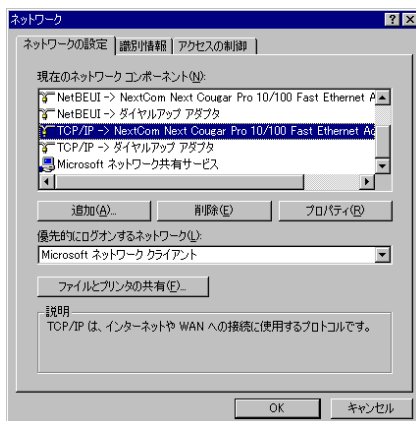
コンピュータからネットワークインターフェイスの設定や印刷を行うには、前もってコンピュータでネットワークに関する各種設定を行う必要があります。ここでは、その手順を説明します。

Windows 95/98/Me の場合

Windows 98 の画面を例に説明します。

参 考	● 設定時、Windows 95/98/Me の CD-ROM が必要な場合があります。 ● LPR または IPP 印刷を行う場合は、IP アドレスなどの各種アドレスを設定する必要があります。各種アドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。各種アドレスがわからない場合は、以下をご覧ください。 ☞ネットワーク簡単セットアップガイド（Windows）「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」

1 ［ネットワークコンピュータ］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

Windows Me の場合は、［マイネットワーク］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

2 次ページの表を参照し、［ネットワークの設定］画面に必要なコンポーネントが組み込まれているか確認します。

必要なコンポーネントが組み込まれていない場合は、手順 3 に進みます。
組み込まれていれば設定の必要はありません。［OK］ボタンをクリックして、以下のページへ進んでください。
☞51 ページ「ネットワークインターフェイス設定」

本製品に付属のユーティリティを使用してネットワークインターフェイスを設定する場合

設定内容	必要なコンポーネント
TCP/IP、AppleTalk、SNMP（IP トラップ）	TCP/IP
MS Network	NetBEUI
NetWare、SNMP（IPX トラップ）	Client32 または IntranetWare Client などの、NetWare Client をインストールしてください。

参考

次のモードで使用する場合は、Novell Client for Windows 95/98 Version3.00 および、Novell Client for WindowsNT Version4.50 は使用しないでください。

- NetWare3.xJ/4.xJ バインダリプリントサーバモード
- NetWare3.xJ リモートプリンタモード
- NetWare4.xJ バインダリリモートプリンタモード
- NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ/6.xJ NDS リモートプリンタモード

ネットワークプリンタに印刷する場合

印刷方法	必要なコンポーネント
LPR または IPP 印刷	• TCP/IP
Microsoft ネットワーク共有印刷	• NetBEUI • Microsoft ネットワーククライアント
NetWare サーバ経由印刷	下記は Microsoft 製のコンポーネントを使用する場合の例です。 • IPX/SPX 互換プロトコル • NetWare ネットワーククライアントまたはクライアント（NetWare ネットワーク用）

コンポーネントの追加

3 必要なコンポーネントが組み込まれていない場合は、[追加] ボタンをクリックします。

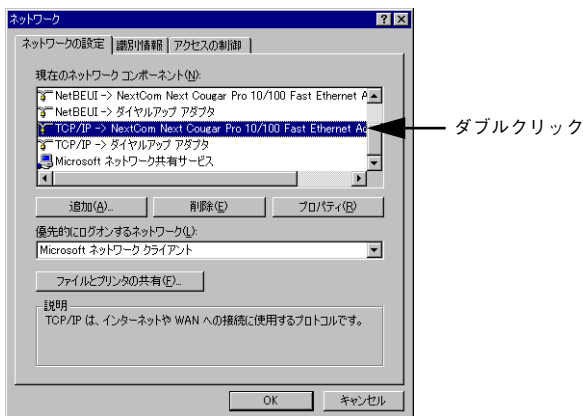
4 下表を参照し、必要なコンポーネントをインストールします。

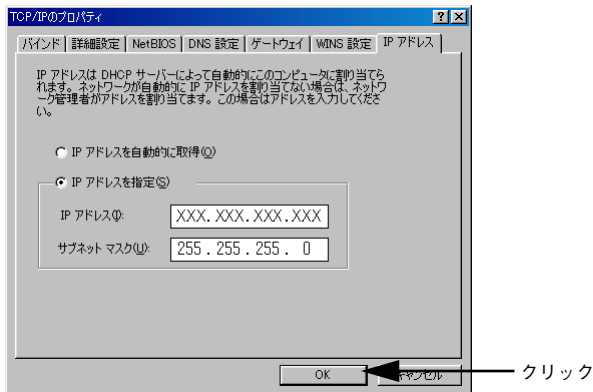
設定内容	コンポーネントのインストール手順
TCP/IP、MS Network、AppleTalk、SNMP（IP トラップ）	**TCP/IP ：** ①［プロトコル］を選択し、［追加］ボタンをクリックします。 ②製造元で［Microsoft］、ネットワークプロトコルで［TCP/IP］をクリックして、［OK］ボタンをクリックします。 ③手順 5 に進んでアドレスを設定します。 **NetBEUI ：** ①［プロトコル］を選択して［追加］ボタンをクリックします。 ②製造元で［Microsoft］、ネットワークプロトコルで［NetBEUI］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。 **IPX/SPX 互換プロトコル：** ①［プロトコル］を選択し、［追加］ボタンをクリックします。 ②製造元で［Microsoft］、ネットワークプロトコルで［IPX/SPX 互換プロトコル］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

印刷方法	コンポーネントのインストール手順
LPR または IPP 印刷	①［プロトコル］を選択し、［追加］ボタンをクリックします。 ②製造元で［Microsoft］、ネットワークプロトコルで［TCP/IP］をクリックして、［OK］ボタンをクリックします。 ③手順 5 に進んでアドレスを設定します。
Microsoft ネットワーク共有印刷	**NetBEUI ：** ①［プロトコル］を選択して［追加］ボタンをクリックします。 ②製造元で［Microsoft］、ネットワークプロトコルで［NetBEUI］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。 **Microsoft ネットワーククライアント：** ③［クライアント］を選択して［追加］ボタンをクリックします。 ④製造元で［Microsoft］、ネットワーククライアントで［Microsoft ネットワーククライアント］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。設定が終了したら、［OK］ボタンをクリックして画面を閉じます。 ⑤この後は、手順 7 に進みます。

印刷方法	コンポーネントのインストール手順
NetWare サーバ経由印刷	下記手順は、Microsoft 製コンポーネントを使用する場合の手順です。 **IPX/SPX 互換プロトコル：** ①［プロトコル］を選択し、［追加］ボタンをクリックします。 ②製造元で［Microsoft］、ネットワークプロトコルで［IPX/SPX 互換プロトコル］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。 **NetWareネットワーククライアントまたはクライアント(NetWareネットワーク用)：** ③［クライアント］を選択して［追加］ボタンをクリックします。 ④製造元で［Microsoft］、ネットワーククライアントで［NetWare ネットワーククライアント］または［クライアント (NetWare ネットワーク用)］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。設定が終了したら、［OK］ボタンをクリックして画面を閉じます。 ⑤この後は、手順 7 に進みます。

アドレスの設定（LPR または IPP 印刷のみ）

5 各種アドレスを設定します。追加した［TCP/IP］をダブルクリックします。

6 **各種アドレスを設定し、[OK] ボタンをクリックします。**

☞ 212 ページ「設定する IP アドレスがわからない」
☞ ネットワーク簡単セットアップガイド(Windows)「IP アドレスは何番に設定する？」

7 **コンピュータを再起動してください。**

これでコンピュータのネットワーク設定は終了です。次にネットワークインターフェイスを設定してください。

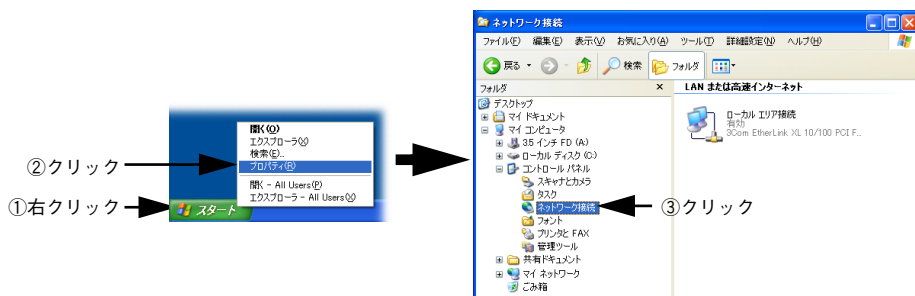
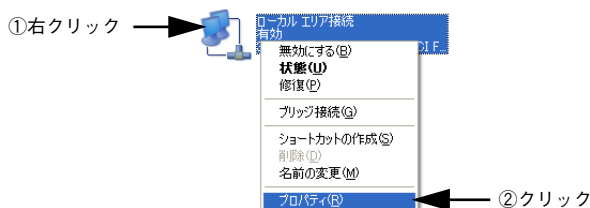
☞ 42 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

参 考

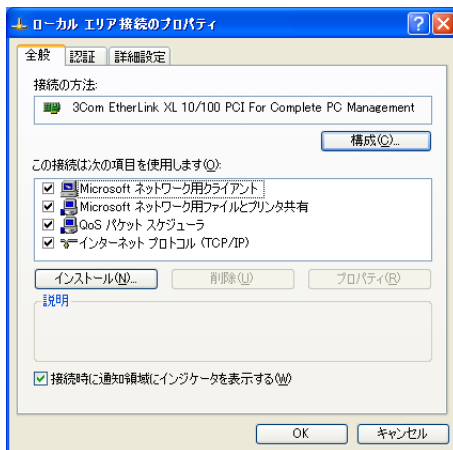
- 設定時、Windows 2000/XP/Server 2003のCD-ROMが必要な場合があります。
- Windows XP/Server 2003 では NetBEUI プロトコルを使用しての印刷はサポートされていませんが、Microsoft ネットワーク上の共有プリンタへの印刷は可能です。この場合、TCP/IP を組み込み IP アドレスを設定しておく必要があります。
- LPR または IPP 印刷を行う場合は、IP アドレスなどの各種アドレスを設定する必要があります。各種アドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。各種アドレスがわからない場合は、以下をご覧ください。
  ネットワーク簡単セットアップガイド（Windows）「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」

1 **［スタート］ボタンを右クリックして、［エクスプローラ］をクリックし、表示された画面で［コントロールパネル］-［ネットワーク接続］をクリックします。**

Windows Server 2003 の場合は、［スタート］ボタン -［コントロールパネル］-［ネットワーク接続］の順にクリックします。
Windows 2000 の場合は、［マイネットワーク］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

2 **［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**

3 **下表を参照し、必要なコンポーネントが組み込まれているか確認します。**

必要なコンポーネントが組み込まれていない場合は、手順 4 に進みます。
組み込まれていれば設定の必要はありません。[OK] ボタンをクリックして、以下のページへ進んでください。

☞ 42 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

参 考

- Windows XP/Server 2003 でインターネットプロトコル（TCP/IP）が必要な場合は、[インターネットプロトコル（TCP/IP）] にチェックを付けて、手順 6 に進みます。
- コンポーネントのチェックが外れている場合は、必要なコンポーネントにチェックを付けてください。

本製品に付属のユーティリティを使用してネットワークインターフェイスを設定する場合

設定内容	必要なコンポーネント
TCP/IP、AppleTalk、SNMP（IP トラップ）	インターネットプロトコル（TCP/IP）
MS Network	NetBEUI プロトコル（Windows XP/Server 2003 は NetBEUI に対応していません。TCP/IP が必要です。）
NetWare、SNMP（IPX トラップ）	Client32 または IntranetWare Client などの、NetWare Client をインストールしてください。

参 考

次のモードで使用する場合は、Novell Client for Windows 95/98 Version3.00 および、Novell Client for WindowsNT Version4.50 は使用しないでください。

- NetWare3.xJ/4.xJ バインダリプリントサーバモード
- NetWare3.xJ リモートプリンタモード
- NetWare4.xJ バインダリリモートプリンタモード
- NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJNDS リモートプリンタモード

ネットワークプリンタに印刷する場合

印刷方法	必要なコンポーネント
LPR または IPP 印刷	インターネットプロトコル（TCP/IP）
Microsoft ネットワーク共有印刷	• NetBEUIプロトコル（Windows XP/Server 2003はNetBEUIに対応していません。TCP/IP が必要です。） • Microsoft ネットワーク用クライアント
NetWare サーバ経由印刷	下記は Microsoft 製のコンポーネントを使用する場合の例です。 • NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロトコル • NetWare 用クライアントサービス

コンポーネントの追加

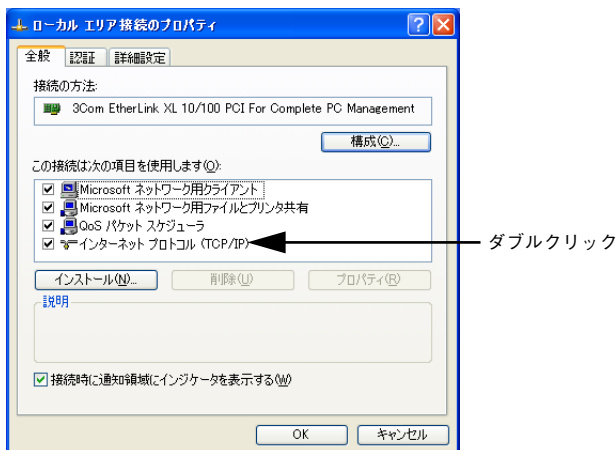
4 ［インストール］ボタンをクリックします。

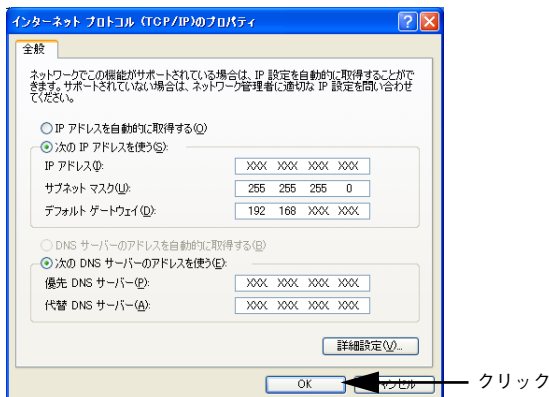
5 次ページの表を参照し、必要なコンポーネントをインストールします。

設定内容	コンポーネントのインストール手順
TCP/IP、MS Network、AppleTalk、SNMP（IP トラップ）	**インターネットプロトコル（TCP/IP）（Windows 2000 の場合）：** ①［プロトコル］をダブルクリックし、［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をダブルクリックします。 ②手順 6 に進んでアドレスを設定します。 **NetBEUI プロトコル（Windows2000 の場合）：** ［プロトコル］をダブルクリックし、［NetBEUI プロトコル］をダブルクリックします。 **NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロトコル：** ［プロトコル］をダブルクリックし、［NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロトコル］をダブルクリックします。

印刷方法	コンポーネントのインストール手順
LPR または IPP 印刷（Windows 2000 の場合）	①［プロトコル］をダブルクリックし、［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をダブルクリックします。 ②手順 6 に進んでアドレスを設定します。
Microsoft ネットワーク共有印刷	**NetBEUI プロトコル（Windows 2000 の場合）：** ①［プロトコル］をダブルクリックし、［NetBEUI プロトコル］をダブルクリックします。 **Microsoft ネットワーク用クライアント：** ②［クライアント］をダブルクリックし、［Microsoft ネットワーク用クライアント］をダブルクリックします。 ③インストールしたら、［OK］ボタンをクリックし、手順8 に進みます。
Netware サーバ経由印刷	下記手順は、Microsoft 製コンポーネントを使用する場合の手順です。 **NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロトコル：** ①［プロトコル］をダブルクリックし、［NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロトコル］をダブルクリックします。 **NetWare 用クライアントサービス：** ②［クライアント］をダブルクリックし、［NetWare 用クライアントサービス］をダブルクリックします。 ③この後は、手順 8 に進みます。

アドレスの設定（LPR または IPP 印刷のみ）

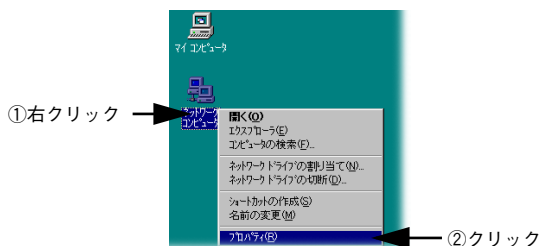
6 各種アドレスを設定します。追加した［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をダブルクリックします。

7 各種アドレスを設定し、［OK］ボタンをクリックします。

☞ 212 ページ「設定する IP アドレスがわからない」
☞ ネットワーク簡単セットアップガイド（Windows）「IP　アドレスは何番に設定する？」

8 コンピュータを再起動してください。

これでコンピュータのネットワーク設定は終了です。次にネットワークインターフェイスを設定してください。
☞ 42 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

Windows NT4.0 の場合

> **参 考**
> - 設定時、Windows NT4.0 の CD-ROM が必要な場合があります。
> - LPR または IPP 印刷を行う場合は､IP アドレスなどの各種アドレスを設定する必要があります。各種アドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。各種アドレスがわからない場合は、以下をご覧ください。
> ☞ネットワーク簡単セットアップガイド（Windows）「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」

1 ［ネットワークコンピュータ］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

2 **次ページの表を参照し、必要なコンポーネントが組み込まれているか確認します。**

必要なコンポーネントが組み込まれていない場合は、手順 3 に進みます。
組み込まれていれば設定の必要はありません。［OK］ボタンをクリックして、以下のページへ進んでください。
☞ 42 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

本製品に付属のユーティリティを使用してネットワークインターフェイスを設定する場合

設定内容	必要なコンポーネント
TCP/IP、AppleTalk、SNMP（IPトラップ）	［プロトコル］画面：TCP/IP プロトコル
MS Network	［プロトコル］画面：NetBEUI プロトコル
NetWare、SNMP（IPX トラップ）	Client32 または IntranetWare Client などの、NetWare Client をインストールしてください。

参 考

次のモードで使用する場合は、Novell Client for Windows 95/98 Version3.00 および、Novell Client for WindowsNT Version4.50 は使用しないでください。

- NetWare3.xJ/4.xJ バインダリプリントサーバモード
- NetWare3.xJ リモートプリンタモード
- NetWare4.xJ バインダリリモートプリンタモード
- NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ NDS リモートプリンタモード

ネットワークプリンタに印刷する場合

印刷方法	必要なコンポーネント
LPR または IPP 印刷	［プロトコル］画面：TCP/IP プロトコル ［サービス］画面：Microsoft TCP/IP 印刷
Microsoft ネットワーク共有印刷	［プロトコル］画面：NetBEUI プロトコル ［サービス］画面：ワークステーション
NetWare サーバ経由印刷	下記は Microsoft 製のコンポーネントを使用する場合の例です。 ［プロトコル］画面：NWLink IPX/SPX 互換トランスポート ［サービス］画面：Client Service for NetWare

コンポーネントの追加

3 次ページの表を参照し、必要なコンポーネントをインストールします。

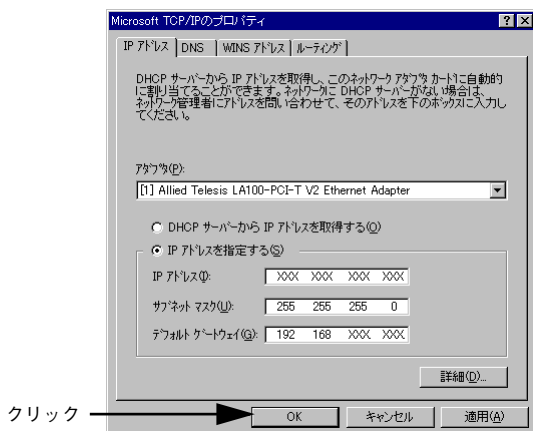
設定内容	コンポーネントのインストール手順
TCP/IP、MS Network、AppleTalk、SNMP（IP トラップ）	**TCP/IP プロトコル：** ①［プロトコル］タブをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。 ②［TCP/IP プロトコル］を選択して［OK］ボタンをクリックします。 ③ DHCP サーバを使用しない設定で［閉じる］ボタンをクリックすると、［Microsoft TCP/IP のプロパティ］画面が開いて IP アドレスなどを設定できます。手順4 へ進んで IP アドレスなどを設定してください。 **NetBEUI プロトコル：** ①［プロトコル］タブをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。 ②［NetBEUI プロトコル］を選択して［OK］ボタンをクリックします。 **NWLink IPX/SPX 互換トランスポート：** ①［プロトコル］タブをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。 ②［NWLink IPX/SPX 互換トランスポート］を選択して［OK］ボタンをクリックします。

印刷方法	コンポーネントのインストール手順
LPR または IPP 印刷	**TCP/IP プロトコル：** ①［プロトコル］タブをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。 ②［TCP/IP プロトコル］を選択して［OK］ボタンをクリックします。 ③ DHCP サーバを使用しない設定で［閉じる］ボタンをクリックすると、［Microsoft TCP/IP のプロパティ］画面が開いて IP アドレスなどを設定できます。手順4 へ進んで IP アドレスなどを設定してください。 **Microsoft TCP/IP 印刷：** ④［サービス］タブをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。 ⑤［Microsoft TCP/IP 印刷］を選択して［OK］ボタンをクリックします。
Microsoft ネットワーク共有印刷	**NetBEUI プロトコル：** ①［プロトコル］タブをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。 ②［NetBEUI プロトコル］を選択して［OK］ボタンをクリックします。 **ワークステーション：** ③［サービス］タブをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。 ④［ワークステーション］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。
Netware サーバ経由印刷	下記手順は、Microsoft 製コンポーネントを使用する場合の手順です。 **NWLink IPX/SPX 互換トランスポート：** ①［プロトコル］タブをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。 ②［NWLink IPX/SPX 互換トランスポート］を選択して［OK］ボタンをクリックします。 **Client Service for NetWare：** ③［サービス］タブをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。 ④［Client Service for NetWare］を選択して［OK］ボタンをクリックします。

アドレスの設定（LPR または IPP 印刷のみ）

4 ［IP アドレス］タブで各種アドレスを設定し、［OK］ボタンをクリックします。

☞ 212 ページ「設定する IP アドレスがわからない」

☞ ネットワーク簡単セットアップガイド（Windows）「IP　アドレスは何番に設定する？」

5 コンピュータを再起動してください。

これでコンピュータのネットワーク設定は終了です。次にネットワークインターフェイスを設定してください。

☞ 42 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

Macintosh の場合

Macinsoth の場合、Mac OS のバージョンによって利用できるプロトコル、および設定方法が異なりますので、ご利用の Mac OS のバージョンをご確認の上、設定してください。

参考	Mac OS 8.6-9.x での印刷は、[AppleTalk] 印刷のみとなります。

Mac OS 8.6-9.x の場合

AppleTalk の設定

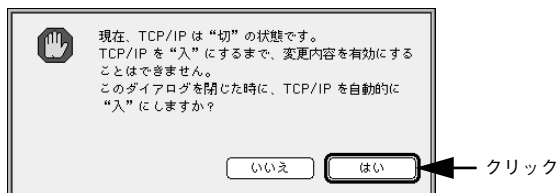
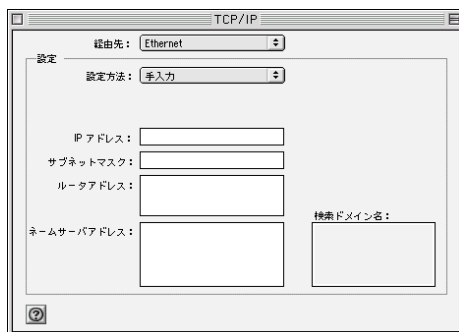
1. **[コントロールパネル] - [AppleTalk] を選択します。**

2. **[経由先：] ドロップダウンリストから [Ethernet] を選択します。**
[AppleTalk] 印刷をする場合や EpsonNet Config（Mac OS 8/9）でネットワークインターフェイスを設定するには、上記の設定だけでご利用いただけます。次にネットワークインターフェイスを設定してください。
☞ 42 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

参考

- EpsonNet Config（Web）または EpsonNet WebManager を使用したい場合は、コンピュータに IP アドレス等を設定してください。
☞ 39 ページ「Open Transport 使用時の IP アドレス設定手順」
- EpsonNet Config（Mac OS 8/9 および Mac OS X）、EpsonNet Config（Web）、EpsonNet WebManager については、以下のページをご覧ください。
☞ 45 ページ「EpsonNet Config のインストールと起動」
☞ 153 ページ「EpsonNet Config（Web）の使い方」
☞ 225 ページ「ネットワーク管理ツールのご案内」

Open Transport 使用時の IP アドレス設定手順

1. ［コントロールパネル］-［TCP/IP］を選択します。このとき、次の画面が表示されたら［はい］ボタンをクリックしてください。

2. ［経由先：］ドロップダウンリストから［Ethernet］を選択します。［設定方法：］や、設定値についてはネットワーク管理者に確認してください。

Mac OS X の場合

Mac OS X では、以下のプロトコルを使用した印刷が可能です。

- EPSON AppleTalk：Mac OS X 10.2.x 以降で使用できます。
- EPSON TCP/IP：Mac OS X 10.2.x 以降で使用できます。
- Rendezvous：Mac OS X 10.2.4 以降で使用できます。

参考

- プロトコルの設定を行うには管理者の権限を持つユーザーでログインする必要があります。
- EpsonNet Config（Web）、EpsonNet WebManager を使うには、コンピュータとネットワークインターフェイスに、それぞれ IP アドレスなどの設定が必要です。
41 ページ「TCP/IP の設定」

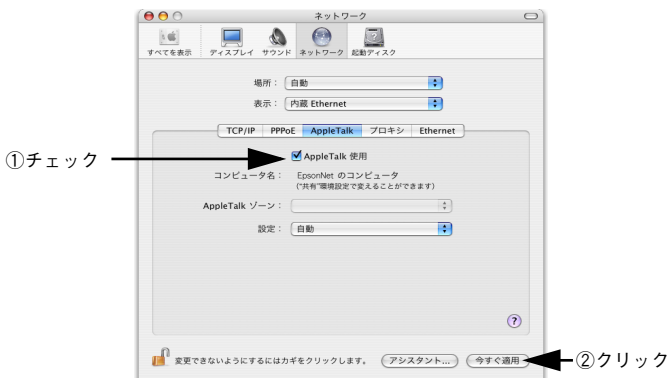
AppleTalk の設定

1. ［システム環境設定］の［ネットワーク］-［AppleTalk］タブをクリックします。

参考

［AppleTalk］タブが見当たらない場合は、［ネットワーク］画面の［表示：］ドロップダウンリストで［内蔵 Ethernet］が選択されているかを確認してください。

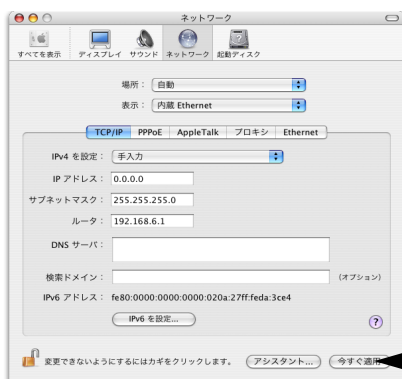
2. ［AppleTalk］タブで［AppleTalk 使用］にチェックを付け、［今すぐ適用］ボタンをクリックします。

［AppleTalk］印刷をする場合や EpsonNet Config（Mac OS X）でネットワークインターフェイス を設定するには、上記の設定だけでご利用いただけます。次にネットワークインターフェイスを設定してください。
42 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

TCP/IP の設定

1 ［システム環境設定］の［ネットワーク］をクリックします。

> **参 考**
> ［ネットワーク］画面の［表示：］ドロップダウンリストで［内蔵 Ethernet］が選択されているかを確認してください。

2 ［TCP/IP］タブで必要事項を設定します。設定終了後、［今すぐ適用］ボタンをクリックします。

> **参 考**
> - ［設定：］または［IPv4 を設定：］ドロップダウンリストで［手入力］が選択されているかを確認してください。
> - ［設定：］または［IPv4 を設定：］と、各設定値についてはネットワーク管理者に確認してください。

Rendezvous 機能について

Rendezvous を使用して印刷する場合、Macintosh は DHCP または APIPA などで IP アドレスを取得する必要があります（上記「TCP/IP の設定」を参照）。

> **参 考**
> Rendezvous で印刷するには、本機の操作パネルまたは本製品に付属のユーティリティを使用してネットワークインターフェイスの「Rendezvous 機能」を有効にする必要があります。
> 詳細については、EpsonNet Config（Mac OS 8/9 および Mac OS X）または以下のページをご覧ください。
> ☞162 ページ「Rendezvous の設定」
> 操作パネルからの設定方法については、ユーザーズガイド（PDF）をご覧ください。

ネットワークインターフェイスの設定

コンピュータのプロトコルを設定したら、ネットワークインターフェイスの設定をします。
ここではユーティリティを使っての設定方法を説明します。

設定方法の概要

本製品に付属のユーティリティを使用してネットワークインターフェイスの各種設定を行い、本機をネットワークプリンタとして印刷可能な状態にセットアップします。

Windows から設定する場合

本製品に付属のユーティリティ「EpsonNet Config（Windows）」をお使いください。
☞ 45 ページ「EpsonNet Config（Windows）」
EpsonNet Config（Windows）では、TCP/IP・NetWare・MS Network・AppleTalk・SNMP などの設定ができます。

Macintosh から設定する場合

本製品に付属のユーティリティ「EpsonNet Config（Mac OS 8/9 および Mac OS X）」をお使いください。
☞ 48 ページ「EpsonNet Config（Mac OS 8/9 および Mac OS X）」
EpsonNet Config（Mac OS 8/9 および Mac OS X）では、AppleTalk・TCP/IP・SNMP などの設定ができます。

参 考

- 本機の操作パネルでネットワークインターフェイスの TCP/IP 設定ができます。操作パネルからの設定方法については、ユーザーズガイド（PDF）をご覧ください。
- IP アドレスは、ARP/PING コマンドで設定することもできます。
  ☞ 240 ページ「ARP/PING コマンドでの IP アドレス設定」
  ただし、ARP/PING コマンドでは IP アドレスしか設定できません。サブネットマスクやゲートウェイアドレスを設定する場合は、EpsonNet Config（Windows）を使用してください。

動作環境

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 8/9 および Mac OS X）は、次の環境で動作します。

システム条件

次の条件をすべて満たす必要があります。

- 下記の OS が動作する環境
- IBM PC/AT 互換機、PC9801 シリーズまたは Apple 社 Macintosh シリーズ
- ハードディスクの空き容量：15MB 以上

対象 OS

- Windows 95/98/Me
- Windows NT4.0 Server/Workstation（サービスパック 5 以上）
- Windows 2000 Server/Professional
- Windows XP Home Edition/Professional
- Windows Server 2003
- Mac OS 8.6-9.x
- Mac OS X 10.2.x 以降

本機のネットワークインターフェイスを設定するためには、必ず本製品に付属の EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 8/9 および Mac OS X）をお使いください。

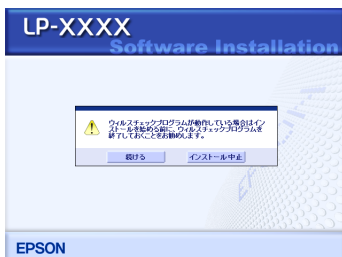
EpsonNet Config のインストールと起動

EpsonNet Config（Windows）

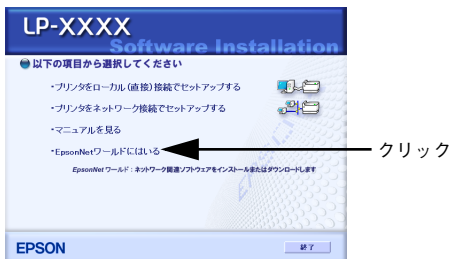
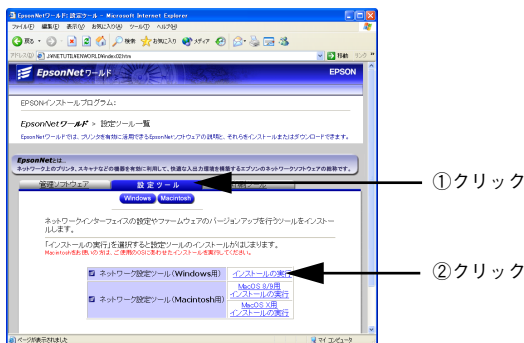
EpsonNet Config（Windows）のインストールと起動方法を説明します。

インストール

1. **コンピュータに、本製品付属の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。**

2. **ウィルスチェックプログラムに対処します。**
   - ウィルスプログラムの実行中は、［インストール中止］ボタンをクリックしてウィルスチェックプログラムを終了させてから作業を開始します。
   - ウィルスチェックプログラムがない、または停止中は［続ける］ボタンをクリックして次へ進みます。

参考	画面が自動的に表示されないときや［インストール中止］ボタンをクリックした後に作業を再開したいときは、［マイコンピュータ］内の CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。

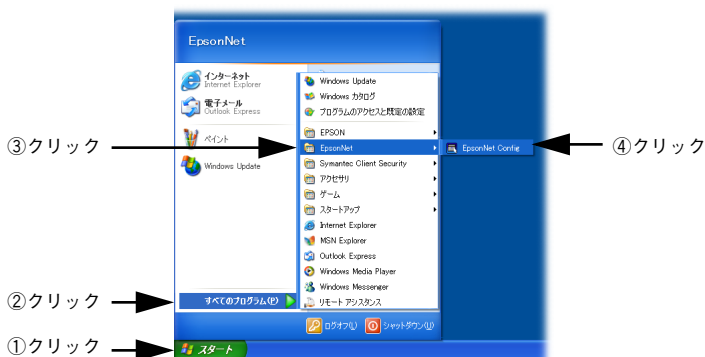
3. **使用許諾契約書の画面が表示されたら、内容を確認して［同意する］ボタンをクリックします。**

4. **［EpsonNet ワールドにはいる］をクリックします。**

5 ［設定ツール］タブをクリックし、［ネットワーク設定ツール（Windows 用）］の［インストールの実行］をクリックします。

6 この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

7 設定に必要なプロトコルが、お使いのコンピュータに組み込まれているか確認してください。

起動

8 プリンタの電源がオンになっていることを確認してください。

9 ［スタート］ボタン -［すべてのプログラム］-［EpsonNet］-［EpsonNet Config］の順にクリックして起動します。
Windows 95/98/Me/NT4.0 の場合は、［スタート］ボタン -［プログラム］-［EpsonNet］-［EpsonNet Config］の順にクリックします。

参 考

NetWare の場合は、管理者権限でログインしている必要があります。

以下のページに進んで、ネットワークインターフェイスの設定をしてください。
51 ページ「ネットワークインターフェイス設定」

EpsonNet Config（Mac OS 8/9 および Mac OS X）

EpsonNet Config（Mac OS 8/9 および Mac OS X）のインストールと起動方法を説明します。

参 考

- Mac OS 8/9 とMac OS X では、それぞれインストールするEpsonNet Config が異なります。各Mac OS 用の EpsonNet Config をインストールしてください。
- Mac OS X に EpsonNet Config（MacOS X）をインストールするには、管理者の権限を持つユーザーでログインする必要があります。
- Mac OS X 独自のファイルフォーマット「UNIX ファイルシステム」には対応していません。

インストール

1 **コンピュータに、本製品付属の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットし、デスクトップの CD-ROM アイコンをダブルクリックします。**

Mac OS 8.6-9.x の場合は、コンピュータに CD-ROM をセットして次へ進みます。

2 **［Mac OS X 用］アイコンをダブルクリックします。**

Mac OS 8.6-9.x の場合は、［Mac OS 8/9 用］アイコンをダブルクリックします。

<< インストーラ >>
お使いのOS用のアイコンを
ダブルクリックしてください

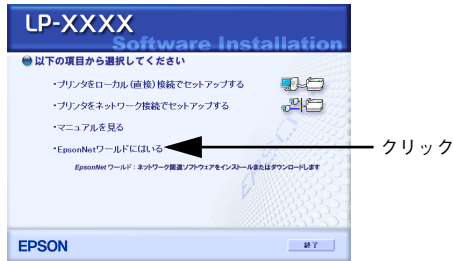
Mac OS 8/9用

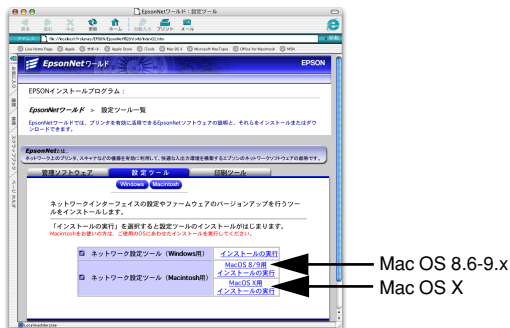
Mac OS X用

3 **ウィルスチェックプログラムに対処します。**

- ウィルスプログラムの実行中は、［インストール中止］ボタンをクリックしてウィルスチェックプログラムを終了させてから作業を開始します。
- ウィルスチェックプログラムがない、または停止中は［続ける］ボタンをクリックして次へ進みます。

4 **使用許諾契約書の画面が表示されたら、内容を確認して［同意する］ボタンをクリックします。**

5 ［EpsonNet ワールドにはいる］をクリックします。

6 ［設定ツール］タブをクリックし、［ネットワーク設定ツール（Macintosh 用）］の［Mac OS X 用インストールの実行］をクリックします。

Mac OS 8.6-9.x の場合は、［設定ツール］タブをクリックし、［ネットワーク設定ツール（Macintosh 用）］の［Mac OS 8/9 用インストールの実行］をクリックします。

7 この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

参 考	インストール完了後に、再起動を促す画面が表示された場合は再起動してください。

起動

8 プリンタの電源がオンになっていることを確認してください。

9 ［Macintosh HD］アイコンをダブルクリックした後、［アプリケーション］フォルダをダブルクリックします。

Mac OS 9.x 場合は、［Applications（Mac OS 9）］フォルダをダブルクリックします。

参 考	［Macintosh HD］の名前を変更している場合は、Mac OS を起動しているディスクをダブルクリックしてください。

10 ［EpsonNet］フォルダをダブルクリックします。

11 ［EpsonNet Config］フォルダをダブルクリックします。

12 ［EpsonNet Config］アイコンをダブルクリックしてソフトウェアを起動します。

以下のページに進んで、ネットワークインターフェイスの設定をしてください。
☞ 51 ページ「ネットワークインターフェイス設定」

ネットワークインターフェイス設定

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 8/9 および Mac OS X）を使って、ネットワークインターフェイスを設定します。EpsonNet Config（Windows）の画面を例に説明します。EpsonNet Config（Mac OS 8/9 および Mac OS X）の場合も手順は同様です。

参 考

- ダイヤルアップ環境で、ネットワークインターフェイスを NetWare で使用しない場合は、NetWare 設定画面にある［NetWare を使用する］項目のチェックを外してください。
  NetWare を使用しない場合にチェックが付いていると、ダイヤルアップルータを使用したときに、余分な回線使用料がかかるおそれがあります。
- NetWare の設定を行う場合は、NetWare の通信プロトコルである IPX を使用し、NetWare サーバまたは NDS コンテキストに管理者の権限でログインしておいてください。
- NetWare 5.xJ/6.xJ の環境で NetWare を設定する場合、NetWare サーバには IPX 接続でログインしてください。IP 接続でログインすると、NetWare および SNMP の IPX トラップの設定ができません。

1 画面のリストで、設定するプリンタをクリックして選択します。

参考

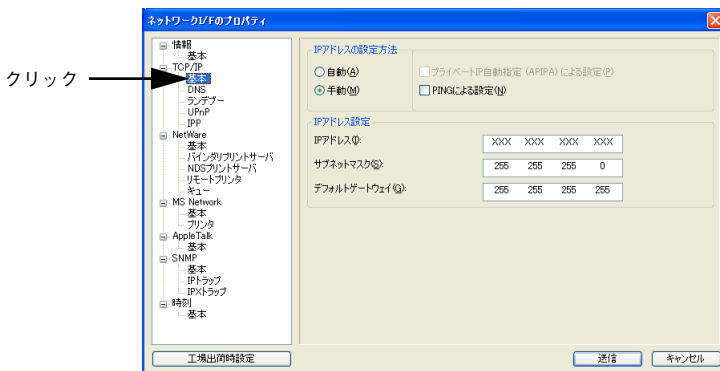
- ネットワークインターフェイスのIPアドレスが工場出荷時設定の場合、モデル名が表示されないことがあります。この場合は、MAC アドレスで判別します。MACアドレスはネットワークステータスシートで確認できます。
231ページ「ネットワークステータスシート」
- 同一モデルのプリンタが複数台ある場合は、MAC アドレスで判別します。MACアドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。
231ページ「ネットワークステータスシート」
- お使いのコンピュータのローカルネットワーク外にあるプリンタは、[ツール] メニューの [オプション] - [探索方法] で設定すると、表示されます。
- IPX グループにプリンタが表示されない場合は、プリンタの電源がオンになっているか、コンピュータと同一セグメントにプリンタがあるかを確認してください。
- IPアドレスが初期値以外に設定されている場合、[ブラウザの起動] ボタンをクリックすると、EpsonNet Config (Web) が起動します。
- お使いの Macintosh が所属するゾーンの外にあるプリンタは、[ツール] メニューの [オプション] - [探索方法] で設定すると表示されます。

2 [設定開始] ボタンをクリックするか、または設定するプリンタをダブルクリックします。

参考

- ここでは、TCP/IP 情報を設定する場合を例に説明します。
- Windows XP/Server 2003 で Microsoft ネットワーク上の共有プリンタへ印刷する場合も、TCP/IP 情報を設定してください。

3 [TCP/IP] - [基本] をクリックします。

次の画面が表示されます。

4 ［IP アドレスの設定方法］項目で、［自動］または［手動］を選択します。初期値では［手動］が選択されています。

設定項目	設定内容
自動	DHCP またはBOOTP サーバから IP アドレスを自動取得する場合に、選択します。デバイスの電源を入れるたびにネットワークインターフェイスに割り振られる IP アドレスが変更されます。 DHCP または BOOTP サーバのない環境では使用できません。設定に関しては各サーバの取扱説明書をご覧ください。
手動	［IP アドレス設定］項目でIP アドレスを設定する場合に選択します。

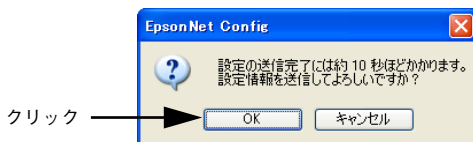
注 意

- ［自動］を選択すると、プリンタの電源を入れるたびにプリンタドライバ上でプリンタポートの設定を変更する必要があります。そのため、TCP/IP 印刷する場合は［手動］を選択して IP アドレスを設定することをお勧めします。［自動］を選択する場合は、プリンタの電源を入れる順番を決めておくか、電源を常時オンにすると、電源を入れるたびにプリンタポートを変更する必要はありません。
- ダイヤルアップ環境でお使いの場合は、以下のページにある注意をご覧の上、設定してください。
  ☞57 ページ「ダイヤルアップルータ使用時の注意」
- 工場出荷時、IP アドレスは［192.168.192.168］に設定されていますが、製品の仕様上、初期の状態のままでは使用できません。この IP アドレス（192.168.192.168）を使用する場合は、初期値を一旦消してから同じ IP アドレスを再入力することで使用可能となります。ネットワークインターフェイスの IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。

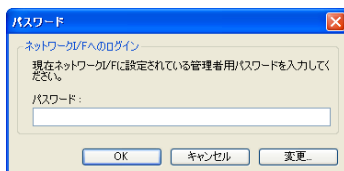
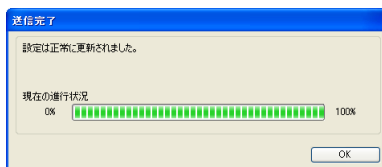
5 ［IP アドレスの設定方法］、［IP アドレス設定］項目で、PING による設定や各種アドレスを設定します。

設定項目	設定内容
プライベート IP 自動指定(APIPA) による設定	このチェックボックスがチェックされていると、DHCP サーバが存在しない場合や応答がないときに、IP アドレスが APIPA （Automatic Private IP Addressing）によって自動設定されます。169.254.0.1 ～ 169.254.255.254 の範囲で設定されます。 IP アドレスの設定方法が手動の場合、この項目はグレー表示され設定できません。
PING による設定	IP アドレスを ARP/PING コマンドから設定する場合にチェックを付けてください。 EpsonNet WebManager を使う場合は、本項目のチェックを外してください。
IP アドレス	ネットワークインターフェイスの IP アドレスを入力します。IP アドレスが分からない場合は以下のページをご覧ください。 212 ページ「設定する IP アドレスがわからない」 ほかのネットワーク機器や、コンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。 初期値は［192.168.192.168］ですが、製品の仕様上、初期の状態のままでは使用できません。この IP アドレス（192.168.192.168）を使用する場合は、初期値を一旦消してから同じ IP アドレスを再入力することで使用可能となります。ネットワークインターフェイスの IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 初期値は［255.255.255.0］です。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを入力します。ゲートウェイになるサーバやルータがある場合は、サーバやルータの IP アドレスを入力します。 初期値は［255.255.255.255］です。ルータがない場合は、初期値のままにしてください。

6 手順 4 ～ 5 の設定をしたら、［送信］ボタンをクリックします。

7 表示された画面で［OK］ボタンをクリックします。

8 **［パスワード］画面が表示されます。**

工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

- パスワードを設定しない場合は、何も入力せずに［OK］ボタンをクリックしてください。設定情報が送信されます。
- パスワードを設定する場合は、次ページをご覧ください。

注意 次の画面で「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワークインターフェイスに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

9 **設定が有効になるまで最大で約3分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3分ほどしたら、［表示］メニューの［最新の情報に更新］をクリックして、設定値を確認してください。**

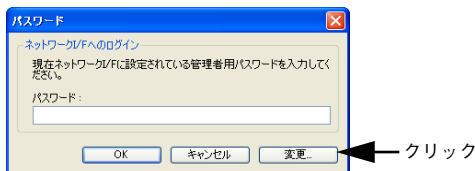
これでネットワークインターフェイスの設定は終了です。

参考 各画面の詳細説明については、各 EpsonNet Config のヘルプをご覧ください。

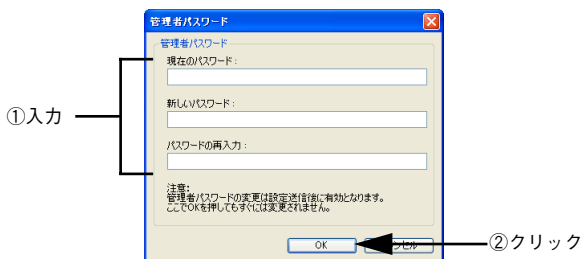
パスワードについて

パスワードは、ネットワークインターフェイスの設定を保護するためのものです。［ネットワーク I/F のプロパティ］画面で［送信］ボタンをクリックしたり、［工場出荷時設定］ボタンをクリックすると、次の画面が表示されます。

1. **初めてパスワードを設定する場合や、パスワードを変更する場合は、［変更］ボタンをクリックします。**

工場出荷時状態では、パスワードは何も登録されていません。

2. **［変更］ボタンをクリックすると以下の画面が表示されますので、各パスワードを半角英数 20 文字以内で入力して、［OK］ボタンをクリックします。**

大文字・小文字は区別されます。

参 考

- パスワードを設定していない場合は、［現在のパスワード］に入力する必要はありません。
- パスワードは、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 8/9 および Mac OS X）と EpsonNet Config（Web）で共通に使用するものです。それぞれのユーティリティを使う場合は、パスワードの管理に注意してください。
- 新しいパスワードは、手順 1 の［パスワード］画面で［OK］ボタンをクリックし、設定送信した後に有効になります。
- パスワードを忘れてしまった場合は、ネットワークインターフェイスを工場出荷時の設定に戻す必要があります。
☞ 236 ページ「ネットワークインターフェイスの工場出荷時への戻し方」

ダイヤルアップルータ使用時の注意

ここでは、ダイヤルアップルータを使用・設定する場合の注意点を説明します。

DHCP 機能使用時の注意

DHCP 機能をお使いの場合、DHCP 機能でプリンタに IP アドレスを設定すると、プリンタの電源を入れるたびに、プリンタを使う人がプリンタポートの設定を変更しなければなりません。
そこで、プリンタには次のいずれかの方法で固定の IP アドレスを設定することをお勧めします。

方法 1：

プリンタまたはネットワークインターフェイスに、スコープ（クライアントに割り当てる IP アドレスの範囲）の範囲外である IP アドレスを手動で設定する。
IP アドレスの設定は、EpsonNet Config（Windows）/ （Mac OS 8/9 および Mac OS X）と EpsonNet Config（Web）で行えます。
45 ページ「EpsonNet Config のインストールと起動」
153 ページ「EpsonNet Config（Web）の使い方」

参考 本機の操作パネルからも IP アドレスを設定することができます。設定方法についてはユーザーズガイド（PDF）をご覧ください。

方法 2：

ダイヤルアップルータ DHCP 機能のバインドを使用して、プリンタまたはネットワークインターフェイスを特定する。

方法 3：

ダイヤルアップルータ DHCP 機能の除外アドレスを設定する。

参考

- Microsoft ネットワーク共有印刷の場合は、上記のような設定が不要のため、簡単な設定でプリンタを使用できます。
- DHCP 機能のスコープ範囲、バインド、除外アドレス設定方法などはダイヤルアップルータの取扱説明書をご覧ください。

Web ブラウザの設定についての注意

EpsonNet Config（Web）を使う場合、Web ブラウザはプロキシサーバを使用しない設定にしてください。
ここでは Internet Explorer を例に説明します。

1. ［スタート］ボタンをクリックして、［Internet Explorer］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

2. 表示された画面で、［接続］タブをクリックします。

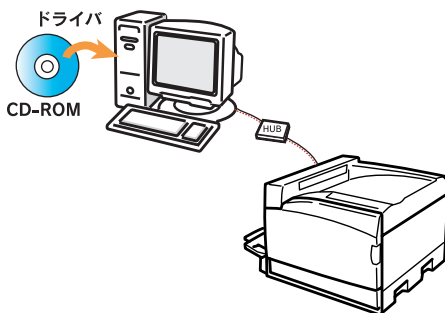
3. ［LAN の設定］ボタンをクリックします。
［LAN にプロキシサーバーを使用する］または［プロキシサーバを使用してインターネットにアクセス］のチェックを外します。

注 意	［LAN にプロキシサーバーを使用する］または、［プロキシサーバを使用してインターネットにアクセス］にチェックが付いていると、EpsonNet Config（Web）は起動しません。

プリンタドライバのインストール

ネットワークに接続したプリンタに印刷するには、プリンタドライバのインストールが必要です。ここではインストールの手順を説明します。

Windows の場合、プリンタドライバを自動配信する機能を利用すると、プリンタドライバのインストール作業を簡略化することができます。詳細は以下のページをご覧ください。

☞ 223 ページ「プリンタドライバの自動インストール」

Windows 95/98/Me の場合

印刷方法に応じて以下のページを参照し、プリンタドライバをセットアップしてください。

☞ 61 ページ「LPR 印刷の場合」
☞ 61 ページ「IPP 印刷の場合（Windows 95/98）」
☞ 62 ページ「IPP 印刷の場合（Windows Me）」
☞ 75 ページ「Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷の場合」

LPR 印刷の場合

Windows 95/98/Me は TCP/IP での LPR 印刷システムを持たないため、標準での TCP/IP 印刷はできませんが、本製品付属のユーティリティ EpsonNet Print を使って、エプソン製プリンタへの TCP/IP（LPR）直接印刷ができます。
この場合は EpsonNet Print をインストールしてから、プリンタドライバをインストールします。以下のページをご覧ください。

☞ 129 ページ「EpsonNet Print の使い方」

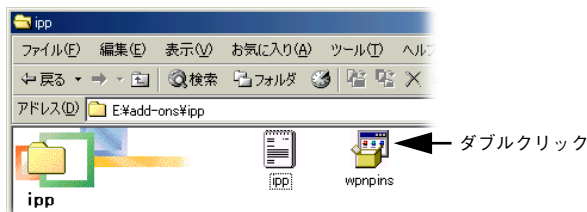
IPP 印刷の場合（Windows 95/98）

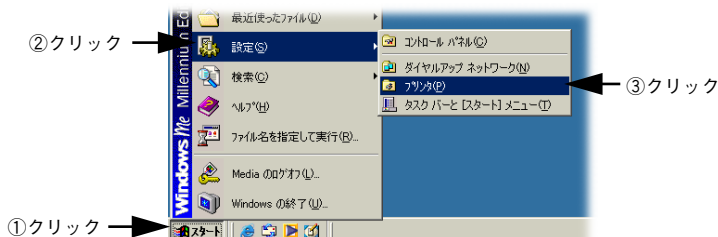
Windows 95/98 で IPP 印刷するには、IPP 直接印刷ツール「EpsonNet Internet Print」をエプソンのホームページからダウンロードする必要があります。
以下のページをご覧ください。

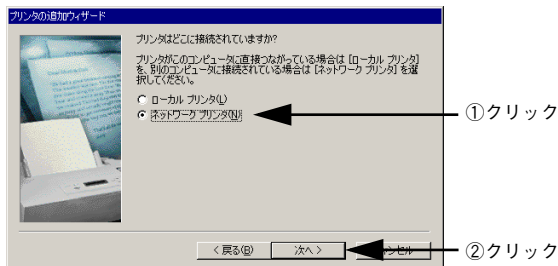
☞ 11 ページ「EpsonNet ソフトウェアのご案内」

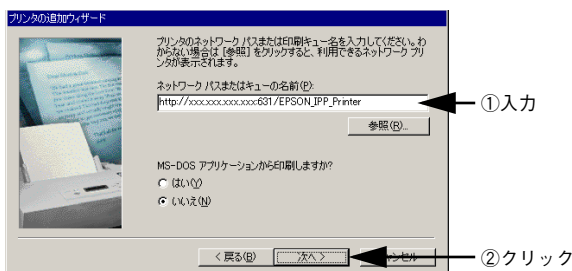
IPP 印刷の場合（Windows Me）

IPP クライアントのインストール

1. コンピュータに、Windows Me の CD- ROM をセットします。
2. CD-ROM ドライブにある［add- ons］-［ipp］フォルダの［wpnpins］をダブルクリックします。後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

プリンタの追加

1. ［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、画面が表示されたら［次へ］ボタンをクリックします。

3 ［ネットワークプリンタ］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

4 ［ネットワークパスまたはキューの名前］に次の書式で入力し、［次へ］ボタンをクリックします。

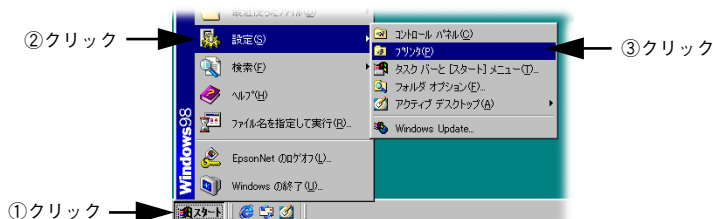
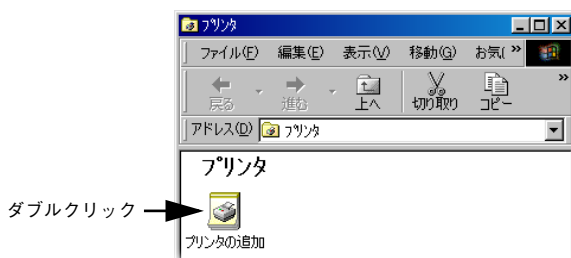
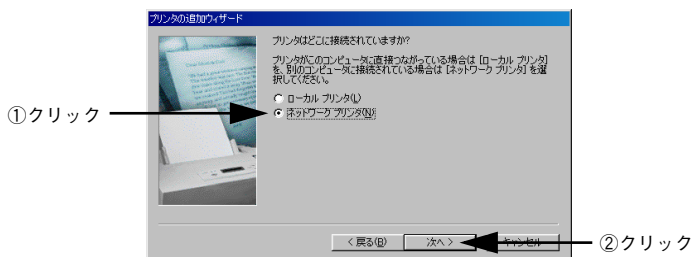
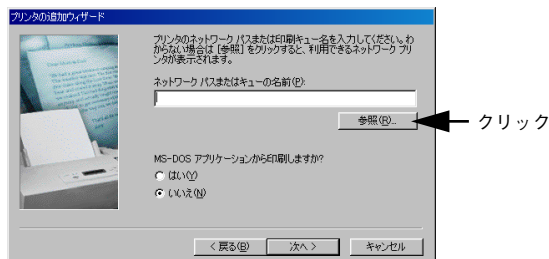
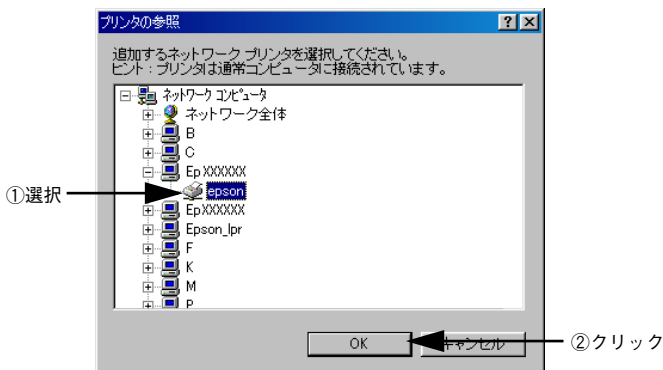
書式）http:// ネットワークインターフェイスの IP アドレス：631/EPSON_IPP_Printer

参 考	上記の EPSON_IPP_Printer は初期値です。ネットワークインターフェイスを設定した方に、名称を確認してください。

5 この後は以下のページに進んでください。

☞ 66 ページ「プリンタドライバのインストール」

Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷の場合

Windows 98 の画面を例に説明します。

1 ［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、画面が表示されたら［次へ］ボタンをクリックします。

3 ［ネットワークプリンタ］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

4 ［参照］ボタンをクリックします。

5 **表示されるリストからプリンタを選択して、［OK］ボタンをクリックします。**
ここで選択するプリンタ名については、ネットワークインターフェイスの設定をした方にご確認ください。

参考

ネットワークプリンタは次のように表示されます。

- Windows NT4.0/2000/XPサーバおよびWindows Server 2003で共有されているプリンタの場合
  ドメイン・ワークグループ・サーバ名などをダブルクリックすると、その下に表示されます。
- Microsoft ネットワーク共有印刷する場合
  ワークグループ名をダブルクリックすると、その下に表示されます。
  参照できない場合は、［キャンセル］ボタンをクリックし、手順 4 の画面で次のように入力します。
  ¥¥（ネットワークインターフェイス のプリントサーバ名）¥（ネットワークインターフェイス の共有名）これらの名前は、ネットワークインターフェイス の設定をした方に確認してください。
- NetWare サーバ経由の場合
  サーバ名をダブルクリックすると、その下に表示されます。
- NDPS ゲートウェイ経由ーパブリックアクセスプリンタの場合
  ［Ndps パブリックアクセスプリンター］というネットワークグループをダブルクリックすると、その下に NDPS プリンタエージェントが表示されます。
- NDPS ゲートウェイ経由ーコントロールアクセスプリンタの場合
  NDS ツリーをダブルクリックすると、その下に NDPS プリンタエージェントが表示されます。

6 **［プリンタの追加ウィザード］画面が表示されたら、［次へ］ボタンをクリックします。**
Windows 95 の場合は、［プリンタウィザード］画面が表示されます。

7 **この後は以下のページに進んでください。**
☞ 66 ページ「プリンタドライバのインストール」

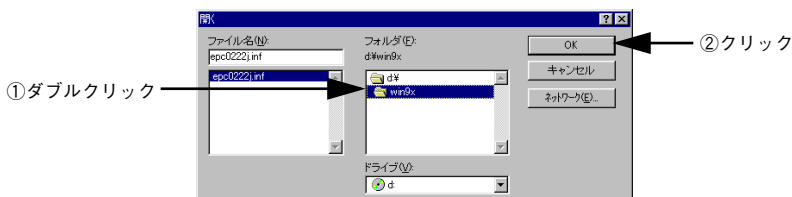
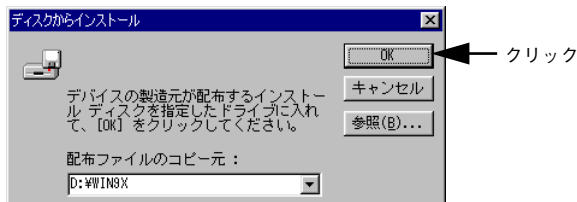
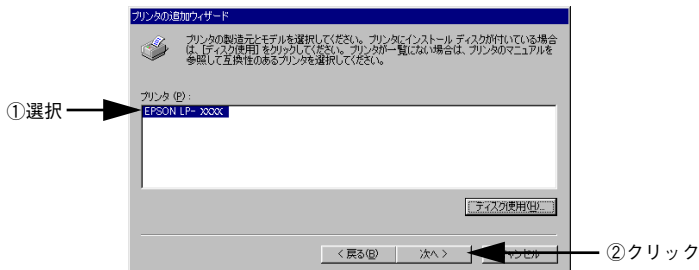
プリンタドライバのインストール

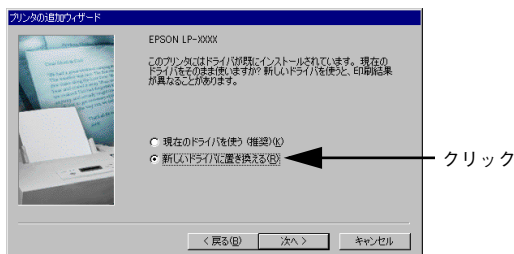
1. コンピュータに、本製品付属の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

2. 画面が表示されたら、[インストール中止]ボタンをクリックして画面を閉じてください。

3. [ディスク使用]ボタンをクリックします。

4. [ディスクからインストール]画面が表示されたら、[参照]ボタンをクリックします。
Windows 95 の場合は、[フロッピーディスクからインストール]画面が表示されます。

5. CD-ROM ドライブ内のお使いの OS 名のフォルダをダブルクリックし、[OK]ボタンをクリックします。

6. [ディスクからインストール]画面に戻りますので、[OK]ボタンをクリックします。
Windows 95 の場合は、[フロッピーディスクからインストール]画面に戻ります。

7 お使いの機種名を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

参考

下の画面が表示された場合は、必ず [新しいドライバに置き換える] を選択してください。

8 [完了] ボタンをクリックします。

この後は、画面の指示に従ってセットアップを進めてください。
これでインストールは終了です。
Windows NT4.0/2000/XP サーバおよび Windows Server 2003 で Microsoft ネットワーク共有印刷をする場合は、以下のページに進んでください。
☞ 68 ページ「NET USE コマンドの実行」

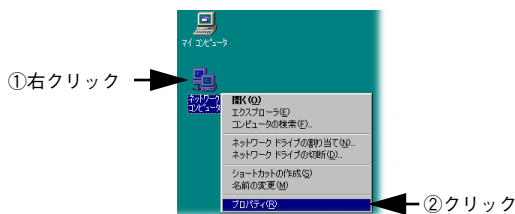
参考

Windows Me 標準の IPP 印刷では、印刷実行時にプリンタでエラーが発生している場合、印刷されないことがあります。この場合は、プリンタのエラー原因を取り除いてから再度印刷してください。

NET USE コマンドの実行

Windows NT4.0/2000/XP サーバおよび Windows Server 2003 で、MS Network を使って接続する場合は、NET USE コマンドを実行することをお勧めします。

サービスの確認

1. **［ネットワークコンピュータ］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**
   Windows Me の場合は、［マイネットワーク］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

2. **表示された画面で、［Microsoft ネットワーククライアント］があることを確認します。**
   ［Microsoft ネットワーククライアント］がない場合は、［追加］ボタンをクリックして追加してください。

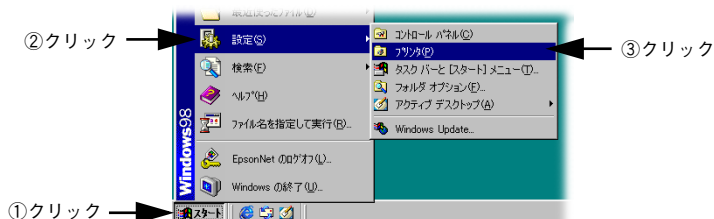
コマンド実行

3. **コマンドプロンプトを起動して、次のコマンドを実行します。**
   書式） NET_USE_ プリンタポート :_¥¥ ネットワークインターフェイスのプリントサーバ名
   ¥ ネットワークインターフェイスの共有名（_ は半角スペース）
   例） LPT1 に設定する場合
   C:¥>NET_USE_LPT1:_¥¥EPxxxxxx¥EPSON

この後は以下のページに進んでください。
☞ 69 ページ「ポートの確認（MS Network）」

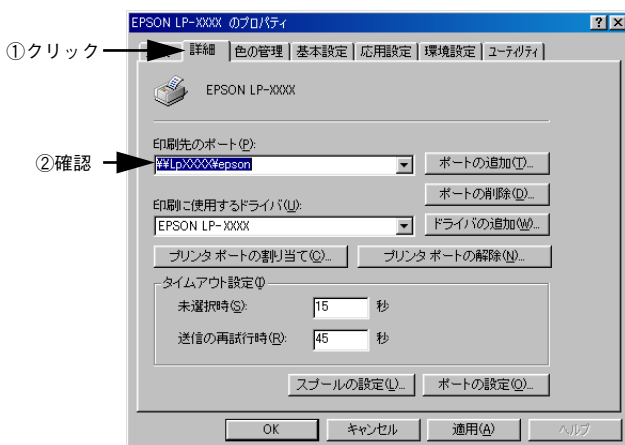
ポートの確認（MS Network）

この操作は、Windows NT4.0/2000/XP サーバおよび Windows Sever 2003 でお使いの場合にのみ行ってください。

1 ［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 インストールしたプリンタのアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

3 ［詳細］タブをクリックして、［印刷先のポート］を確認します。

ここでのポートは、NET USE コマンドで実行したものです。

☞ 68 ページ「NET USE コマンドの実行」

Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

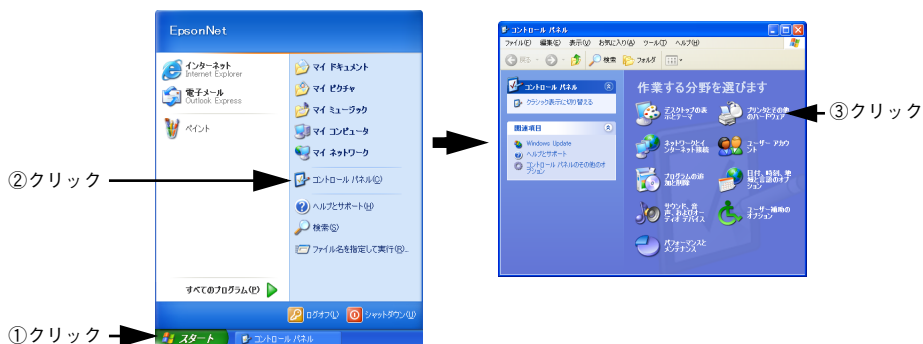
印刷方法に応じて以下のページを参照し、プリンタドライバをセットアップしてください。

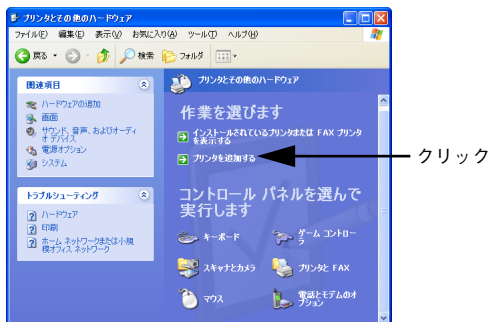
☞70 ページ「LPR 印刷の場合」
☞73 ページ「IPP 印刷の場合」
☞75 ページ「Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷の場合」

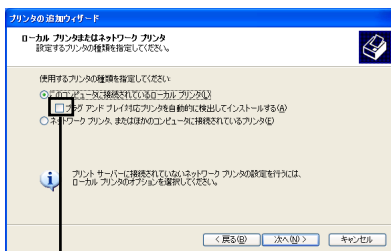
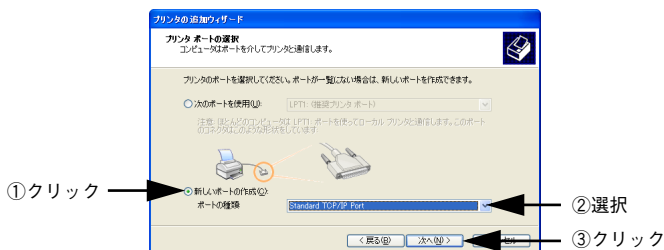
参考
EpsonNet Print を使用する場合は手順が異なりますので、以下のページをご覧ください。
☞129 ページ「EpsonNet Print の使い方」

LPR 印刷の場合

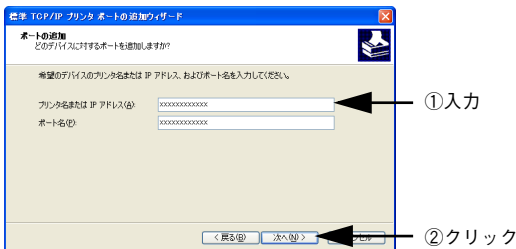
1 **［スタート］ボタン -［コントロールパネル］の順にクリックし、［コントロールパネル］画面で［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。**

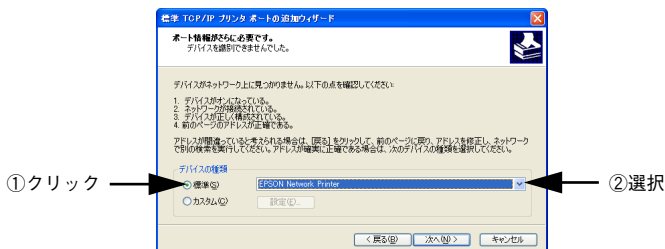
Windows Server 2003 の場合は、［スタート］ボタン -［プリンタと FAX］の順にクリックします。
Windows 2000 の場合は、［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 **［プリンタを追加する］をクリックして、［次へ］ボタンをクリックします。**

Windows 2000/Server 2003 の場合は、［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。

3 **［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択します。［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外し、［次へ］ボタンをクリックします。**

Windows 2000 の場合は、［ローカルプリンタ］を選択します。［プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外し、［次へ］ボタンをクリックします。

4 **［新しいポートの作成］を選択します。［Standard TCP/IP Port］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。**

5 ［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］が表示されたら、［次へ］ボタンをクリックします。

6 ［プリンタ名またはIPアドレス］項目にネットワークインターフェイスのIPアドレスを入力し、［次へ］ボタンをクリックします。

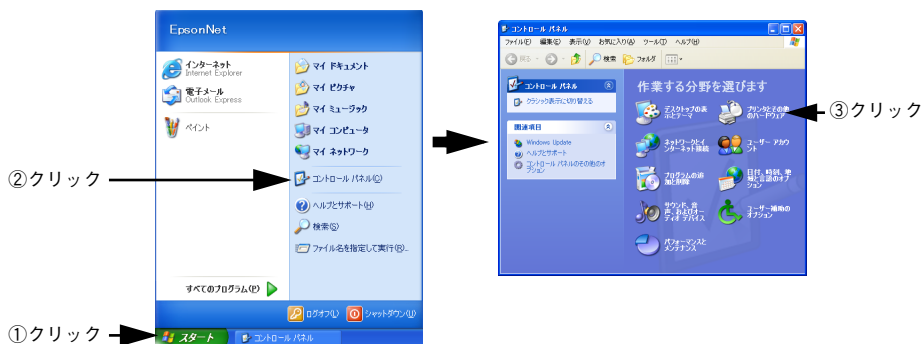
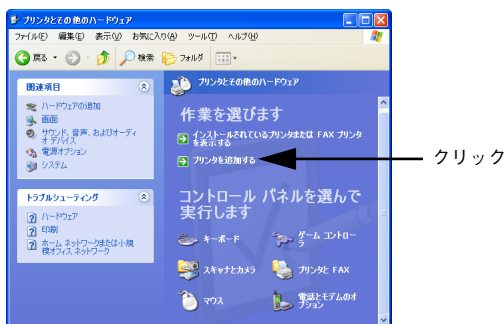
IP アドレスについては、ネットワークインターフェイスの設定をした方に確認してください。

参考

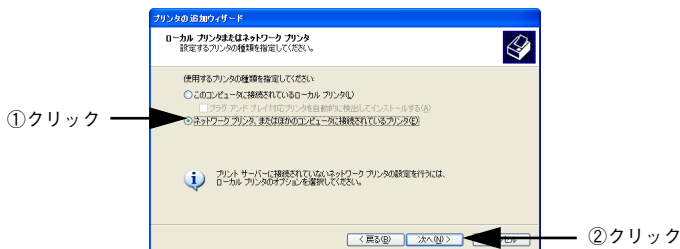
何らかの理由でプリンタが正しく検出できなかった場合は、下の画面が表示されます。この画面が表示されたら［標準］を選択し、［EPSON Network Printer］を選択します。

7 ［標準 TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードの完了］画面が表示されたら、［完了］ボタンをクリックします。

8 この後は以下のページに進んでください。

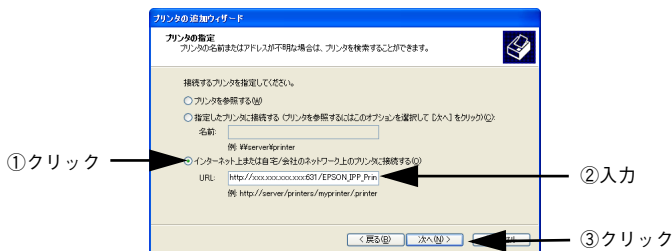
☞ 78 ページ「プリンタドライバのインストール」

IPP 印刷の場合

1. **［スタート］ボタン -［コントロールパネル］の順にクリックし、［コントロールパネル］画面で［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。**
Windows Server 2003 の場合は、［スタート］ボタン -［プリンタと FAX］の順にクリックします。
Windows 2000 の場合は、［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2. **［プリンタを追加する］をクリックして、［次へ］ボタンをクリックします。**
Windows 2000/Server 2003 の場合は、［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。

3 ［ネットワーク プリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

Windows 2000 の場合は、［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

4 ［インターネット上または自宅/会社のネットワーク上のプリンタに接続する］を選択します。ネットワークインターフェイスの URL を次の書式で入力し、［次へ］ボタンをクリックします。

Windows 2000 の場合は、［インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します］を選択します。ネットワークインターフェイスの URL を次の書式で入力し、［次へ］ボタンをクリックします。

書式）http:// ネットワークインターフェイスの IP アドレス：631/EPSON_IPP_Printer

参考 上記の EPSON_IPP_Printer は初期値です。ネットワークインターフェイスの設定をした方に、名称を確認してください。

5 次の画面が表示された場合は、［OK］ボタンをクリックします。

上の画面が表示されなかった場合は、この後、画面の指示に従って設定してください。

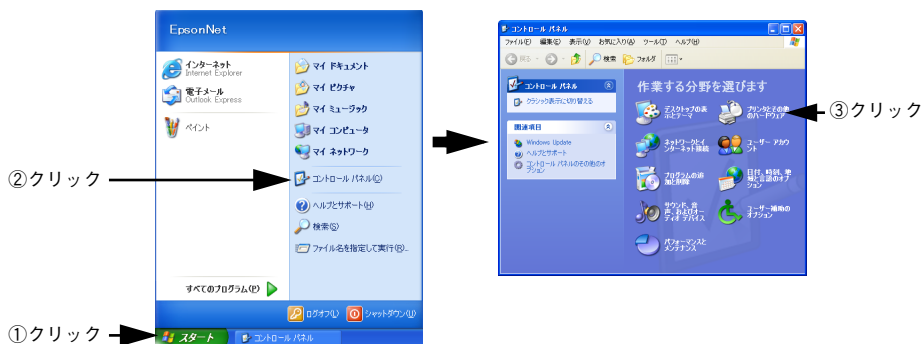
6 この後は以下のページに進んでください。

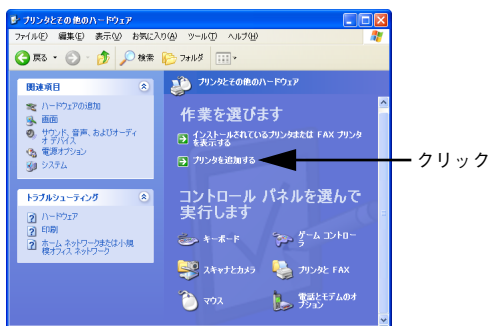
☞ 78 ページ「プリンタドライバのインストール」

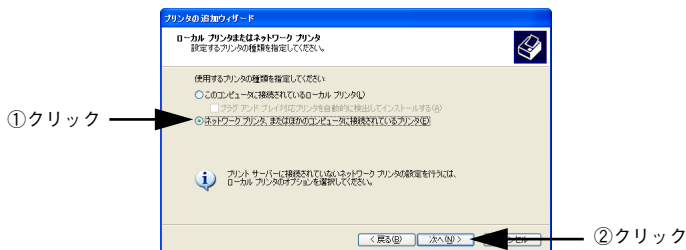
Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷の場合

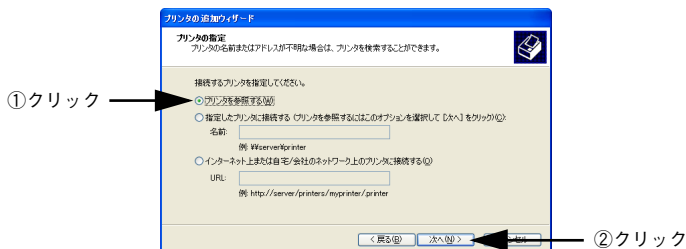
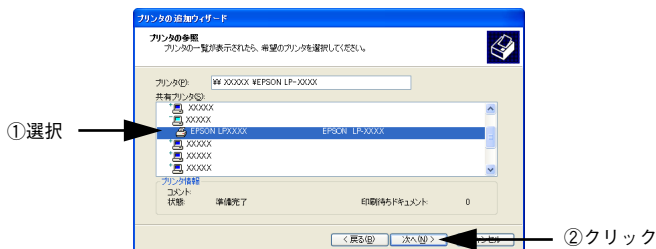
1 **［スタート］ボタン -［コントロールパネル］の順にクリックし、［コントロールパネル］画面で［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。**

Windows Server 2003 の場合は、［スタート］ボタン -［プリンタと FAX］の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 **［プリンタを追加する］をクリックして、［次へ］ボタンをクリックします。**

Windows 2000/Server 2003 の場合は、［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。

3 ［ネットワーク プリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

Windows 2000 の場合は、［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

4 ［プリンタを参照する］または［指定したプリンタに接続する］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

Windows 2000 の場合は、［プリンタ名を入力するか［次へ］をクリックしてプリンタを参照します］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

5 リストからプリンタを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

参 考

ネットワークプリンタは次のように表示されます。

- Windows NT4.0/2000/XPサーバおよびWindows Server 2003で共有されているプリンタの場合
  ドメイン・ワークグループ・サーバ名などをダブルクリックすると、その下に表示されます。
- Microsoft ネットワーク共有印刷する場合
  ワークグループ名をダブルクリックすると、その下に表示されます。
  参照できない場合は、[プリンタ] 欄に次のように入力します。
  ¥¥（ネットワークインターフェイスのプリントサーバ名）¥（ネットワークインターフェイス の共有名）これらの名前は、ネットワークインターフェイスの設定をした方に確認してください。
- NetWare サーバ経由の場合
  サーバ名をダブルクリックすると、その下に表示されます。
- NDPS ゲートウェイ経由ーパブリックアクセスプリンタの場合
  [Ndps パブリックアクセスプリンター] というネットワークグループをダブルクリックすると、その下に NDPS プリンタエージェントが表示されます。
- NDPS ゲートウェイ経由ーコントロールアクセスプリンタの場合
  NDS ツリーをダブルクリックすると、その下に NDPS プリンタエージェントが表示されます。

6 次の画面が表示された場合は、[OK] ボタンをクリックします。

上の画面が表示されなかった場合は、プリンタドライバのインストールは必要ありません。79 ページ手順 8 に進んでください。

7 この後は次ページに進んで、プリンタドライバをインストールしてください。

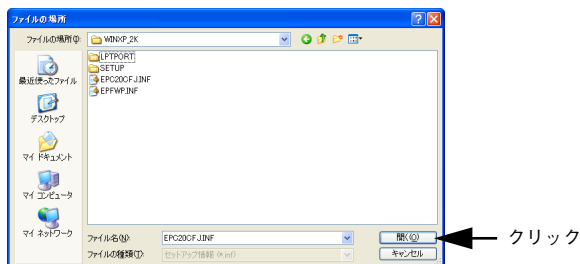
プリンタドライバのインストール

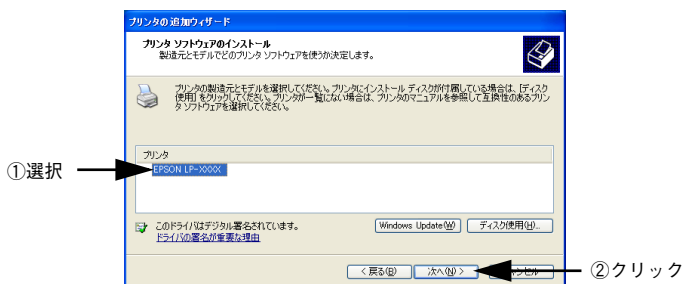
1. コンピュータに、本製品付属の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

2. 画面が表示されたら、[インストール中止] ボタンをクリックして画面を閉じてください。

3. [ディスク使用] ボタンをクリックします。

4. [フロッピーディスクからインストール] 画面が表示されたら、[参照] ボタンをクリックします。

5. CD-ROM ドライブの [WINXP_2K] フォルダをダブルクリックし、[開く] ボタンをクリックます。

6. [フロッピーディスクからインストール] 画面に戻りますので、[OK] ボタンをクリックします。

7. プリンタの一覧からお使いの機種名を選択し、[次へ] または [OK] ボタンをクリックします。

8 **この後は、画面の指示に従って設定してください。**

> **参 考**
> - プリンタをネットワーク共有する場合は、この後で設定する共有名をクライアントに知らせてください。
>   クライアントがプリンタを利用するときに必要です。
> - この後［デジタル署名が見つかりませんでした］という画面が表示されたら、［はい］ボタンをクリックしてください。

これでインストールは終了です。
Windows NT4.0/2000/XP サーバ環境および Windows Server 2003 で Microsoft ネットワーク共有印刷する場合は、以下のページに進んでください。
☞ 80 ページ「NET USE コマンドの実行」

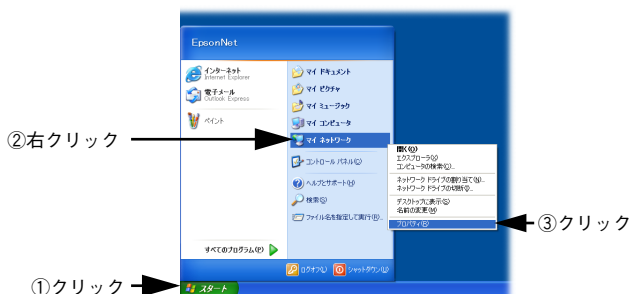
NET USE コマンドの実行

Windows NT4.0/2000/XP サーバおよび Windows Server 2003 で、MS Network を使って接続する場合は、NET USE コマンドを実行することをお勧めします。

サービスの確認

1 **[スタート] ボタンをクリックして、[マイネットワーク] を右クリックし [プロパティ] をクリックします。**

Windows Server 2003 の場合は、[スタート] ボタン - [コントロールパネル] - [ネットワーク接続] の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、[マイネットワーク] アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択します。

2 **[ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択します。**

3 **表示された画面で、[Microsoftネットワーク用クライアント]があることを確認します。**

[Microsoft ネットワーク用クライアント] がない場合は、[インストール] ボタンをクリックして追加してください。

コマンド実行

4 **コマンドプロンプトを起動して、次のコマンドを実行します。**

書式） NET_USE_ プリンタポート :_¥¥ ネットワークインターフェイスのプリントサーバ名
¥ ネットワークインターフェイスの共有名（_ は半角スペース）

例） LPT1 に設定する場合
C:¥>NET_USE_LPT1:_¥¥EPxxxxxx¥EPSON

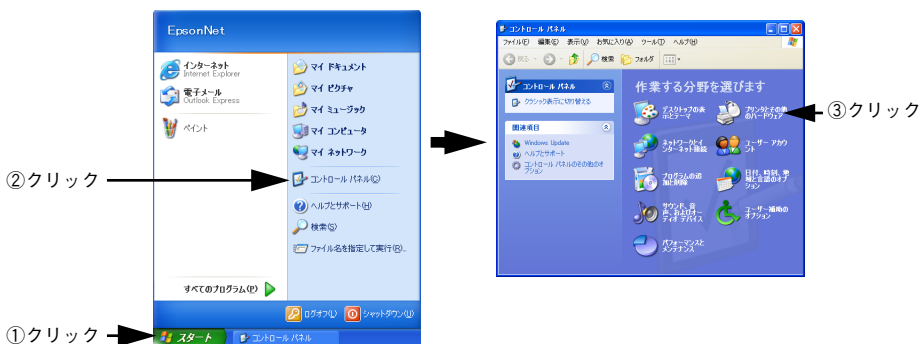
この後は以下のページに進んでください。

☞ 81 ページ「ポートの確認（MS Network）」

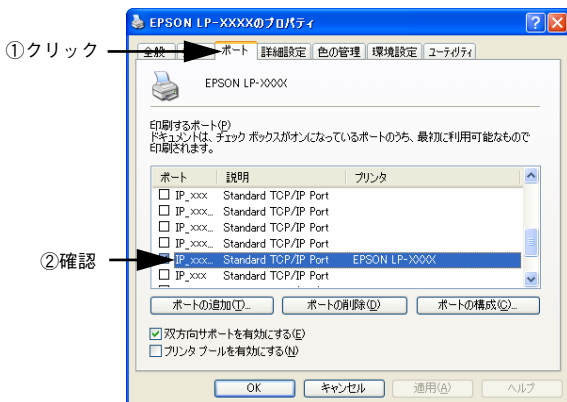
ポートの確認（MS Network）

この操作は、Windows NT4.0/2000/XP サーバおよび Windows Server 2003 でお使いの場合にのみ、行ってください。

プリンタのプロパティの起動

1. ［スタート］ボタン -［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］の順にクリックし、［プリンタとその他のハードウェア］画面で［プリンタとFAX］をクリックします。
   Windows Server 2003 の場合は、［スタート］ボタン -［プリンタと FAX］の順にクリックします。
   Windows 2000 の場合は、［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2. インストールしたプリンタのアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。

ポートの確認

3. ［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを確認します。
   ここでのポートは、NET USE コマンドで実行したものです。
   ☞ 80 ページ「NET USE コマンドの実行」

Windows NT4.0 の場合

印刷方法に応じて以下のページを参照し、プリンタドライバをセットアップしてください。

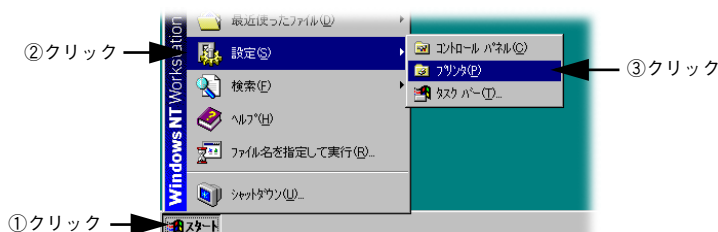
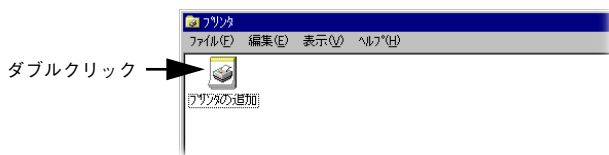
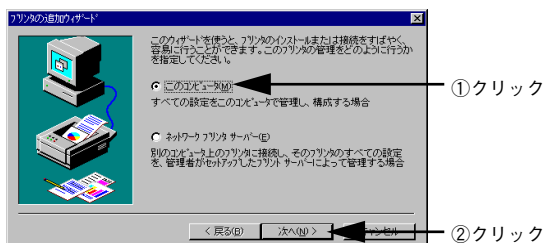
☞ 82 ページ「LPR 印刷の場合」
☞ 84 ページ「Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷の場合」

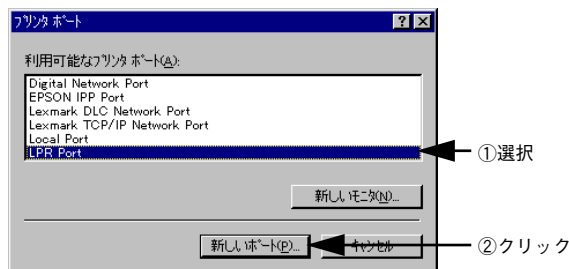
参 考

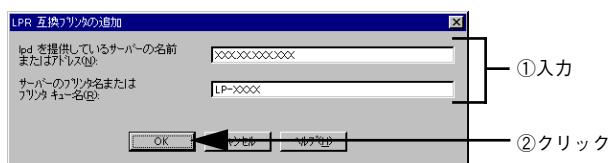
Windows NT4.0 をお使いの方へ
EpsonNet Print または EpsonNet Internet Print を使用する場合は手順が異なりますので、以下のページをご覧ください。

☞129 ページ「EpsonNet Print の使い方」
☞84 ページ「IPP 印刷の場合」

LPR 印刷の場合

1 ［スタート］ボタン - ［設定］ - ［プリンタ］の順にクリックします。

2 ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

3 ［このコンピュータ］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

4 ［ポートの追加］ボタンをクリックします。

5 ［LPR Port］を選択し、［新しいポート］ボタンをクリックします。

参 考 ［Lexmark TCP/IP Network Port］は使用できません。

6 ［lpd を提供しているサーバーの名前またはアドレス］にネットワークインターフェイスの IP アドレスを、［サーバのプリンタ名またはプリンタキュー名］にプリンタ名を入力して、［OK］ボタンをクリックします。

参 考 ネットワークインターフェイスの IP アドレスは、ネットワークステータスシートを印刷するか、ネットワークインターフェイスの設定をした方に確認してください。
☞231 ページ「ネットワークステータスシート」

7 ［プリンタポート］画面に戻りますので、［閉じる］ボタンをクリックします。

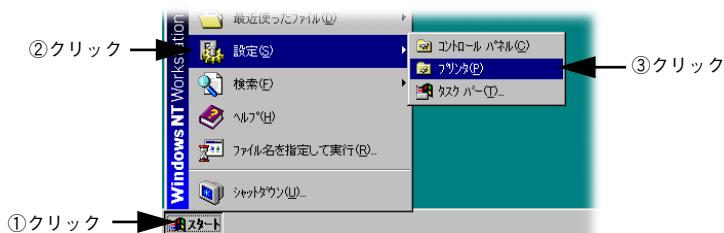
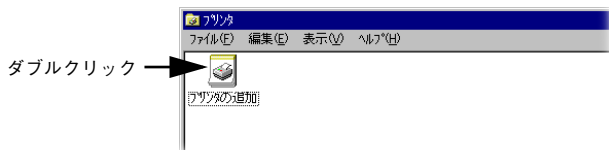
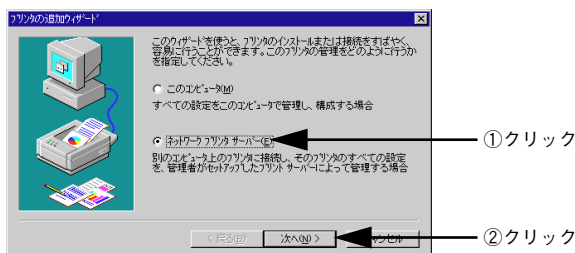
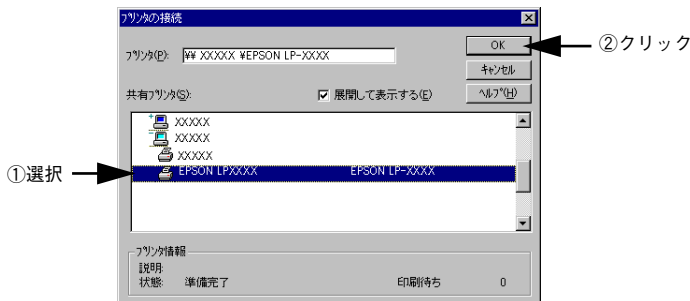
8 ［プリンタの追加ウィザード］画面に戻りますので、［次へ］ボタンをクリックします。

9 この後は以下のページに進んでください。
☞87 ページ「プリンタドライバのインストール」

IPP 印刷の場合

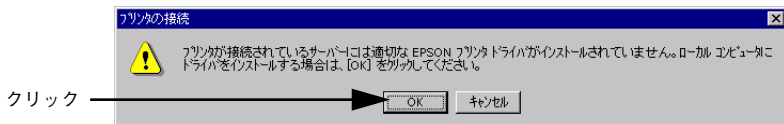
Windows NT4.0 で IPP 印刷するには、IPP 直接印刷ツール「EpsonNet Internet Print」をエプソンのホームページからダウンロードする必要があります。
詳細は以下のページをご覧ください。
☞ 11 ページ「EpsonNet ソフトウェアのご案内」

Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷の場合

1. ［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

3. ［ネットワークプリンタサーバー］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

4 ［共有プリンタ］から、設定するプリンタを選択して［OK］ボタンをクリックします。

参 考

ネットワークプリンタは次のように表示されます。

- Windows NT4.0/2000/XPサーバおよびWindows Server 2003で共有されているプリンタの場合
  ドメイン・ワークグループ・サーバ名などをダブルクリックすると、その下に表示されます。
- Microsoft ネットワーク共有印刷する場合
  ワークグループ名をダブルクリックすると、その下に表示されます。
  参照できない場合は、［プリンタ］欄に次のように入力します。
  ¥¥（ネットワークインターフェイス のプリントサーバ名）¥（ネットワークインターフェイスの共有名）これらの名前は、ネットワークインターフェイスの設定をした方に確認してください。
- NetWare サーバ経由の場合
  サーバ名をダブルクリックすると、その下に表示されます。
- NDPS ゲートウェイ経由ーパブリックアクセスプリンタの場合
  ［Ndps パブリックアクセスプリンター］というネットワークグループをダブルクリックすると、その下に NDPS プリンタエージェントが表示されます。
- NDPS ゲートウェイ経由ーコントロールアクセスプリンタの場合
  NDS ツリーをダブルクリックすると、その下に NDPS プリンタエージェントが表示されます。ネットワークプリンタは次のように表示されます。

5 **次の画面が表示された場合は［OK］ボタンをクリックします。**

上の画面が表示されなかった場合は、この後、画面の指示に従って設定してください。
以上で、Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷設定は終了です。
Windows NT4.0/2000/XP サーバおよび Windows Server 2003 で Microsoft ネットワーク共有印刷する場合は、以下のページに進んでください。
☞ 89 ページ「NET USE コマンドの実行」

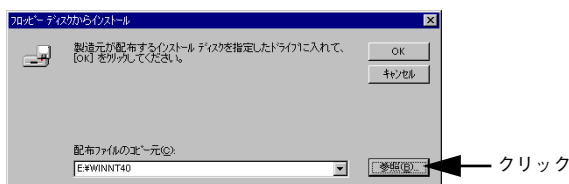
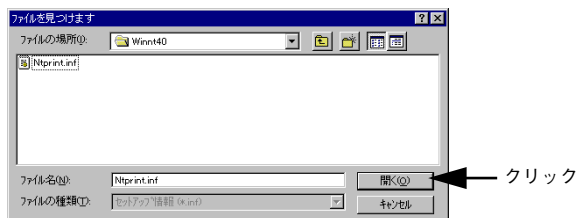
6 **この後は以下のページへ進んでください。**
☞ 87 ページ「プリンタドライバのインストール」

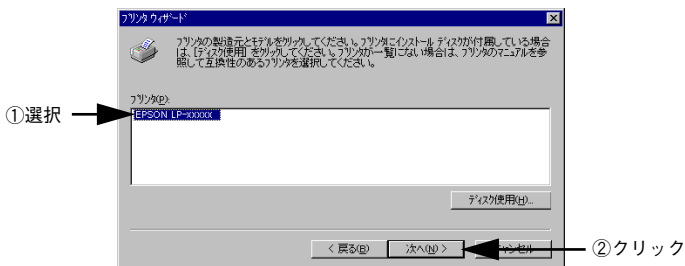
プリンタドライバのインストール

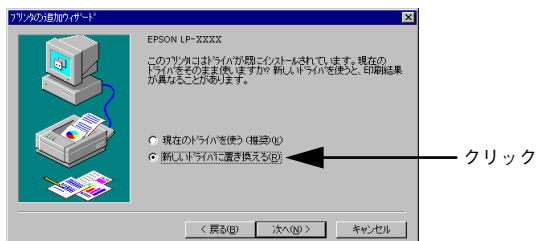
1. コンピュータに、本製品付属の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

2. 画面が表示されたら、[インストール中止] ボタンをクリックして画面を閉じてください。

3. [ディスク使用] ボタンをクリックします。

4. [フロッピーディスクからインストール] 画面が表示されたら、[参照] ボタンをクリックします。

5. CD-ROM ドライブの [WINNT40] フォルダをダブルクリックし、[開く] ボタンをクリックます。

6. [フロッピーディスクからインストール] 画面に戻りますので、[OK] ボタンをクリックします。

7 リストからお使いの機種名を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

8 この後は、画面の指示に従って設定してください。

- プリンタをネットワーク共有する場合は、この後で設定する共有名をクライアントに知らせてください。クライアントがプリンタを利用するときに必要です。
- 次の画面が表示された場合は、必ず［新しいドライバに置き換える］を選択してください。

これでインストールは終了です。
Windows NT4.0/2000/XP サーバおよび Windows Server 2003 で Microsoft ネットワーク共有印刷する場合は、以下のページに進んでください。
89 ページ「NET USE コマンドの実行」

NET USE コマンドの実行

Windows NT4.0/2000/XP サーバおよび Windows Server 2003 で、MS Network を使って接続する場合は、NET USE コマンドを実行することをお勧めします。

サービスの確認

1. **[ネットワークコンピュータ]アイコンを右クリックし、プロパティを選択します。**

2. **表示された画面に次のサービスがあることを確認します。**
   [サービス]画面で[ワークステーション]または[サーバー]

3. **サービスがない場合は、[追加]ボタンをクリックして追加します。**

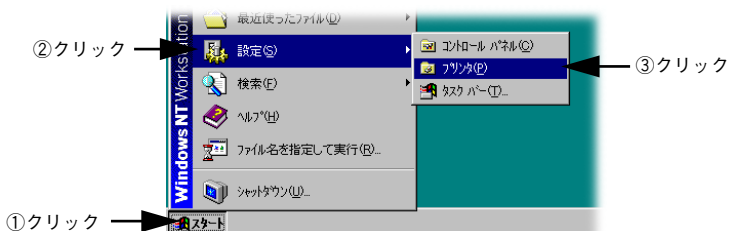
コマンド実行

4. **コマンドプロンプトを起動して、次のコマンドを実行します。**
   書式） NET_USE_ プリンタポート :_¥¥ ネットワークインターフェイスのプリントサーバ名
   ¥ ネットワークインターフェイスの共有名（_ は半角スペース）
   例） LPT1 に設定する場合
   C:¥>NET_USE_LPT1:_¥¥EPxxxxxx¥EPSON

この後は以下のページに進んでください。
☞ 90 ページ「ポートの確認（MS Network）」

ポートの確認（MS Network）

この操作は、Windows NT4.0/2000/XP サーバおよび Windows Server 2003 でお使いの場合にのみ行ってください。

1. ［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2. インストールしたプリンタのアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。

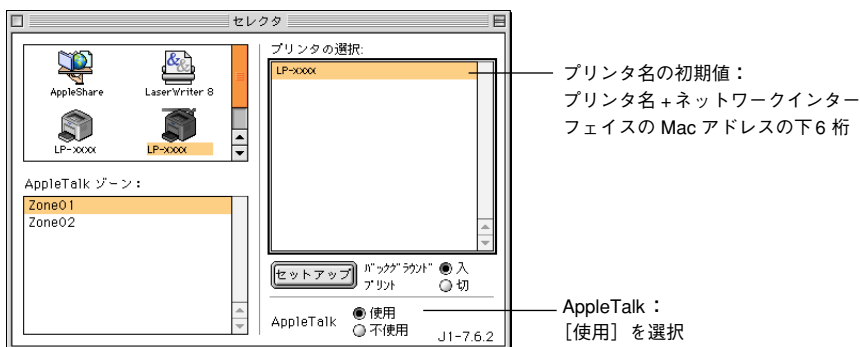
3. ［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを確認します。
ここでのポートは、NET USE コマンドで実行したものです。
89 ページ「NET USE コマンドの実行」

Mac OS 8.6-9.x の場合

プリンタドライバのインストール

プリンタドライバをインストールします。インストール方法についてはセットアップガイド（紙マニュアル）をご覧ください。

プリンタの選択

1. **コンピュータを起動し、［アップル］メニューから［セレクタ］選択してください。**
2. **目的のプリンタアイコンをクリックしてプリンタを選択します。**

これでインストールと設定は終了です。

Mac OS X 10.2.x-10.3.x の場合

Mac OS X の場合、プリンタドライバをインストールした後に、プリンタを Mac OS X で設定する必要があります。印刷プロトコルは、EPSON AppleTalk、EPSON TCP/IP、Rendezvous の中から選択することができます。

プリンタドライバのインストール

プリンタドライバをインストールします。インストール方法についてはセットアップガイド（紙マニュアル）をご覧ください。

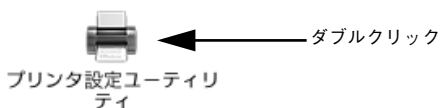
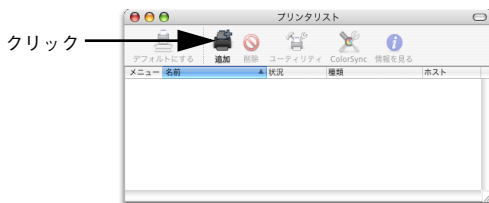
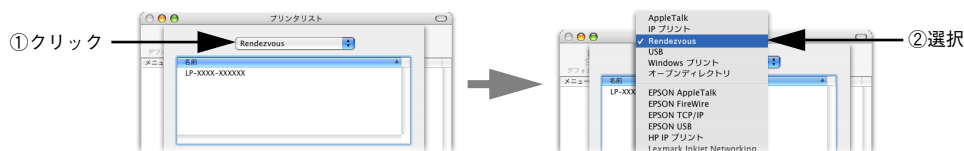
プリンタの追加

1. プリンタの電源がオンになっていることを確認してください。

2. ［Macintosh HD］アイコンをダブルクリックします。

参 考	［Macintosh HD］の名前を変更している場合は、Mac OS X を起動しているディスクをダブルクリックしてください。

3. ［アプリケーション］フォルダをクリックして、［ユーティリティ］フォルダをダブルクリックします。

4. ［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックします。
Mac OS X 10.2.x の場合は、［プリントセンター］アイコンをダブルクリックします。

5. ［プリンタリスト］またはメッセージ画面で［追加］ボタンをクリックします。

6 ［プリンタリスト］画面のドロップダウンリストから、目的の印刷プロトコルを選択します。

印刷プロトコル	選択する項目
TCP/IP	EPSON TCP/IP
AppleTalk	EPSON AppleTalk
Rendezvous	Rendezvous*

*Rendezvous 機能は Mac OS X10.2.4 以降でのみ、ご利用になれます。

参 考

- ネットワークインターフェイスに対する印刷プロトコルの通信速度は、① TCP/IP- ② AppleTalk- ③ Rendezvous の順に速くなります。
- ［EPSON AppleTalk］での印刷は、コンピュータの［AppleTalk］が有効になっている必要があります。

38 ページ「AppleTalk の設定」

- ［EPSON TCP/IP］での印刷は、コンピュータとネットワークインターフェイスに IP アドレスなどの情報が設定されている必要があります。

41 ページ「TCP/IP の設定」

- ［Rendezvous］での印刷は、ネットワークインターフェイスの Rendezvous 機能が有効になっており、コンピュータとネットワークインターフェイスは DHCP や APIPA 機能で IP アドレスを自動で取得している必要があります。

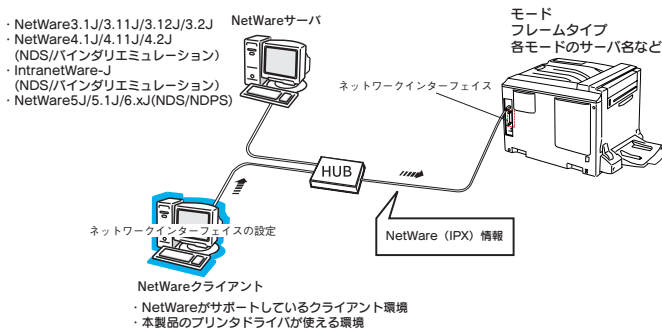
41 ページ「Rendezvous 機能について」

7 プリンタを選択して、［追加］ボタンをクリックします。

NetWare サーバの設定

プリンタを NetWare 環境で使用するための、NerWare サーバの設定方法を説明します。お使いの NetWare のバージョンやモードにより、設定方法が異なります。
次の手順で設定します。

① NetWare のユーティリティから、プリンタ情報を設定します（リモートプリンタモード、および NDPS ゲートウェイ経由の一部のモードのみ）。
② ネットワークインターフェイスに NetWare 情報を設定します。
IntranetWare-J をお使いの方は、NetWare4.xJ を IntranetWare-J に置き換えてお読みください。

NetWare 印刷のできる環境

モードについて

NetWare にはプリントサーバモードとリモートプリンタモード、待機モードがあり、使用するモードは自由に設定できます。通常はプリントサーバモードをお勧めします。NetWare ファイルサーバのユーザー数に余裕がない場合はリモートプリンタモードでお使いください。

プリントサーバモード (NDS/Bindery Print Server)

特徴

- 8 台までのファイルサーバを同時接続可能
- 直接印刷を制御するので印字速度が速い
- NetWare のユーザーアカウントを使用する
- プリントキューは最大 32 ジョブまで登録可能

リモートプリンタモード (Remote Printer)

特徴

- NetWare のユーザーアカウントを使用しない
- リモートプリンタを制御するプリントサーバが必要
- プリンタの接続は、NetWare3.xJ で最大 16 台、NetWare4.xJ、IntranetWare-J、NetWare5.xJ/6.xJ では最大 255 台まで可能

> **参考** リモートプリンタモードでは、プリンタの電源を入れたときに一時的にユーザーアカウントを使用します。ユーザーアカウントに余裕がない場合は、クライアントがファイルサーバにログインする前にプリンタの電源をオンにしてください。

待機モード（Standby）

工場出荷時はこのモードです。本モードでは NetWare の機能は動作しませんが、SAP/RIP などの一部プロトコルがネットワーク上に流れる場合があります。

使用上の注意

テキストファイルの印刷での注意

NetWare の NPRINT コマンドや DOS のリダイレクションを利用してテキストファイルを印刷する場合、クライアントの環境によっては文字化けやキャラクタずれが起きる可能性があります。

IPX ルーティングプロトコル“NLSP”での注意点

NetWare4.xJ 以降は IPX ルーティングプロトコル“NLSP”を設定できますが、本機のネットワークインターフェイスは“NLSP”に対応していません。RIP/SAP により通信を制御しています。
ルーティングプロトコルの選択肢には ① NLSP と RIP/SAP ② RIP/SAP 専用がありますが、“NLSP と RIP/SAP”が指定されている状態で、任意に RIP、SAP のバインドを外した場合、ネットワークインターフェイスはファイルサーバや NDS との通信ができなくなりますのでご注意ください（参照：ユーティリティ INETCFG の、“プロトコル”および“バインド”タスク内）。

バインダリと NDS に関する注意点

- バインダリコンテキスト･パスは、サーバコンソールから SET BINDERY CONTEXT コマンドで確認できます。
- バインダリコンテキスト・パスが設定されていない場合や、NDS 非対応のクライアントから、別のコンテキストの印刷環境も使用したい場合には、そのコンテキストをバインダリコンテキストに指定する必要があります。AUTOEXEC.NCF ファイル内に、SET BINDERY CONTEXT コマンドで設定します。

詳細は NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ の取扱説明書をご覧ください。

NDS コンテキストの表示・印刷

NDS コンテキストについて、ネットワークステータスシートと EpsonNet Config（Web）では、ASCII 文字のみを正しく表示できます。

ネットワークインターフェイス情報取得時間について

ネットワークに接続したプリンタの電源を投入してから、NetWare サーバに認識されるまで最大で約 2 分の時間がかかります。その間、ネットワークステータスシートには正しい情報が反映しませんのでご注意ください。

フレームタイプについて

IPX をバインドするフレームタイプは、同一ネットワーク内にあるすべての NetWare サーバ、IPX ルータで統一する必要があります。
複数のフレームタイプを同一ネットワークでお使いの場合、すべての NetWare サーバ、IPX ルータにそれらをバインドしてください。

NetWare3.xJ/4.xJ バインダリプリントサーバモード

NetWare3.xJ/4.xJ/IntranetWare-J のプリントサーバモード（バインダリエミュレーション）でネットワークインターフェイスをお使いになる場合の設定方法を説明します。

参考 NetWare3.xJ のプリントサーバモードで使用する場合、PCONSOLE のプリントサーバ状況表示制御のサービスは使用できません。

1. **ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。**

2. **設定する NetWare サーバに、クライアントから SUPERVISOR と同等の権限を持つユーザー（バインダリ接続）でログインします。**
   NetWare4.xJ/IntranetWare-J の場合は、バインダリログインのオプションを選択してログインしてください。

3. **本製品に付属のユーティリティから、本機のネットワークインターフェイスの設定をします。**
   通常は、EpsonNet Config（Windows）をお使いください。
   ☞ 45 ページ「EpsonNet Config（Windows）」

参考 NetWare で設定済みのオブジェクトを使って設定する場合は、EpsonNet Config（Web）も使えます。
☞ 153 ページ「EpsonNet Config（Web）の使い方」

NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ NDS プリントサーバモード

NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ/IntranetWare-J のプリントサーバモード（NDS）でお使いになる場合の設定方法を説明します。

1. **ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。**

2. **設定するツリーに、クライアントから目的のコンテキストに対して ADMIN 権限のあるユーザーでログインします。**

3. **本製品に付属のユーティリティから、本機のネットワークインターフェイスの設定をします。**

   通常は、EpsonNet Config（Windows）をお使いください。

   ☞ 45 ページ「EpsonNet Config（Windows）」

参考

NetWareで設定済みのオブジェクトを使って設定する場合は、EpsonNet Config（Web）も使えます。

☞153 ページ「EpsonNet Config（Web）の使い方」

NetWare3.xJ リモートプリンタモード

NetWare3.xJ のリモートプリンタモードでお使いになる場合の設定方法を説明します。

1. **ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。**

2. **設定する NetWare サーバに、クライアントから SUPERVISOR と同等の権限を持つユーザーでログインします。**

3. **PCONSOLE を起動し、［利用可能な項目］から［プリントキュー情報］を選択します。**

利用可能な項目
ファイルサーバの変更
プリントキュー情報
プリントサーバ情報

4. **［Insert］キーを押して、［新プリントキュー名］欄にプリントキュー名を入力します。**

参考	設定したプリントキューは、クライアントがプリンタを利用する際に使いますので、キュー名をクライアントに知らせてください。

5. **［プリントキュー］リストから作成したプリントキューを選択すると［プリントキュー情報］メニューが表示されますので、［キューユーザ］を選択して、［EVERYONE］が登録されていることを確認します。**
EVERYONE がない場合は、［Insert］キーを押して、キューユーザーリストから［EVERYONE］を選択します。

6. **［利用可能な項目］から［プリントサーバ情報］を選択します。**

利用可能な項目
ファイルサーバの変更
プリントキュー情報
プリントサーバ情報

7. **［Insert］キーを押して、［新プリントサーバ名］欄にプリントサーバ名を入力します。このプリントサーバ名は後で使用するのでメモしておいてください。**

8 ［プリントサーバ］リストから作成したプリントサーバを選択すると、［プリントサーバ情報］画面が表示されますので、［プリントサーバ構成］を選択します。

プリントサーバ情報
パスワードの変更
フルネーム
プリントサーバ構成
プリントサーバID
プリントサーバオペレータ
プリントサーバユーザ

9 ［プリントサーバ構成メニュー］画面が表示されますので、［プリンタの構成］を選択します。

［構成完了プリンタ］の最上段［インストールされていません（プリンタ番号＝0）］を選択します。

構成完了プリンタ	
インストールされていません	0
インストールされていません	1
インストールされていません	2

10 次のように設定します。

説明	プリンタ 0 の構成
任意のプリンタ名を入力	名前：Printer-0
リモートパラレル、LPT1 を選択	タイプ：リモートパラレル,LPT1
任意に入力	社別識別子：ESCP
	IRQ： 7
	バッファサイズ（Kバイト）： 3
必要に応じた用紙の変更可	開始用紙： 0
	キューサービスモード
	ボーレート：
	データビット：
	ストップビット：
	パリティ：
	X-On/X-Off使用有無

11 ［Esc］キーを押して、変更内容を保存します。

12 ［プリントサーバ構成メニュー］から［プリンタでサービスされているキュー］を選択します。

プリントサーバ構成メニュー
使用されているファイルサーバ
プリンタ通知リスト
プリンタでサービスされているキュー
プリンタの構成

13 ［定義済みのプリンタ］リストから、手順 8 ～ 11 で作成したプリンタを選択します。

14 ［Insert］キーを押して、［使用可能キュー］リストから、手順 3 ～ 4 で作成したキューを選択してください。

15 ［優先順位］を 1 から 10 までの数値で指定します。1 が最優先です。

16 ［Esc］キーを押して、PCONSOLE を終了します。

17 プリントキューボリュームを設定したファイルサーバで次のコマンドを入力し、プリントサーバモジュールをロードします。

LOAD_PSERVER_PCONSOLE で設定したプリントサーバ名
（_ は半角スペース）

18 本製品に付属のユーティリティから、本機のネットワークインターフェイスの設定をします。

通常は、EpsonNet Config（Windows）をお使いください。

☞ 45 ページ「EpsonNet Config（Windows）」

> **参 考**
> ネットワークインターフェイスの IP アドレスが設定済みの場合は、EpsonNet Config（Web）も使えます。
> ☞ 153 ページ「EpsonNet Config（Web）の使い方」

NetWare4.xJ バインダリリモートプリンタモード

NetWare4.xJ、IntranetWare-J（バインダリエミュレーション）のリモートプリンタモードでお使いになる場合の設定方法を説明します。
Windows 95 のクライアント画面で説明します。

参考
- 必要に応じて、各ユーザーにトラスティを割り当ててください。
- プリントキュー、プリントサーバは必ず PCONSOLE で設定してください。NWADMIN ではバインダリキューを作成できません。

1. **ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。**

2. **設定する NetWare サーバに、クライアントから ADMIN と同等の権限を持つユーザーでログインします。この時、必ずバインダリ接続でログインしてください。**

参考 設定に使うクライアントが NDS モードでログインしている場合は、PCONSOLE 起動時に［F4］キーを押して、バインダリモードに移行してから設定を行ってください。

3. **PCONSOLE を起動し、［利用可能な項目］から［プリントキュー］を選択します。**

利用可能な項目
プリントキュー
プリンタ
プリントサーバ
クイックセットアップ
コンテキストの変更

4. **［Insert］キーを押して、［新しいプリントキュー名］を入力します。**

参考 設定したプリントキューは、クライアントがプリンタを利用する際に使いますので、キュー名をクライアントに知らせてください。

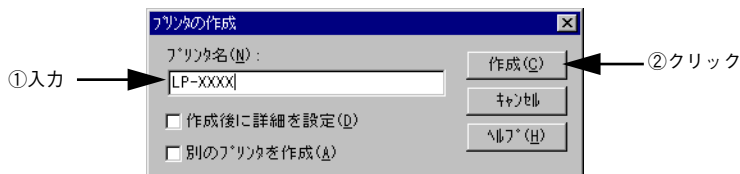
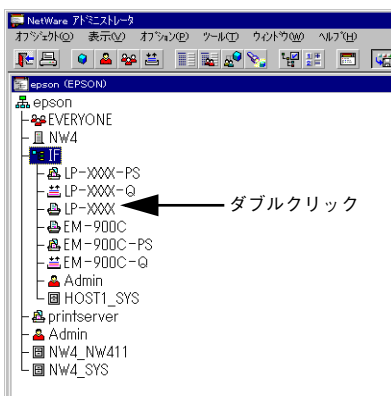
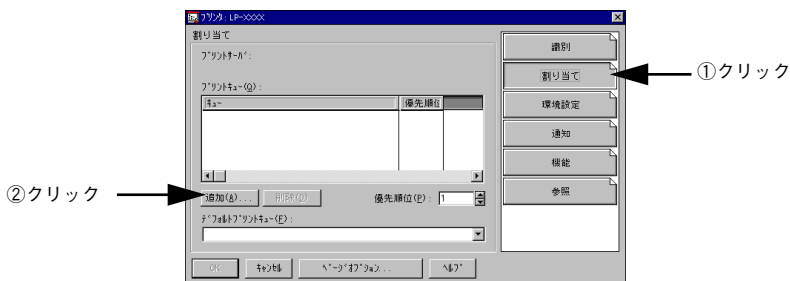
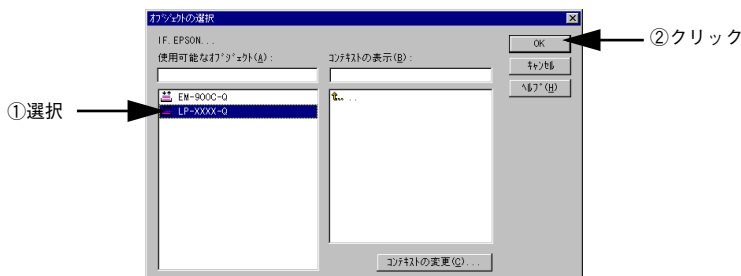
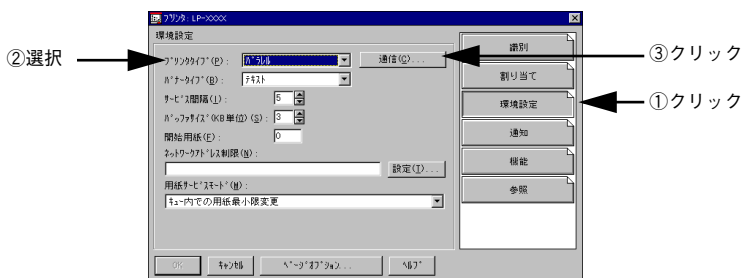
5. **［プリントキュー］リストから作成したプリントキューを選択すると［プリントキュー情報］メニューが表示されますので、［キューユーザー］を選択して、［EVERYONE］が登録されていることを確認します。**
EVERYONE がない場合は、［Insert］キーを押して、キューユーザーリストから［EVERYONE］を選択します。

6. **［利用可能な項目］から［プリントサーバ］を選択します。**

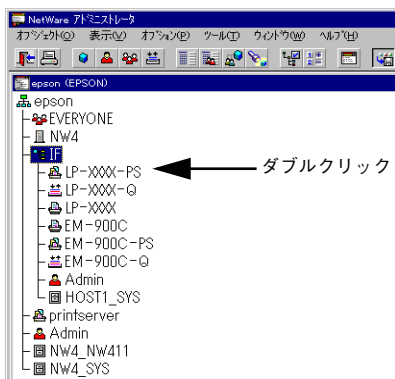
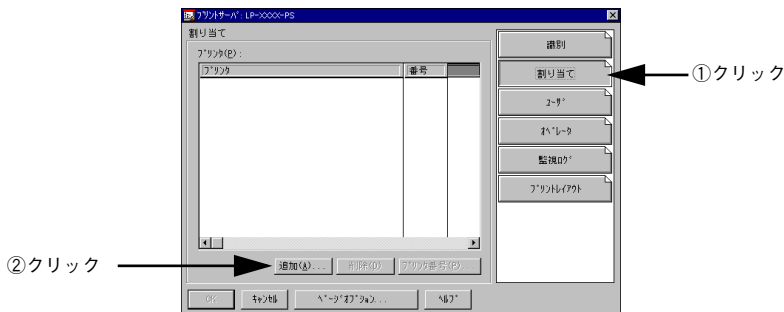
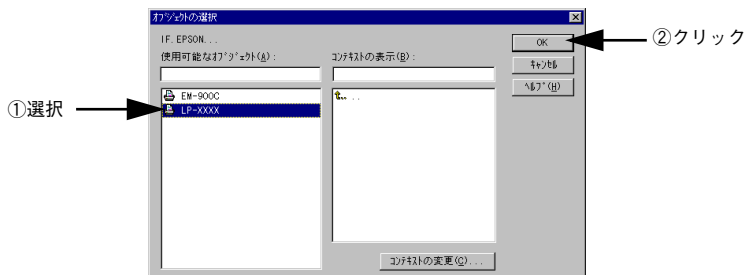
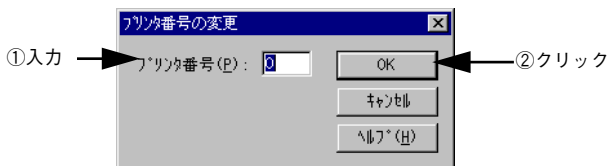
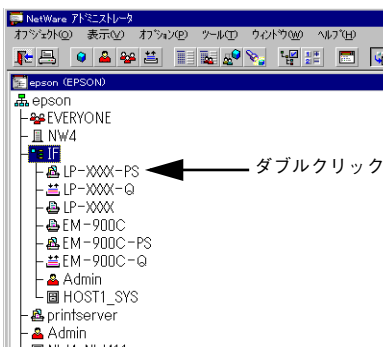
7. **［Insert］キーを押して、［新しいプリントサーバ名］を入力します。**

8. PCONSOLE を終了して、NetWare サーバからログアウトします。

9. NetWare サーバに、クライアントから ADMIN と同等の権限を持つユーザーでログインします。この時、NDS 接続でログインしてください。

10. NWADMINを起動し、手順6～7で作成したプリントサーバオブジェクトのあるコンテナをクリックして、メニューの［オブジェクト］-［作成］-［プリンタ］を選択します。プリンタ名を入力して［作成］ボタンをクリックします。

11. NetWare アドミニストレータ画面で、作成したプリンタオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

12. ［割り当て］ボタンをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。

⑬ プリントキューの一覧が表示されますので、割り当てるキュー（手順 3 ～ 4 で作成したキュー）を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

⑭ ［プリンタ］画面に戻って［環境設定］ボタンをクリックし、［プリンタタイプ］で［パラレル］を選択して、右の［通信］ボタンをクリックします。

⑮ ポート［LPT1］、割り込み［ポーリング］、接続タイプ［手動ロード］を選択します。

⑯ 設定が終了したら ［OK］ボタンをクリックして［パラレル通信］画面を閉じ、［プリンタ］画面で ［OK］ボタンをクリックします。

17 NetWareアドミニストレータ画面で、手順6～7で作成したプリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

18 ［割り当て］ボタンをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。

19 プリンタオブジェクトの一覧が表示されますので、手順 10 で作成したプリンタを選択し、［OK］ボタンをクリックします。

⑳ 手順 18 の画面に戻って一覧から割り当てたプリンタを選び、［プリンタ番号］ボタンをクリックします。プリンタ番号を 0 ～ 15 の範囲で入力し、［OK］ボタンをクリックします。

㉑ NetWare アドミニストレータ画面で、手順 6 ～ 7 で作成したプリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

㉒ ［プリントレイアウト］ボタンをクリックします。

プリントサーバ、プリンタとプリントキューが関連付けられていることを確認してください。

㉓ プリントキューボリュームを設定したファイルサーバで次のコマンドを入力し、プリントサーバモジュールをロードします。

LOAD_PSERVER_PCONSOLE で設定したプリントサーバ名

（_ は半角スペース）

㉔ **本製品に付属のユーティリティから、本機のネットワークインターフェイスの設定をします。**

通常は、EpsonNet Config（Windows）をお使いください。

☞ 45 ページ「EpsonNet Config（Windows）」

参考

ネットワークインターフェイスの IP アドレスが設定済みの場合は、EpsonNet Config（Web）も使えます。

☞153 ページ「EpsonNet Config（Web）の使い方」

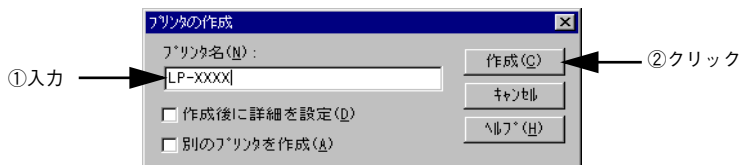
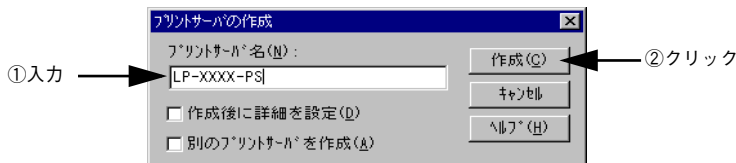
NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ NDS リモートプリンタモード

NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ、IntranetWare-J（NDS）のリモートプリンタモードでお使いになる場合の設定方法を説明します。
Windows 95 のクライアント画面で説明します。

参考 NetWare5.xJ/6.xJ を使う場合は、NetWare5.xJ/6.xJ サーバに IPX プロトコルをインストール（バインド）しておいてください。

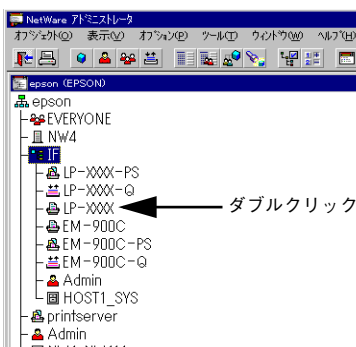
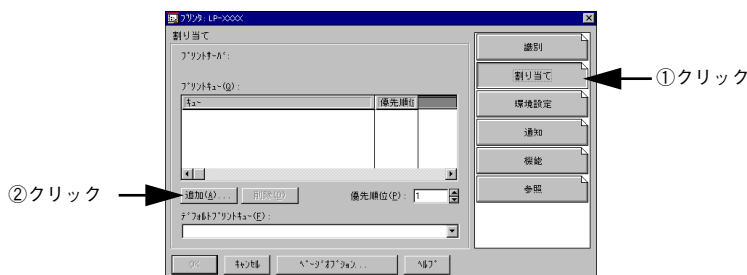
1. ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

2. 設定するツリーに、クライアントから目的のコンテキストに対して ADMIN と同等の権限のあるユーザーでログインします。

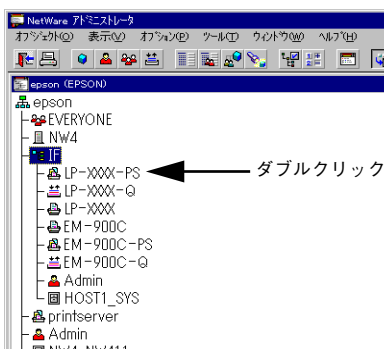
3. NWADMIN　を起動します。ディレクトリコンテキストのアイコンをクリックし、メニューの［オブジェクト］-［作成］-［プリンタ］を選択します。プリンタ名を入力して［作成］ボタンをクリックします。

4. ディレクトリコンテキストのアイコンをクリックし、メニューの［オブジェクト］-［作成］-［プリントサーバ］を選択します。プリントサーバ名を入力して［作成］ボタンをクリックします。

5 ディレクトリコンテキストのアイコンをクリックし、メニューの［オブジェクト］-［作成］-［プリントキュー］を選択します。プリントキュー名を入力し、プリントキューを置くボリュームを指定（ディレクトリコンテキスト内のボリュームを選択）して［作成］ボタンをクリックします。

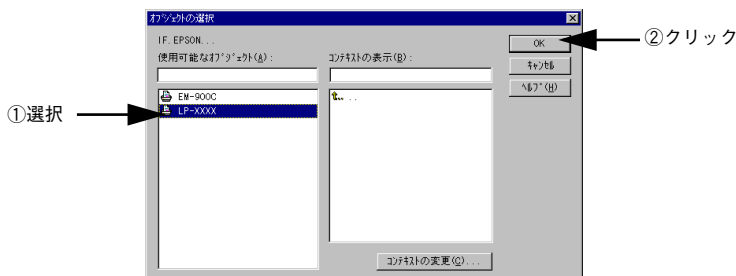
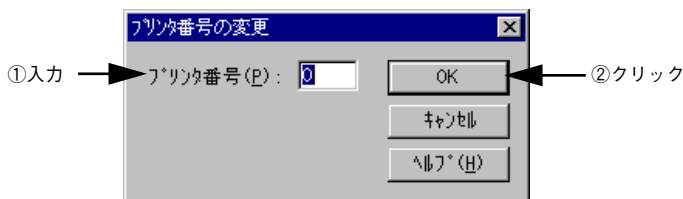
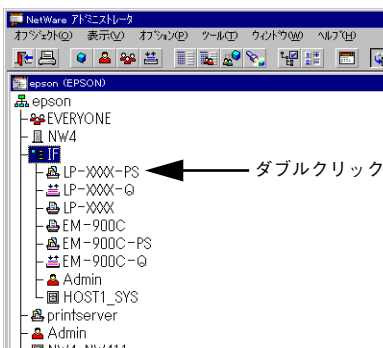
6 プリントキューオブジェクトのアイコンをダブルクリックし、ユーザーを登録します。

参 考 設定したプリントキューは、クライアントがプリンタを利用する際に使いますので、キュー名をクライアントに知らせてください。

7 NetWare アドミニストレータ画面で、プリンタオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

8 ［割り当て］ボタンをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。

9 プリントキューの一覧が表示されますので、手順 5 ～ 6 で作成したキューを選択し、［OK］ボタンをクリックします。

10 ［環境設定］ボタンをクリックして［プリンタタイプ］欄で［その他 / 不明］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

11 NetWare アドミニストレータ画面で、プリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

12 ［割り当て］ボタンをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。

13 プリンタオブジェクトの一覧が表示されますので、割り当てるプリンタオブジェクトを選択し、［OK］ボタンをクリックします。

14 手順12の画面に戻って一覧から割り当てたプリンタを選び、［プリンタ番号］ボタンをクリックします。プリンタ番号を0～254の範囲で入力し、［OK］ボタンをクリックします。

15 NetWareアドミニストレータ画面で、プリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

⑯ ［プリントレイアウト］ボタンをクリックします。

プリントサーバ、プリンタとプリントキューが関連付けられていることを確認してください。詳細は NetWare の取扱説明書をご覧ください。

⑰ プリントキューボリュームを設定したファイルサーバで次のコマンドを入力し、プリントサーバモジュールをロードします。

LOAD_PSERVER_NWADMIN で設定したプリントサーバ名
（_ は半角スペース）

⑱ 本製品に付属のユーティリティから、本機のネットワークインターフェイスの設定をします。

通常は、EpsonNet Config（Windows）をお使いください。

☞ 45 ページ「EpsonNet Config（Windows）」

参 考	ネットワークインターフェイスの IP アドレスが設定済みの場合は、EpsonNet Config（Web）も使えます。 ☞153 ページ「EpsonNet Config（Web）の使い方」

NDPS ゲートウェイ

NDPS ゲートウェイ経由でお使いになる場合の設定方法を説明します。
Windows 95 のクライアント画面で説明します。

参 考

- NDPS（Novell Distributed Print Services）は、NetWare5.xJ/6.xJ に標準装備されている印刷アーキテクチャです。NDPS を使うと、ネットワーク上のプリンタや印刷サービスの管理が従来の方法よりも簡単に行えます。
  NetWare Enterprise Print Services をご利用の場合は、NetWare4.xJ でも使えます。
  NetWare Enterprise Print Services のリリースに関しては、ノベル社にお問い合わせください。
- 本製品は、NetWare5.xJ/6.xJ の NDPS にある[自動ドライバインストール]には対応していません。
- NetWare5.xJ/6.xJ サーバに、IPX プロトコルをインストール（バインド）してください。
- NDPS 経由で印刷する場合、バナー印刷は行えません。
- 設定に使うコンピュータに、NetWare のクライアントソフトウェア、Client32、IntranetWare Client、Novell Client のいずれかをインストールしてください。

設定の流れ

次のような手順で設定します。NDPS についての詳細は、NetWare5.xJ/6.xJ に添付されている NDPS の取扱説明書を参照してください。

1. 接続方法の決定と環境設定 114 ページ

2. NDPS マネージャの作成 115 ページ

3. NDPS プリンタエージェントの作成 116 ページ

4. EpsonNet Config（Windows）からのネットワークインターフェイス設定 124 ページ

接続方法の決定と環境設定

1 **次の 3 種類の接続方法から、ご利用の環境に合ったものを選びます。**

- リモート（IPX 上で rprinter）
  ゲートウェイ経由で、RPRINTER（リモートプリンタ）モードのプリンタに印刷することができます。NetWare を初めてインストールするときや、現在の印刷環境が削除されても問題ない場合に使用できます。

> **参 考** リモート（IPX 上で rprinter）を使うと、従来のキューベースプリントシステムの設定が失われます。

- リモート（IP 上で LPR）
  ゲートウェイ経由で、ネットワークインターフェイスの IP アドレスを設定したプリンタに印刷できます。
- ジョブをキューに転送
  ゲートウェイからキューに印刷ジョブを送って印刷します。従来のキューベースプリントシステムと共存したいときに使用できます。

2 **NetWare サーバに、次のプロトコルをインストールします。**

接続方法によって、インストールするプロトコルが異なります。
インストール方法は NetWare5.xJ/6.xJ の取扱説明書をご覧ください。

接続方法	プロトコル
リモート（IPX 上で rprinter）	IPX
リモート（IP 上で LPR）	TCP/IP
ジョブをキューに転送	IPX

3 **クライアントに、NetWare5.xJ/6.xJ 添付のクライアントソフトをインストールします。**

このとき［標準のインストール］を選択すると、NDPS も自動的にインストールされます。

4 **クライアントに、使用するプリンタのプリンタドライバをインストールします。**

インストール方法はセットアップガイド（紙マニュアル）をご覧ください。

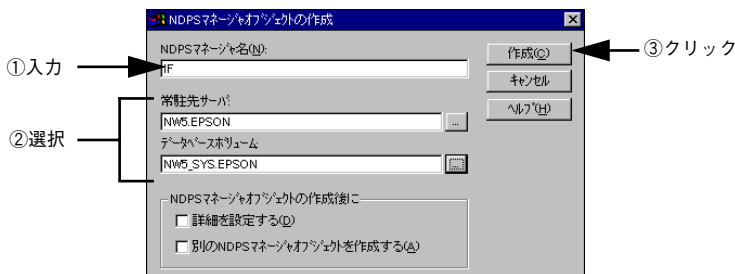
> **参 考**
> - NetWare サーバ経由でプリンタドライバをインストールしないでください。
> - Novell プリンタマネージャ（NWPMW32.EXE）からは、プリンタの追加およびプリンタドライバのインストールをしないでください。ただし、EpsonNet NDPS Gateway を使用すれば、プリンタの追加ができます。
>   229 ページ「EpsonNet NDPS Gateway」

NDPS マネージャの作成

NetWare5.xJ/6.xJ のツール NWADMIN から、NDPS マネージャを作成します。以下の操作はクライアントから行ってください。

1. クライアントから、NetWare アドミニストレータ(NWADMN32.EXE)を起動します。

2. ディレクトリコンテキストのアイコンを選択し、メニューの［オブジェクト］-［作成］-［NDPS Manager］を選択します。

3. ［NDPS マネージャ名］、［常駐先サーバ］、［データベースボリューム］を入力したら、［作成］ボタンをクリックして設定を保存します。

4. NetWare サーバで、NDPS マネージャをロードします。サーバコンソールで次のコマンドを入力し、作成した NDPS マネージャを選択してください。
 >LOAD_NDPSM（_ は半角スペース）

> **参考**　コマンドを常時使用する場合は、AUTOEXEC.NCF に［LOAD_NDPSM_ 識別名付き NDPS マネージャオブジェクト名］（_ は半角スペース）を記述してください。

NDPS プリンタエージェントの作成

参 考	ここでの設定と同じことが、サーバコンソールからも行えます。詳細は NetWare5.xJ/6.xJ の取扱説明書を参照してください。

NWADMIN から NDPS プリンタエージェントを作成します。

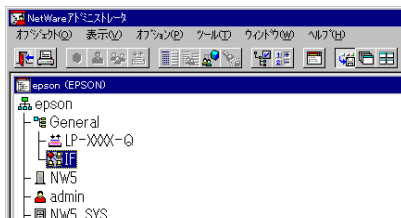
プリンタタイプの決定

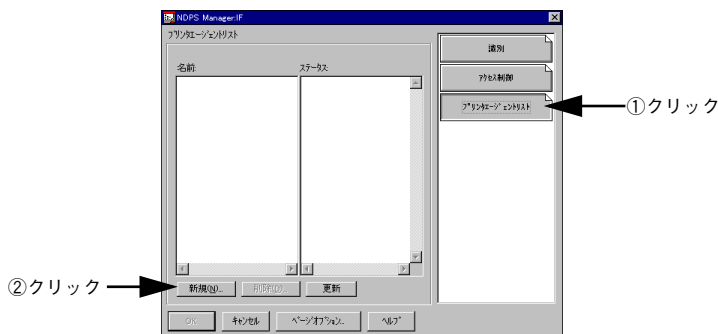
1. 次の 2 種類のプリンタタイプから、使用するタイプを決定します。タイプの詳細は、NetWare5.xJ/6.xJ の取扱説明書をご覧ください。

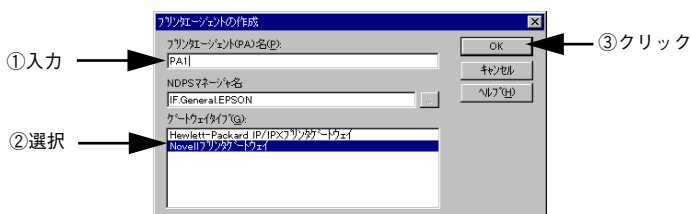
■ パブリックアクセスプリンタ（手順 2 へ）
この設定にするとネットワーク上の誰もがプリンタを使用できます。ただし NDS オブジェクトとしては登録されないため、セキュリティやイベント通知などのサービスが一部利用できません。

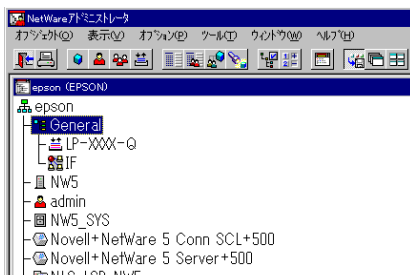
■ コントロールアクセスプリンタ（手順 5 へ）
NDS オブジェクトとして登録されるプリンタで、セキュリティやイベント通知などのサービスが利用できます。アクセス権のあるユーザーだけが利用できます。

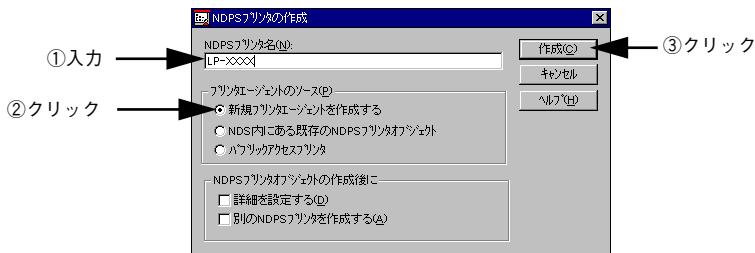
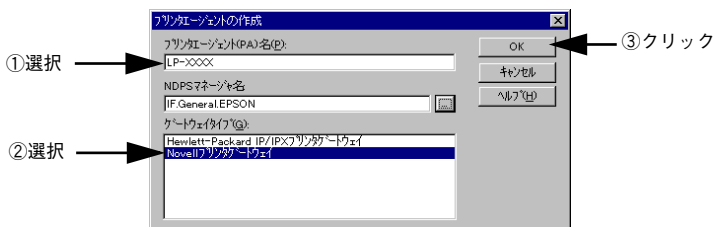
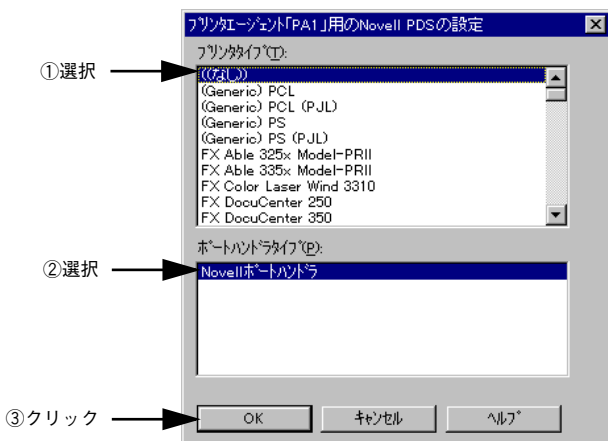
プリンタエージェントの作成（パブリックアクセスプリンタ）

2. 作成した NDPS マネージャを選択し、メニューの［オブジェクト］-［詳細］画面を起動します。

3 ［プリンタエージェントリスト］ボタンをクリックして、［新規］ボタンをクリックします。

［新規］ボタンが無効になっている場合は、サーバコンソールでNDPSMをロードしてください。

4 ［プリンタエージェント（PA）名］を入力します。

［ゲートウェイタイプ］は［Novell プリンタゲートウェイ］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。続いて手順8へ進みます。

プリンタエージェントの作成（コントロールアクセスプリンタ）

5 ディレクトリコンテキストのアイコンを選択し、メニューの［オブジェクト］-［作成］-［NDPS Printer］を選択します。

6 ［NDPS プリンタ名］を入力し、［プリンタエージェントのソース］欄では［新規プリンタエージェントを作成する］を選択して［作成］ボタンをクリックします。

それ以外の項目については、NetWare5.xJ/6.xJ の取扱説明書を参照してください。

7 ［NDPS マネージャ名］では作成した NDPS マネージャを選択します。［ゲートウェイタイプ］は［Novellプリンタゲートウェイ］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。続いて手順 8 へ進みます。

8 ［プリンタタイプ］は（(なし)）を、［ポートハンドラタイプ］は［Novell ポートハンドラ］を選択して［OK］ボタンをクリックします。

9 **お使いになる接続タイプとポートタイプを選択し［次へ］ボタンをクリックします。**

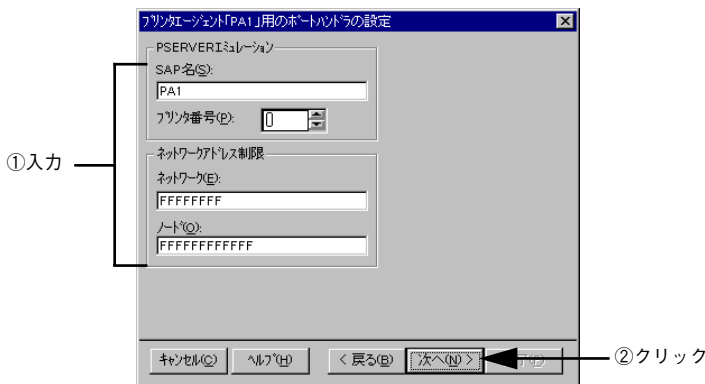
ここで選択する［接続タイプ］によって、次の手順へ進んでください。

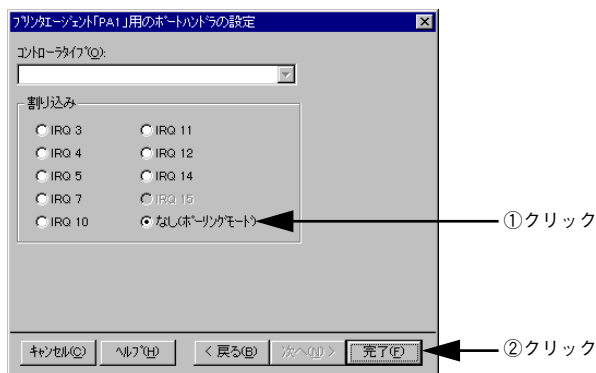
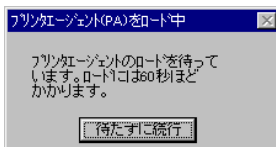
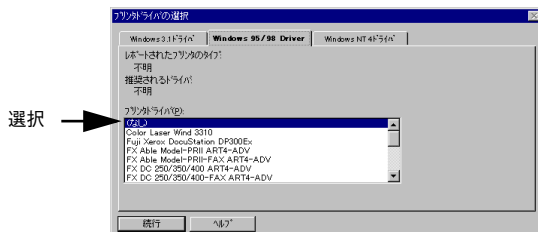
- ［リモート（IPX 上で rprinter）］：手順 10 へ
- ［リモート（IP 上で LPR）］：手順 14 へ
- ［ジョブをキューに転送］：手順 17 へ

［接続タイプ］でリモート（IPX 上で rprinter）を選択したら、［ポートタイプ］で LPT1 を選択してください。

リモート（IPX 上で rprinter）を選択した場合

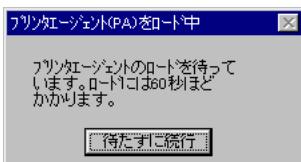
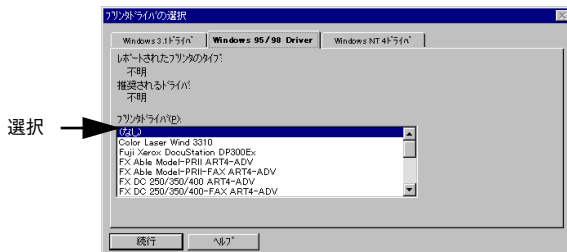
> **参 考**
> ネットワークインターフェイスのネットワークアドレスと MAC アドレスは、ネットワークステータスシートに印刷されています。
> ☞231 ページ「ネットワークステータスシート」

10 **次の項目を入力し、［次へ］ボタンをクリックします。**

設定項目	設定内容
SAP 名	プリンタエージェント名が表示されます。
プリンタ番号	プリンタ番号（0～254）を設定します。
ネットワーク	ネットワークインターフェイスのネットワークアドレスを入力します。
ノード	ネットワークインターフェイスの MAC アドレスを入力します。

11 ［割り込み］は［なし］を選択し、［完了］ボタンをクリックします。

12 次の画面が表示されます。手順 13 の画面が表示されるまでお待ちください。

13 ［プリンタドライバ］は（なし）を選択します。この後は、手順20 へ進んでください。

リモート（IP 上で LPR）を選択した場合

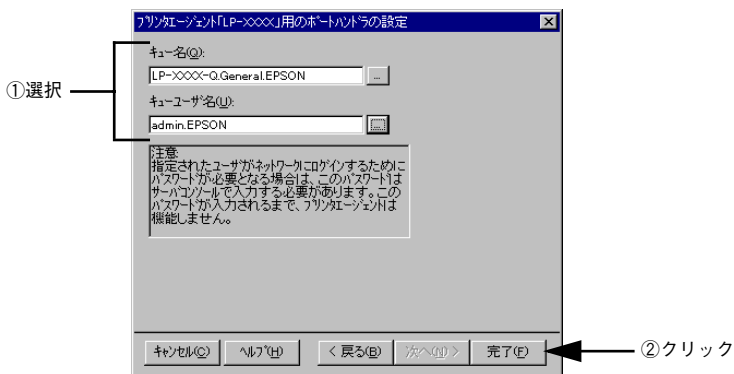
14 ［ホストアドレス］にはネットワークインターフェイスの IP アドレスを入力します。

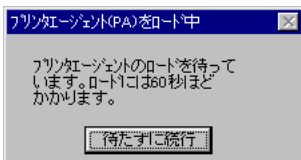
［ホスト名］は、ホスト名を登録してある場合に入力します。
プリンタ名は図のように初期値のままで、［完了］ボタンをクリックします。

15 次の画面が表示されます。手順 16 の画面が表示されるまでお待ちください。

16 ［プリンタドライバ］は（なし）を選択します。この後は、手順20 へ進んでください。

（ジョブをキューに転送）ポートハンドラの設定

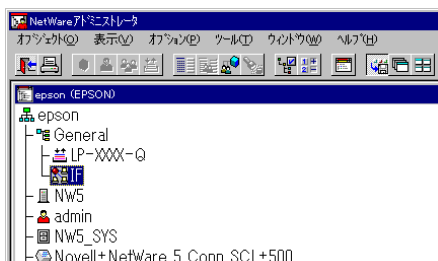
この設定は、すでに作成されているキューで、印刷のできる設定が完了していることを前提としています。印刷環境の設定については以下のいずれかのページをご覧ください。

97 ページ「NetWare3.xJ/4.xJ バインダリプリントサーバモード」
98 ページ「NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ NDS プリントサーバモード」
99 ページ「NetWare3.xJ リモートプリンタモード」
102 ページ「NetWare4.xJ バインダリリモートプリンタモード」
108 ページ「NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ NDS リモートプリンタモード」

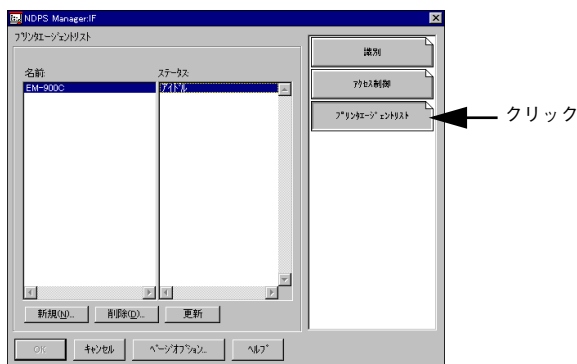
17. ［キュー名］にはネットワークインターフェイスが有効なキューを、［キューユーザ名］には［キュー名］のキューユーザー権限を持つ名前を選択し、［完了］ボタンをクリックします。

参考　［キュー名］にはあらかじめ作成しておいたプリントキュー名を指定します。モードはプリントサーバ、リモートプリンタのどちらでも構いません。

18. 次の画面が表示されます。手順 19 の画面が表示されるまでお待ちください。

⑲ ［プリンタドライバ］は（なし）を選択します。この後は、手順20へ進んでください。

⑳ 設定したNDPSプリンタエージェントを確認します。

NWADMINで、作成したNDPSマネージャオブジェクトを選択し、メニュー［オブジェクト］-［詳細］画面を起動します。

㉑ ［プリンタエージェントリスト］ボタンをクリックします。

ここで、作成したNDPSプリンタエージェントのステータスが［アイドル］になっていることを確認します。

> **参 考** リモート（IPX 上で rprinter）をお使いの場合は、次ページの設定を行ってから、この画面でステータスが［アイドル］になることを確認してください。

［リモート（IPX上でrprinter）］の場合は、続いて次ページの設定を行ってください。

ネットワークインターフェイスの設定

NDPS ゲートウェイで使用するための設定をする際、[リモート(IPX 上で rprinter)]を選択した場合は、本製品に付属のユーティリティからも設定をする必要があります。

参 考	次の操作は、[リモート(IPX 上で rprinter)] をお使いの場合にのみ設定してください。[リモート(IP 上で LPR)]、[ジョブをキューに転送] をお使いの場合、設定は不要です。

1. **ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。**

2. **設定する NetWare サーバに、クライアントから ADMIN 権限のあるユーザーでログインします。**

3. **本製品に付属のユーティリティから、本機のネットワークインターフェイスの設定をします。**

   通常は、EpsonNet Config(Windows)をお使いください。

   ☞ 45 ページ「EpsonNet Config(Windows)」

参 考	ネットワークインターフェイスの IP アドレスが設定済みの場合は、EpsonNet Config(Web) も使えます。 ☞153 ページ「EpsonNet Config(Web) の使い方」

ダイヤルアップネットワーク使用時の注意

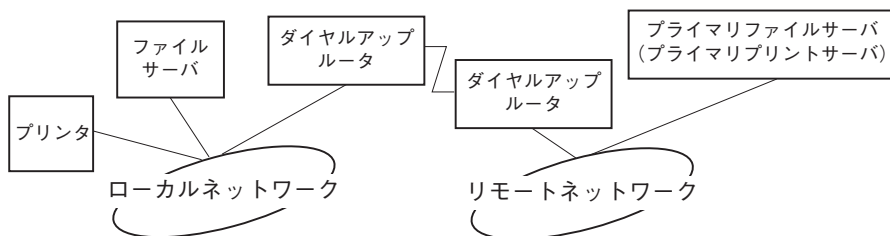
ここでは、ダイヤルアップネットワークを使用する場合の注意点を説明します。

参 考	本文にある「プライマリサーバ」とは、プライマリタイムサーバ（ネットワーク上でワークステーションなどに時間を提供するサーバ）を指します。

ダイヤルアップ先にプライマリサーバがある場合

プリントサーバモードでは、必ず専用線接続で使います。
プリントサーバモードではファイルサーバに対してポーリングを行うため、ルータによる代理応答ができません。このため、ダイヤルアップ接続での使用はできません。

リモートプリンタモードでは、代理応答機能があるルータを使えば、ダイヤルアップ先にプライマリサーバを設置できます。しかし、プライマリサーバがダウンした場合などに不必要なダイヤルアップをしてしまう可能性があるため、ダイヤルアップ専用線接続をお勧めします。
ダイヤルアップ接続をする場合は、次ページからの注意をお読みください。

ローカルネットワークにファイルサーバがある場合

電源投入時

ローカルのファイルサーバ→プライマリ サーバの順にアクセスするため、ダイヤルアップが発生します。
このダイヤルアップは電源投入時の 1 回のみで、問題はありません。

ネットワークインターフェイスが正しく設定されていない場合

ローカルのファイルサーバ→プライマリ サーバの順にアクセスするため、ダイヤルアップが約 5 分間隔で発生します。
ネットワークインターフェイスが正しく設定されていないことが原因です。本章に記載されている設定を正しく行うと、この現象は発生しません。

正常動作中（待機）

NetWare のプロトコル規約により、SPX Watchdog パケットが送信されます。代理応答機能があるルータを使えば問題ありません。

正常動作中（印刷）

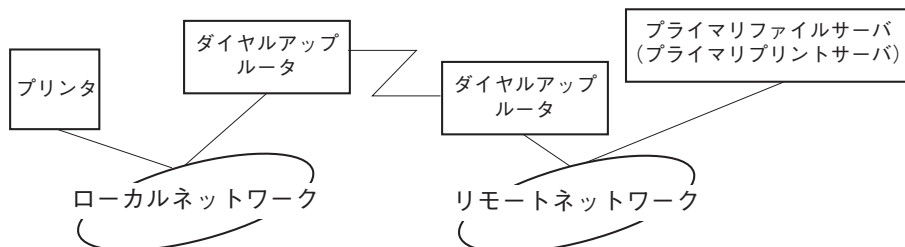
印刷データが転送されている間ダイヤルアップが発生します。ダイヤルアップネットワーク本来のダイヤルアップであるため問題ありません。

動作中にプライマリサーバがダウンした場合

定期的にプライマリサーバに接続を試みるため、ダイヤルアップが発生します。これは自動再接続機能が原因です。一旦、プリンタの電源をオフにしてください。

ローカルネットワークのファイルサーバがダウンした場合

ローカルネットワークにファイルサーバがなくなると、ローカルネットワークでNetWareと本機のネットワークインターフェイスのNetWareプロトコルが使えなくなります。この状態ではダイヤルアップは発生しません。ローカルネットワークのファイルサーバが復帰すると、本機のネットワークインターフェイスも自動復帰します。

ローカルネットワークにファイルサーバがない場合

ルータの設定によっては、ローカルネットワークにファイルサーバがなくても NetWare プロトコルが使えます。

電源投入時
プライマリサーバにアクセスするため、ダイヤルアップが発生します。
このダイヤルアップは電源投入時の 1 回のみで、問題はありません。

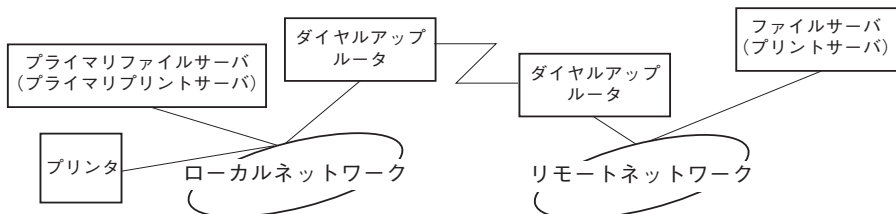
ネットワークインターフェイスが正しく設定されていない場合
プライマリサーバにアクセスするため、ダイヤルアップが約 5 分間隔で発生します。ネットワークインターフェイスが正しく設定されていないことが原因です。本章に記載されている設定を正しく行うと、この現象は発生しません。

正常動作中（待機）
NetWare のプロトコル規約により、SPX Watchdog パケットが送信されます。代理応答機能があるルータを使えば問題ありません。

正常動作中（印刷）
印刷データが転送されている間ダイヤルアップが発生します。ダイヤルアップネットワーク本来のダイヤルアップであるため問題ありません。

動作中にプライマリサーバがダウンした場合
定期的にプライマリサーバに接続を試みるため、ダイヤルアップが発生します。これは自動再接続機能が原因です。一旦、プリンタの電源をオフにしてください。

ローカルネットワークにプライマリサーバがある場合

プリンタを設置したネットワークにプライマリサーバを設置しても、構成によっては不必要なダイヤルアップが発生します。
次の注意点は、プリントサーバモード、リモートプリンタモードで共通です。

電源投入時

プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。

本機のネットワークインターフェイスが正しく設定されていない場合

プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。ただし、誤ってリモートネットワークのファイルサーバ / プリントサーバをプライマリサーバとして設定してしまった場合は、意図しないダイヤルアップが発生するので注意が必要です。本章に記載されている設定を正しく行えば、この問題は発生しません。

正常動作中（待機）

プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。

正常動作中（印刷）

プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。

動作中にプライマリサーバがダウンした場合

定期的にプライマリサーバに接続を試みますが、ダイヤルアップは発生しません。ただし、ルータがSAP パケット (Find Nearest Server) を通過させる設定となっていると不必要なダイヤルアップが発生します。一旦、本プリンタの電源をオフにするか、ルータでSAP パケット（Find Nearest Server）を通過させないようにしてください。

EpsonNet Print の使い方

EpsonNet Print の使い方について説明します。

EpsonNet Print の概要

EpsonNet Print は、Windows からネットワークに接続したプリンタに、TCP/IP 直接印刷をする時に使うユーティリティです。次のような特長があります。

- プリントサーバが必要ありません。
- EpsonNet Print をコンピュータにインストールし、LPR プリンタを設定すると、TCP/IP（LPR）直接印刷が可能になります。
- ルータを越えた場所にあるプリンタも、LPR プリンタとして使用できます。
- プリンタに印刷データを送信するためのプロトコル（LPDプロトコル／EPSON拡張LPD プロトコル／ RAW）を選択することで、印刷の速さを設定できます。
- ネットワーク上のプリンタの場所の指定は、IP アドレス/ホスト名/FQDN*のいずれかを入力することで設定できます。また、ネットワーク上のプリンタの場所が分からない場合でも、[検索] ボタンをクリックすることで、ネットワーク上のプリンタから、カラー / モノクロ・プリンタタイプ・用紙サイズなどでプリンタを絞り込んで一覧表示でき、容易に設定することができます。

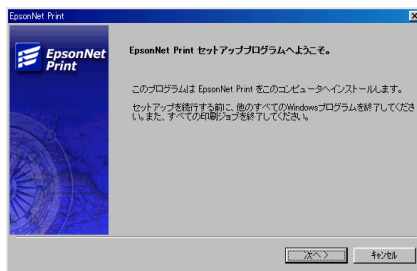
＊ FQDN：Fully Qualified Domain Name の略
インターネットやイントラネット等のTCP/IPネットワーク上でホスト名に続けてドメイン名まで省略せずにすべて指定した記述形式のこと。
例えば「LP-XXXX-XXXXX.epson.co.jp」のようにホスト名（LP-XXXX-XXXXX）、ドメイン名（epson.co.jp）のすべてを指定した形式のこと。

セットアップの流れ

EpsonNet Print をお使いいただくための、作業の流れを説明します。

❶ EpsonNet Print のインストール

コンピュータにEpsonNet Print をインストールします。

☞ 134 ページ「EpsonNet Printのインストール」

❷ コンピュータの設定

Windows 95/98/Me の場合

Windows 95/98/Me でお使いの場合は、LPR 印刷を行うプリンタのプリンタドライバを任意のポート（LPT1 など）を選択しインストールします。
プリンタドライバのインストール完了後、プリンタのプロパティを開いて、プリンタポートの設定を、EpsonNet Printのインストールで作成されたポート「EpsonNet Print Port」に変更します。
詳細は、以下の手順を参照してください。

①プリンタドライバのインストール
☞ 138 ページ

②プリンタポートの作成と設定変更
☞ 140 ページ

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 の場合

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 でお使いの場合は、「EpsonNet Print Port」を作成してから、LPR 印刷を行うプリンタのプリンタドライバをインストールします。
詳細は、以下の手順を参照してください。

①プリンタポートの作成
☞ 143 ページ

②プリンタドライバのインストール
☞ 147 ページ

プリンタを共有する手順については、プリンタ本体に添付されているユーザーズガイド（PDF）を参照してください。

注 意

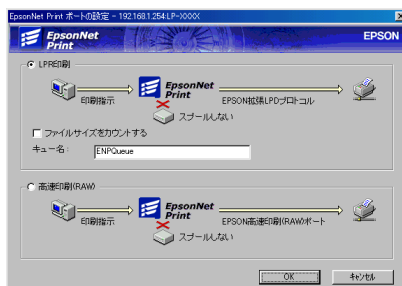
Windows 95 OSR2 の場合は、InternetExplorer のバージョンが 5.0 以降であることを確認してください。

参 考

Windows 95/98/Me の場合は、プリンタを使用するすべてのコンピュータ（Windows 95/98/Me）に EpsonNet Print をインストールしてください。

3 EpsonNet Print の設定

必要に応じて EpsonNet Print から印刷データを送信する方法などの設定を行います。

☞ 151 ページ「印刷方式の設定」

動作環境

EpsonNet Print は、次の環境で動作します。

システム条件

- IBM PC/AT 互換機
- CPU：Pentium II 400MHz 以上
- ハードディスクの空き容量：20MB 以上
- 内蔵メモリ容量：RAM 64MB 以上

対象 OS

- Windows 95 OSR2（Internet Explorer Ver.5.0 以降）
- Windows 98/Me
- Windows NT4.0（サービスパック 6 以降）
- Windows 2000（サービスパック 4 以降）
- Windows XP（サービスパック 1 以降）
- Windows Server 2003

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 は、EpsonNet Print をインストールしなくても LPR 印刷ができます。

参 考

EpsonNet Direct Print の Version1.0 または Version2.x と、同じコンピュータにインストールすることはできません。
EpsonNet Direct Print の Version1.0 をお使いの場合は、EpsonNet Print をインストールする前に、EpsonNet Direct Print の Version1.0 をアンインストール（削除）してください。
EpsonNet Direct Print の Version2.x をお使いの場合は、EpsonNet Print をインストールすると、警告のメッセージが表示されます。画面の指示に従って EpsonNet Direct Print をアンインストール（削除）してください。
☞136 ページ 手順 7

EpsonNet Print のインストール

EpsonNet Print のインストール方法を、Windows 98 の画面を例に説明します。EpsonNet Print をインストールすると、新しいプリンタポート（EpsonNet Print Port）が作成されます。このプリンタポートを使用して印刷すると、ネットワークに直接接続されたプリンタへ印刷が行えます。

注意
Windows 95 OSR2 の場合は、Internet Explorer のバージョンが 5.0 以降であることを確認してください。

参考
- Windows　95/98/Me の場合は、プリンタを使用するすべてのコンピュータ（Windows 95/98/Me）に EpsonNet Print をインストールしてください。
- Windows 95/98/Me で「ネットワーク簡単セットアップガイド（Windows）」（紙マニュアル）でネットワークの設定が済んでいる場合は、EpsonNet Print をインストールする必要はありません。

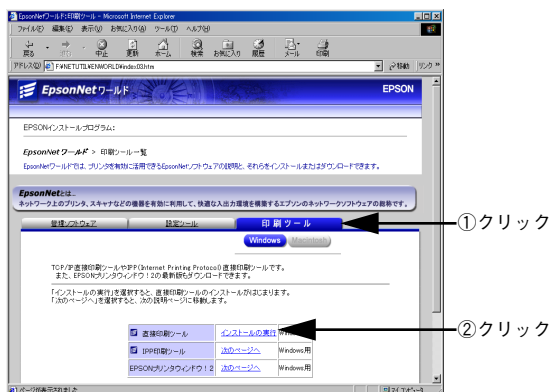
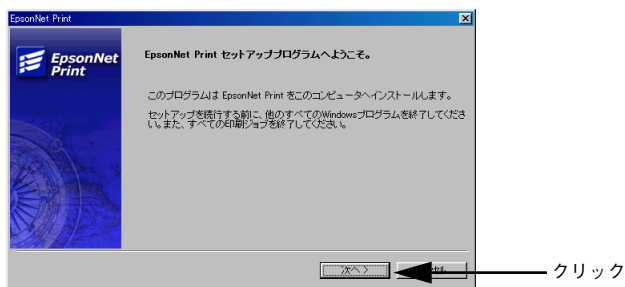
1. **コンピュータに、本製品付属の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。**

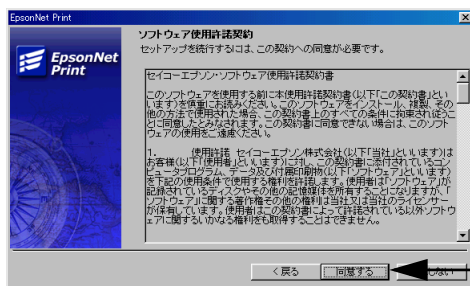
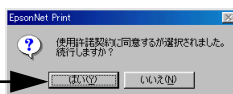
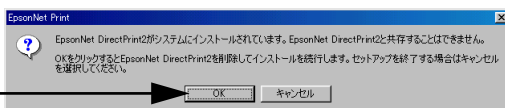
2. **ウィルスチェックプログラムに対処します。**
   - ウィルスプログラムの実行中は、［インストール中止］ボタンをクリックしてウィルスチェックプログラムを終了させてから作業を開始します。
   - ウィルスチェックプログラムがない、または停止中は［続ける］ボタンをクリックして次へ進みます。

参考
画面が自動的に表示されないときや［インストール中止］ボタンをクリックした後に作業を再開したいときは、［マイコンピュータ］内の CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。

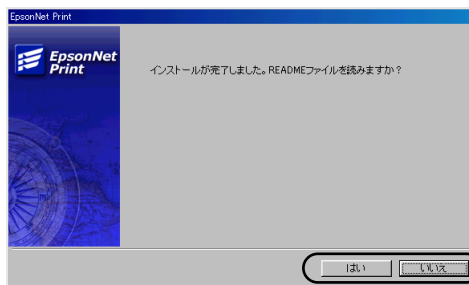
3. **使用許諾契約書の画面が表示されたら、内容を確認して［同意する］ボタンをクリックします。**

4 ［EpsonNet ワールドにはいる］をクリックします。

5 ［印刷ツール］タブをクリックし、［直接印刷ツール］の［インストールの実行］をクリックします。

6 ［次へ］ボタンをクリックします。

7 ［ソフトウェア使用許諾契約］画面の内容を確認して、［同意する］ボタンをクリックします。

確認画面が表示されますので、［はい］ボタンをクリックしてください。

参考 EpsonNet Direct Print の Version2.x がインストールされている場合は、以下の画面が表示されます。［OK］ボタンをクリックしてください。

8 ［アプリケーションのインストール］画面の内容を確認して、［インストール］ボタンをクリックします。

インストール画面が表示され、インストールが始まります。

9 README ファイルを読む場合は［はい］ボタン、読まない場合は［いいえ］ボタンをクリックします。

以上で、EpsonNet Print のインストールは終了です。

プリンタの接続と設定

EpsonNet Printのインストールが終了したら、LPR印刷をするプリンタを設定します。

TCP/IP 設定の確認

1. **設定に使うコンピュータに、TCP/IP が正しく設定されていることを確認します。**
☞ 23 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

2. **プリンタに装着されているネットワークインターフェイスに、工場出荷時以外のIP アドレスが設定されていることを確認します。**

注 意

- IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者に値を確認してください。IP アドレスがわからない場合は以下のページをご覧ください。
☞ 212 ページ「設定する IP アドレスがわからない」
- 工場出荷時、IP アドレスは［192.168.192.168］に設定されていますが、製品の仕様上、初期の状態のままでは使用できません。この IP アドレス（192.168.192.168）を使用する場合は、初期値を一旦消してから同じ IP アドレスを再入力することで使用可能となります。ネットワークインターフェイスの IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。

参 考

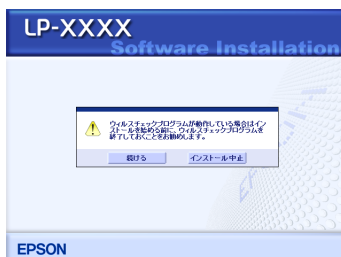
ネットワークインターフェイスの IP アドレスは、本機の操作パネルや本製品付属のユーティリティで設定する必要があります。ネットワークインターフェイスの IP アドレスの設定方法については、以下のページをご覧ください。
☞ 51 ページ「ネットワークインターフェイス設定」

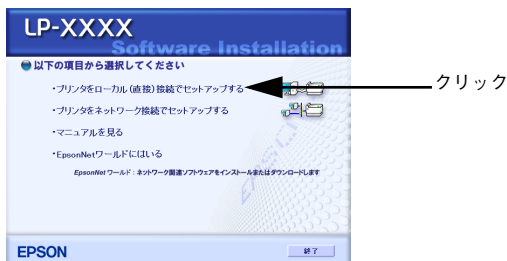
Windows 95/98/Me での設定

プリンタドライバのインストール

本製品付属の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」を使用して、プリンタドライバをインストールします。
Windows 98 の画面を例に説明します。

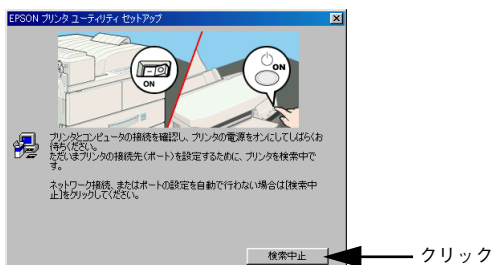
1. **コンピュータに、本製品付属の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。**

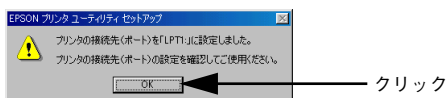
2. **ウィルスチェックプログラムに対処します。**
   - ウィルスプログラムの実行中は、[インストール中止] ボタンをクリックしてウィルスチェックプログラムを終了させてから作業を開始します。
   - ウィルスチェックプログラムがない、または停止中は [続ける] ボタンをクリックして次へ進みます。

参考 画面が自動的に表示されないときや [インストール中止] ボタンをクリックした後に作業を再開したいときは、[マイコンピュータ] 内の CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。

3. **使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認して [同意する] ボタンをクリックし、[プリンタをローカル（直接）接続でセットアップする] をクリックします。**

4 **画面の内容を確認して、［インストール］ボタンをクリックします。**

5 **以下のような画面が表示された場合は、［検索中止］または［キャンセル］ボタンをクリックしてください。**

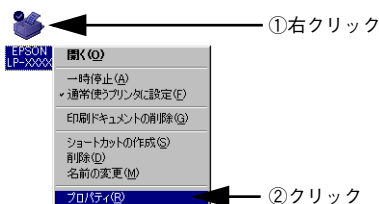
EpsonNet Print を使用する場合、プリンタポートの設定を手動で行うため設定の必要はありません。

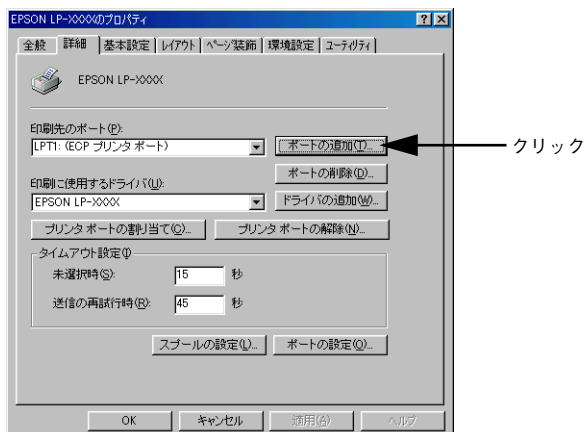
＜例＞

［検索中止］または［キャンセル］ボタンをクリックすると、以下のような画面が表示されることがあります。［OK］ボタンをクリックしてください。

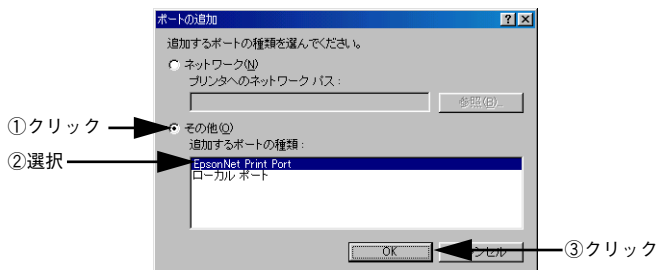
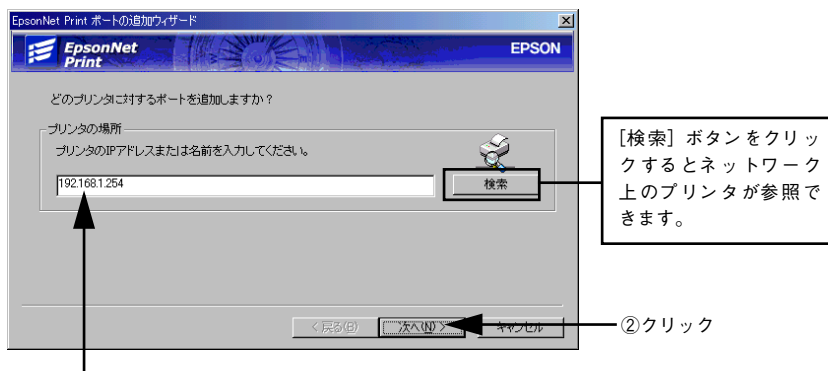
＜例＞

プリンタドライバのインストールが終了したら、次ページに進んで LPR 印刷を行うためのプリンタポートの設定を変更します。

参 考	プリンタポートの設定を行わないと、EpsonNet Print で印刷することはできませんので、必ず設定してください。

プリンタポートの作成と設定変更

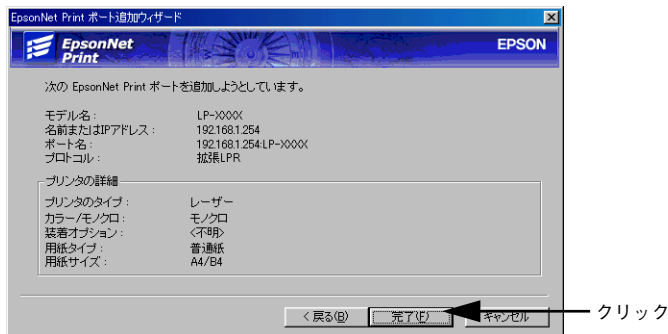
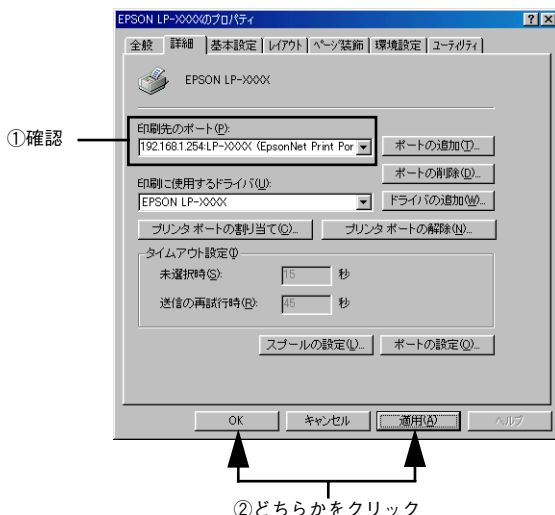
1. インストールされたプリンタを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

2. 表示された画面の［詳細］をクリックします。

3. ［ポートの追加］ボタンをクリックします。
［ポートの追加］画面が表示されます。

4 ［その他］をチェックし、［EpsonNet Print Port］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

［EpsonNet Print ポート追加ウィザード］画面が表示されます。

5 プリンタの場所を指定して、［次へ］ボタンをクリックします。

LPR 印刷を行うプリンタを指定します。

① IP アドレス / ホスト名 /FQDN のいずれかを入力
（画面は IP アドレス 192.168.1.254 の場合の入力例です。）

参 考 ネットワークプリンタの検索方法については、以下のページをご覧ください。
☞149 ページ「ネットワークプリンタの検索」

6 画面の内容を確認して、［完了］ボタンをクリックします。

7 印刷先のポートを確認して［OK］ボタン、または［適用］ボタンをクリックします。

以上で Windows 95/98/Me での設定は終了です。

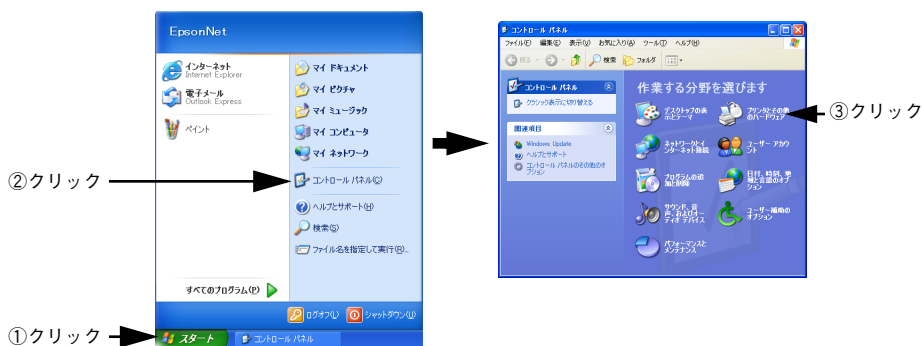
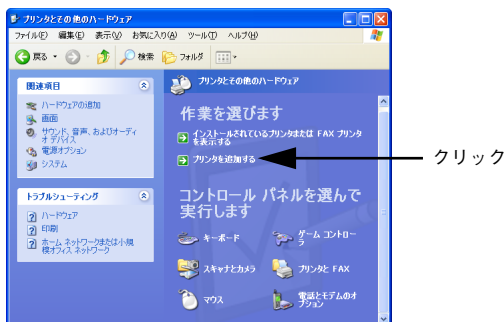
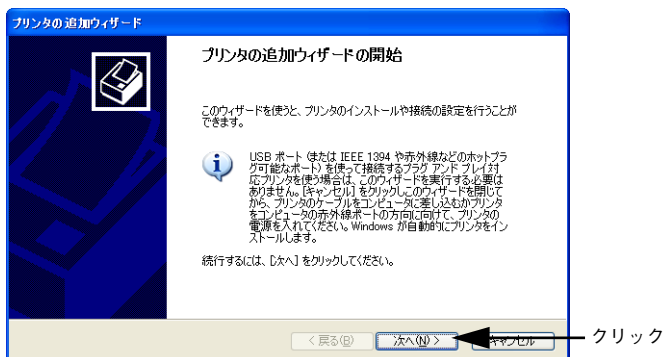
印刷方法の設定をする場合は、以下のページに進んでください。

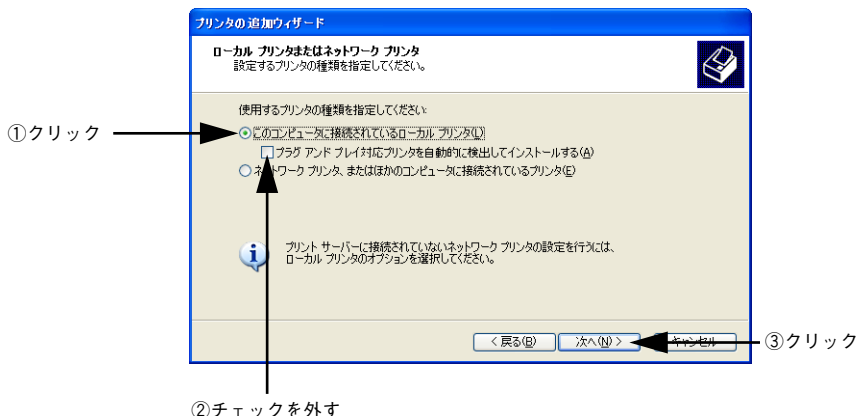
☞ 151 ページ「印刷方式の設定」

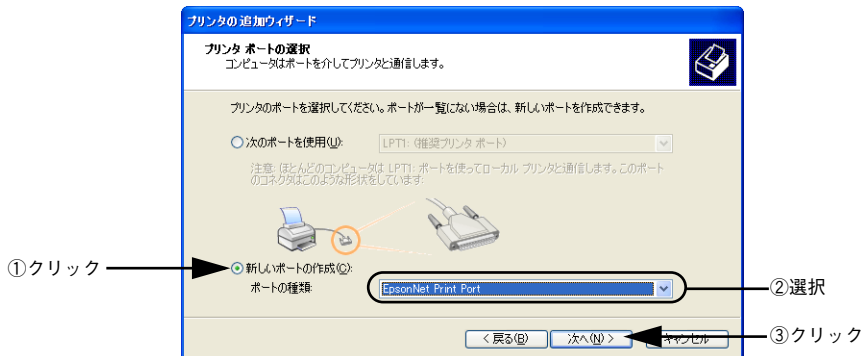
Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 での設定

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 で印刷する場合、プリンタポートを作成した後、プリンタドライバをインストールします。

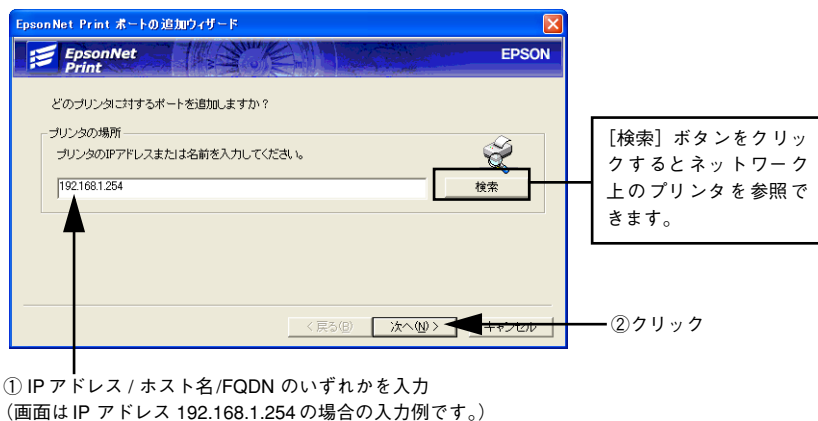
プリンタポートの作成

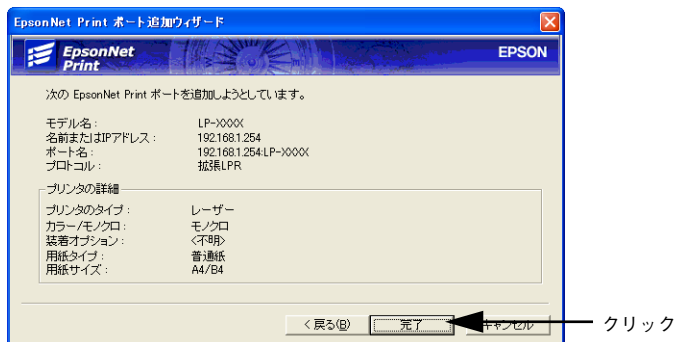
1. **[スタート] ボタン - [コントロールパネル] の順でクリックし、[コントロールパネル] 画面で [プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。**
   Windows Server 2003 の場合は、[スタート] ボタン - [プリンタと FAX] の順にクリックします。
   Windows NT4.0/2000 の場合は、[スタート] ボタン - [設定] - [プリンタ] の順にクリックします。

2. **[プリンタを追加する] をクリックします。**
   [プリンタの追加ウィザード] 画面が表示されます。
   Windows 2000/Server 2003 の場合は、[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。
   Windows NT4.0 の場合は、[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックし、手順 4 へ進みます。

3 ［プリンタの追加ウィザード］画面で、［次へ］ボタンをクリックします。

4 ［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択し、［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して、［次へ］ボタンをクリックします。

Windows NT4.0 の場合は、［このコンピュータ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。
Windows 2000 の場合は、［ローカルプリンタ］を選択し、「プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックを外して、［次へ］ボタンをクリックします。

5 ［新しいポートの作成］を選択します。［EpsonNet Print Port］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

Windows NT4.0 の場合は、［ポートの追加］ボタンをクリックします。
表示される［プリンタポート］画面で［EpsonNet Print Port］を選択して、［新しいポート］ボタンをクリックします。

6 プリンタの場所を指定して、［次へ］ボタンをクリックします。

LPR 印刷を行うプリンタを指定します。

① IP アドレス / ホスト名/FQDN のいずれかを入力
（画面は IP アドレス 192.168.1.254 の場合の入力例です。）

参 考 ネットワークプリンタの検索方法については、以下のページをご覧ください。
149 ページ「ネットワークプリンタの検索」

7 画面の内容を確認して、［完了］ボタンをクリックします。

8 Windows NT4.0の場合は、以下の手順でプリンタポートの設定を続けます。

［プリンタポート］画面で、［閉じる］ボタンをクリックします。
［プリンタの追加ウィザード］画面で、「利用可能なポート」が、選択した［EpsonNet Print Port］にチェックが付いていることを確認して、［次へ］ボタンをクリックします。

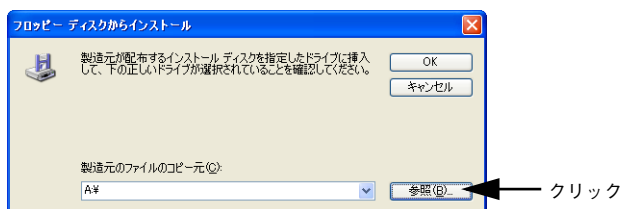
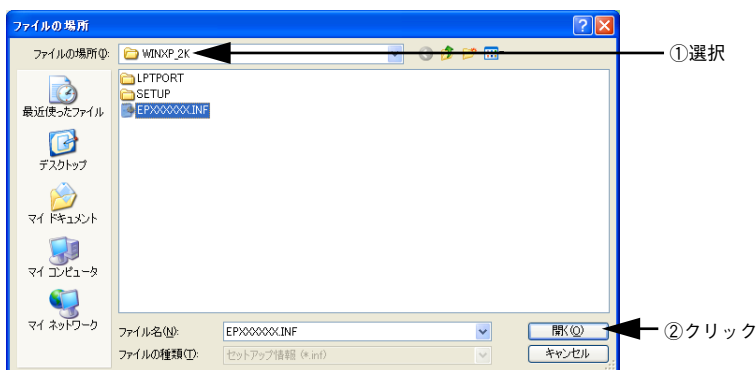
［プリンタの追加ウィザード］または［プリンタウィザード］画面を開いた状態で、次ページの「プリンタドライバのインストール」へ進みます。

プリンタドライバのインストール

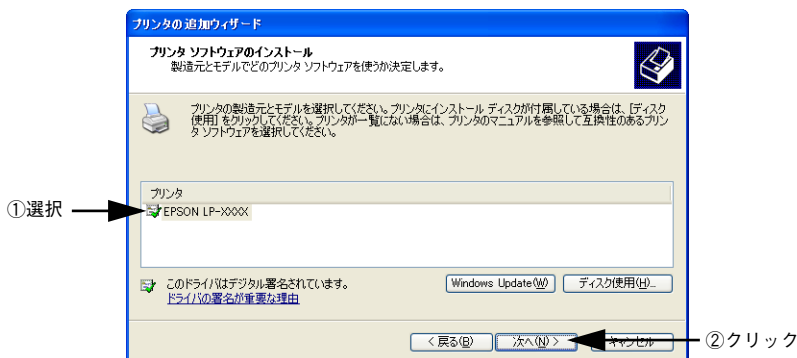
1. コンピュータに、本製品付属の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

2. 画面が表示されたら、[インストール中止] ボタンをクリックして画面を閉じてください。

3. [プリンタの追加ウィザード] または [プリンタウィザード] 画面で [ディスク使用] ボタンをクリックします。

4. [フロッピーディスクからインストール] 画面が表示されたら、[参照] ボタンをクリックします。

5. 各 OS のプリンタドライバのフォルダを選択して、[開く] ボタンをクリックします。

OS 環境	選択するフォルダ名
Windows NT4.0	WINNT40
Windows 2000/XP/Server 2003	WINXP_2K

6. [フロッピーディスクからインストール] 画面に戻りますので、[OK] ボタンをクリックします。

7 プリンタの一覧からお使いの機種名を選択し、［次へ］ボタンをクリックします（画面は例です）。

8 この後は、画面の指示に従ってインストールを進めてください。

参 考

- プリンタをネットワーク共有する場合は、この後で設定する共有名をクライアントコンピュータの使用者に知らせてください。クライアントコンピュータからプリンタを利用するときに必要です。
- この後［デジタル署名が見つかりませんでした］という画面が表示された場合は、［続行］または［はい］ボタンをクリックしてください。
- EPSONプリンタウィンドウ!3をインストールされる方は、以下の手順に従ってください。
  ①本製品付属の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をコンピュータにセットし、画面の指示に従って進めます。
  ②「プリンタをネットワーク接続でセットアップする」をクリックします。
  ③インストールするソフトウェアの確認画面が表示されたら、［選択画面］ボタンをクリックします。
  ④ソフトウェアの選択画面で、［EPSON プリンタウィンドウ !3］だけをチェックして、［インストール］ボタンをクリックします。
  ⑤以降の操作は、画面の指示に従ってください。

以上で Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 での設定は終了です。

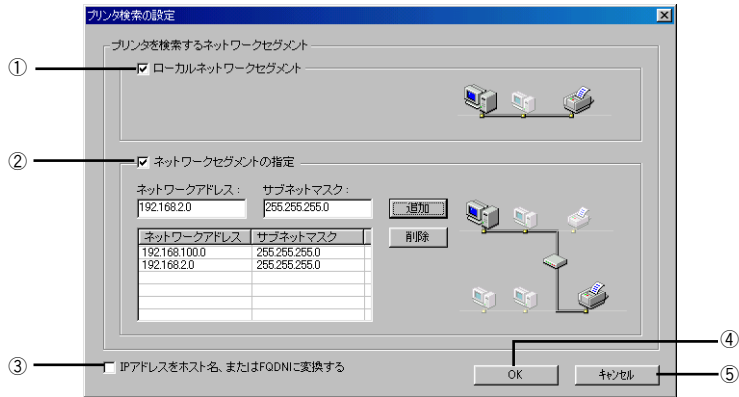
印刷方法の設定をする場合は、以下のページに進んでください。
☞ 151 ページ「印刷方式の設定」

ネットワークプリンタの検索

［EpsonNet Print ポートの追加ウィザード］で［検索］ボタンをクリックした場合に表示される［ネットワークプリンタの検索］画面について説明します。
Windows 98 の画面を例に説明します。

［プリンター覧］画面

	項目名		内容
①	検索結果一覧		ネットワーク上のEPSON プリンタが一覧表示されます。
②	プリンタ情報		「検索結果一覧」で選択されているEPSONプリンタの情報が表示されます。
③	プリンタの絞り込みをする		チェックすると、「検索結果一覧」に表示するEPSON プリンタの絞り込み条件を表示します。
		カラー / モノクロ	カラープリンタかモノクロプリンタかを絞り込み条件に設定します。
		プリンタのタイプ	プリンタの種類（インクジェット / レーザー / ドットインパクト）を絞り込み条件に設定します。
		用紙サイズ	プリンタで設定されている用紙サイズを絞り込み条件に追加します。
		用紙タイプ	プリンタで設定されている用紙タイプを絞り込み条件に追加します。
		装着オプション	プリンタに装着されているオプションを絞り込み条件に追加します。
④	［OK］ボタン		「検索結果一覧」で選択されている EPSON プリンタを有効にして、［プリンター覧画面］を閉じます。
⑤	［キャンセル］ボタン		設定を取り消して、［プリンター覧画面］を閉じます。
⑥	［検索］ボタン		「検索結果一覧」の情報を削除し、検索条件に従ってネットワークプリンタを再検索します。「プリンタの絞り込みをする」を行った場合や［ネットワーク設定］画面で設定を変更した場合などは、検索し直してください。
⑦	［ネットワーク設定］ボタン		［ネットワーク設定］画面を表示します。 ［ネットワーク設定］画面では、プリンタを検索するネットワークセグメントを設定できます。 150 ページ「［ネットワーク設定］画面」

［ネットワーク設定］画面

項目名			内容
①	ローカルネットワークセグメント		印刷に使うコンピュータと同じセグメントのEPSONプリンタ(ネットワークインターフェイス）だけを検索します。
②	ネットワークセグメントの指定		ルータを越えたところにあるEPSONプリンタ(ネットワークインターフェイス）を検索します。 下の項目に、検索する EPSON プリンタが存在するネットワークアドレスとサブネットマスクを入力してください。
		ネットワークアドレス	検索する EPSON プリンタ（ネットワークインターフェイス）の存在するネットワークアドレスを入力します。 例）192.168.2.0
		サブネットマスク	検索する EPSON プリンタ（ネットワークインターフェイス）が存在するネットワークセグメントのクラスに応じたサブネットマスクを入力します。 例)255.255.255.0
		［追加］ボタン	入力されたネットワークセグメント（ネットワークアドレスとサブネットマスク）を「検索範囲リスト」に追加します。
		検索範囲リスト	ネットワークセグメントのIPアドレスとサブネットマスクの一覧を表示します。
		［削除］ボタン	「検索範囲リスト」で選択された項目を削除します。
③	IP アドレスをホスト名、または FQDN に変換する		［プリンター覧］画面を終了する際に、IP アドレスをホスト名もしくはFQDN に変換して表示します。 変換できない場合は、IP アドレスのまま表示します。
④	［OK］ボタン		設定を有効にして、［ネットワーク設定］画面を閉じます。
⑤	［キャンセル］ボタン		設定を取り消して、［ネットワーク設定］画面を閉じます。

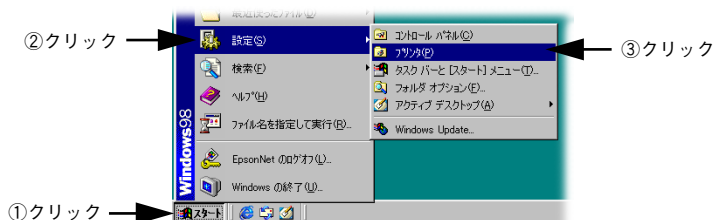
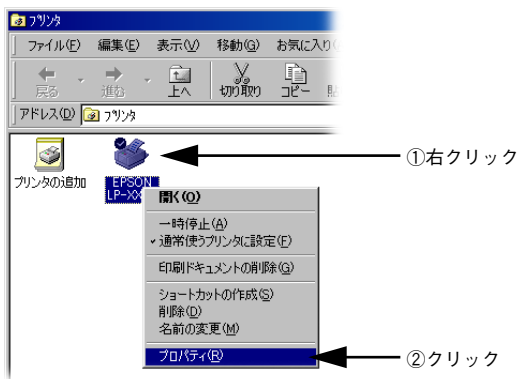
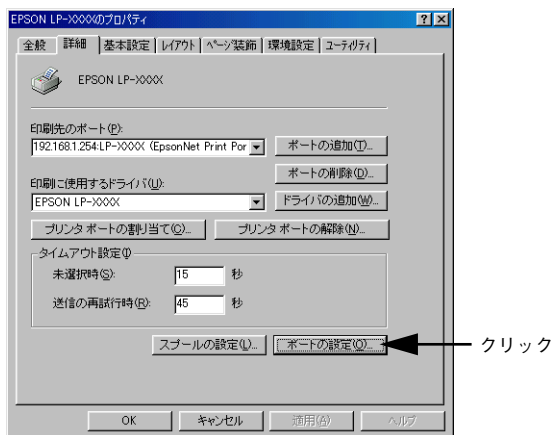
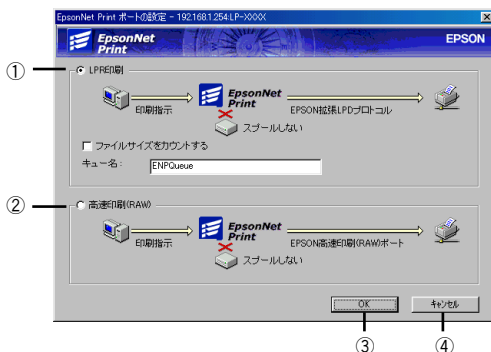
参 考

EpsonNet Print をインストールしたコンピュータがクラスB ネットワークアドレス（128.0.0.0 ～ 191.255.255.255）で設定されていた場合、クラス C ネットワークアドレス（192.0.0.0 ～ 223.255.255.255）で設定したネットワークプリンタが検索されない場合があります。その場合はプリンタの IP アドレスを直接入力してポートを作成してください。

印刷方式の設定

印刷データの送信方法などを設定することができます。
Windows 98 の画面を例に説明します。

1 **［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。**

Windows XP の場合は、［スタート］ボタン -［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、［スタート］ボタン -［プリンタと FAX］の順にクリックします。

2 **プリンタアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**

3 **プロパティの画面で、［詳細］タブにある［ポートの設定］ボタンをクリックします。**
Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 の場合は、［ポート］タブの［ポートの構成］ボタンをクリックします。

4 **用途により印刷方式を切り替えます。**

項目名			内容
①	LPR 印刷		EPSON 拡張LPD プロトコル（拡張印刷）を使用して、印刷データを直接プリンタに送信します。「ファイルサイズをカウントする」にチェックをオンにした場合よりも高速に印刷できます。
		ファイルサイズをカウントする	チェックをオンにすると、LPD プロトコルに準拠しており LPD プロトコルを使用して、印刷データをコンピュータに一旦スプールしてからプリンタに送信します。
		キュー名	印刷キューに名前を付けることができます。 通常は変更する必要はありません。
②	高速印刷（RAW）		最も高速に印刷したい場合に、選択します。 LPR印刷で使用する LPD プロトコルを使わずに印刷します。
③	［OK］ボタン		設定を有効にして、画面を閉じます。
④	［キャンセル］ボタン		設定を取り消して、画面を閉じます。

EpsonNet Config（Web）の使い方

EpsonNet Config（Web）の使い方について説明します。

EpsonNet Config（Web）の概要

EpsonNet Config（Web）は、Web ブラウザからネットワークインターフェイスおよびプリンタを設定するためのユーティリティです。また、本機の操作パネルで行う各種項目も、本ユーティリティ経由で設定できます。
コンピュータにブラウザがインストールされ、コンピュータとネットワークインターフェイス の IP アドレスが設定されていれば、お使いいただけます。
また、EpsonNet Config（Web）では、ネットワークインターフェイス の NetWare、TCP/IP、AppleTalk、MS Network、SNMP、Time を設定できます。

動作環境

EpsonNet Config（Web）は、次の環境で動作します。

システム条件（コンピュータ）

下記の対象 Web ブラウザが動作する環境

参考
Windows NT4.0 をご利用の場合、Windows NT のバージョンがサービスパック 3 以上にアップグレードされている必要があります。

対象 Web ブラウザ

- Internet Explorer Ver.4.01 以降
- Netscape Navigator Ver.4.05 以降（Windows）
- Netscape Navigator Ver.7.0 以降（Macintosh）
- Netscape Communicator 4.0 以降
- Apple Safari Ver.1.1

注意
- Web ブラウザは、LAN 接続による設定とプロキシを使用しない設定をしてください。
☞59 ページ「Web ブラウザの設定についての注意」
- ダイヤルアップ環境でお使いの場合は注意が必要です。以下のページをご覧ください。
☞57 ページ「ダイヤルアップルータ使用時の注意」

ネットワークインターフェイス

IP アドレスが設定されていることが条件となります。
☞ 42 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

EpsonNet Config（Web）でのネットワークインターフェイス設定

EpsonNet Config（Web）を使って、ネットワークインターフェイスの TCP/IP を設定する方法について説明します。TCP/IP 以外のネットワーク設定やプリンタ設定については、以下のページをご覧ください。
☞ 175 ページ「設定メニュー」

EpsonNet Config（Web）は、インストールの必要はありません。ただし、次の設定が終了している必要があります。
①設定に使うコンピュータへの TCP/IP 設定
☞ 23 ページ「コンピュータのネットワーク設定」
②設定に使うコンピュータへの Web ブラウザのインストール
☞ 155 ページ「対象 Web ブラウザ」
③ネットワークインターフェイスへの IP アドレス設定
☞ 43 ページ「設定方法の概要」

注 意

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 8/9 および Mac OS X）と EpsonNet Config（Web）から、同時に同じネットワークインターフェイスに対して設定をしないでください。

参 考

- お使いの Web ブラウザにより、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いのブラウザおよび OS の 取扱説明書を参照してください。
- ダイヤルアップ環境において、ネットワークインターフェイスを NetWare で使用しない場合は、NetWare 設定画面にある［NetWare］項目で［Disable］を選択する必要があります。
  NetWare を使用しない場合に［Enable］を設定しておくと、ダイヤルアップルータを使用したときに、余分な回線使用料のかかるおそれがあります。初期値は［Enable］です。

1 以下の方法で EpsonNet Config（Web）を起動します。

Web ブラウザから起動する場合：

Webブラウザを起動してネットワークインターフェイスのIP アドレスをアドレスバーに入力し、[Enter］または［return］キーを押します。
このとき、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 8/9 および Mac OS X）は起動しないでください。
書式）http:// ネットワークインターフェイスの IP アドレス /
例）http://192.168.100.201/

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 8/9 および Mac OS X）から起動する場合：

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 8/9 および Mac OS X）のリスト画面から、設定するプリンタを選択して［ブラウザの起動 ］ボタンをクリックします。

参 考

NetWare の設定をする場合は、次の事項にご注意ください。

- 設定に使うコンピュータから､NetWare サーバまたは NDS コンテキストに、管理者権限でログインしておいてください。
- EpsonNet Config（Web）には、プリントサーバモードでの EpsonNet Config（Windows）のような、プリントサーバ、キュー、プリンタ を新規に作成 する機能はありません。EpsonNet Config（Web）でオブジェクトを設定 するときは、前もって EpsonNet Config（Windows）、PCONSOLE または NWADMIN で作成した上で、そのオブジェクト名を入力してください。

2 画面が表示されたら、メニューから設定する項目をクリックします。

ここでは、TCP/IP 情報の設定を例に説明しますので、[設定］-［ネットワーク］メニューの［TCP/IP］をクリックしてください。

参 考

- TCP/IP 以外の情報を設定する場合は、設定する項目をクリックしてください。
- ［情報］/［設定］メニューの、［プリンタ］の各種項目を表示するには、Java Plug-in がインストールされている必要があります。次の画面が表示されたときは URL をクリックし、ホームページから Plug-in をダウンロードしてください。

お使いの環境にJava™ Plug-inがインストールされていないため、本機能はご利用いただけません。
インストール方法については、下記ホームページをご参照ください。
クリック → http://www.i-love-epson.co.jp/products/solution/network/epsonnet/java/

3 IP アドレスや各種アドレスを設定します。

お使いの環境に合わせて、ネットワークインターフェイスを設定します。

IPアドレス設定	
IPアドレスの取得方法	Manual
IPアドレス	xxx.xxx.xxx.xxx
サブネットマスク	xxx.xxx.xxx.xxx
デフォルトゲートウェイ	xxx.xxx.xxx.xxx

プライベートIP自動指定(APIPA)による設定	Disable

PINGによる設定	Disable

DNSサーバのアドレス設定	
DNSサーバのアドレスを自動的に取得する	Disable
DNSサーバアドレス(使用順)	xxx.xxx.xxx.xxx xxx.xxx.xxx.xxx xxx.xxx.xxx.xxx

ホスト名とドメイン名の設定	
ホスト名とドメイン名を自動的に取得する	Disable
ホスト名	LP-XXXX-XXXX
ドメイン名	
ネットワークI/FのアドレスをDNSに登録する	Disable
ネットワークI/FのアドレスをDNSサーバに直接登録する	Disable

ユニバーサルプラグアンドプレイ設定	
ユニバーサルプラグアンドプレイ機能を有効にする	Disable
デバイス名	LP-XXXX-XXXX

Rendezvousの設定	
Rendezvous機能を有効にする	Disable
Rendezvous 名	LP-XXXX .local
Rendezvous プリンタ名	LP-XXXX

送信

IP アドレス設定

IPアドレス設定	
① IPアドレスの取得方法	Manual
② IPアドレス	xxx.xxx.xxx.xxx
③ サブネットマスク	xxx.xxx.xxx.xxx
④ デフォルトゲートウェイ	xxx.xxx.xxx.xxx
⑤ プライベートIP自動指定(APIPA)による設定	Disable
⑥ PINGによる設定	Disable

① IP アドレスの取得方法

IP アドレスの取得方法を選択します。初期値では［Manual］が選択されています。

注 意

ダイヤルアップ環境でお使いの場合は注意が必要です。以下のページをご覧ください。

57 ページ「ダイヤルアップルータ使用時の注意」

参 考

- ［Auto］を選択すると、プリンタの電源を入れるたびにプリンタドライバ上でプリンタポートの設定を変更する必要があります。そのため、TCP/IP 印刷をする場合は、［Manual］を選択してIP アドレスを設定することをお勧めします。
- ［Auto］を選択する場合は、本機を含む各プリンタの電源を入れる順番を決めておくか電源を常時オンにしておけば、電源を入れるたびにプリンタポートを変更する必要はありません。

項目	内容
Auto	DHCP や BOOTP サーバから IP アドレスを自動取得する場合に選択します。これらのサーバがない環境では使用できません。設定に関しては各サーバの取扱説明書をご覧ください。
Manual	②の［IP アドレス］欄でIP アドレスを設定する場合に選択します。

② IP アドレス

［IP アドレスの取得方法］で［Manual］を選択した場合は、ネットワークインターフェイスの IP アドレスを入力します。ほかのネットワーク機器や、コンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。

注 意

- IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者に値を確認してください。IP アドレスがわからない場合は以下のページをご覧ください。
212 ページ「設定する IP アドレスがわからない」
- 工場出荷時、IP アドレスは［192.168.192.168］に設定されていますが、製品の仕様上、初期の状態のままでは使用できません。この IP アドレス（192.168.192.168）を使用する場合は、初期値を一旦消してから同じ IP アドレスを再入力することで使用可能となります。ネットワークインターフェイスの IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。

③サブネットマスク

サブネットマスクを入力します。初期値は［255.255.255.0］です。

④デフォルトゲートウェイ

ゲートウェイアドレスを入力します。ゲートウェイになるサーバやルータがある場合は、サーバやルータの IP アドレスを入力します。
初期値は［255.255.255.255］です。ルータがない場合は、初期値のままにしてください。

⑤プライベート IP 自動指定（APIPA）による設定

DHCPサーバでIPアドレスが取得できない場合は、［169.254.1.1］～［169.254.254.254］の範囲で IP アドレスが自動的に割り当てられます。使用する場合は、［Enable］を選択します。
ここで［Disable］が選択されており、DHCP サーバなどから応答がない場合は、IP アドレスは初期値のままとなります。

⑥ PING による設定

PING による IP アドレスの設定をする場合は、［Enable］を選択します。EpsonNet WebManager を使う場合は［Disable］を選択します。
PING による IP アドレスの設定方法については、以下のページをご覧ください。
240 ページ「ARP/PING コマンドでの IP アドレス設定」

DNS サーバのアドレス設定

① DNSサーバのアドレスを自動的に取得する

DNS サーバのアドレスを DHCP サーバから自動的に取得する場合は、[Enable] を選択します。

② DNSサーバアドレス（使用順）

DNS サーバのアドレスを入力します。[DNS サーバのアドレスを自動的に取得する] で [Enable] を選択している場合でも、DHCP サーバから応答がない場合は、ここで設定した DNS サーバのアドレスが使用されます。設定したアドレスは、上位から優先的に使用します。使用しないフィールドには無効なアドレス（255.255.255.255）を設定してください。

ホスト名とドメイン名の設定

	ホスト名とドメイン名の設定	
①	ホスト名とドメイン名を自動的に取得する	Disable
②	ホスト名	LP-XXXX-XXXXXX
	ドメイン名	
③	ネットワークI/FのアドレスをDNSに登録する	Disable
④	ネットワークI/FのアドレスをDNSサーバに直接登録する	Disable

①ホスト名とドメイン名を自動的に取得する

ホスト名とドメイン名を DHCP サーバから自動的に取得する場合は、[Enable] を選択します。

②ホスト名、ドメイン名

ネットワークインターフェイスを装着したホスト名およびドメイン名を設定します。[ホスト名とドメイン名を自動的に取得する] で [Enable] を選択している場合でも DHCP サーバから応答がない場合は、ここで設定したホスト名およびドメイン名が使用されます。

③ネットワーク I/F のアドレスを DNS に登録する

ダイナミック DNS をお使いの環境で、設定したホスト名とドメイン名を DHCP サーバにより DNS サーバに登録する場合は、[Enable] を選択します。ネットワークインターフェイスの IP アドレスが DHCP によって変わっても、ホスト名はダイナミック DNS によって自動更新されます。DNS サーバのアドレスとネットワークインターフェイスのホスト名とドメイン名が自動取得であるか、手動で入力されていないと、設定できません。

④ネットワーク I/F のアドレスを DNS サーバに直接登録する

設定したホスト名とドメイン名を直接 DNS サーバへ登録する場合は、［Enable］を選択します。［IP アドレスの取得方法］が［Auto］または［Manual］のどちらでも設定が可能です。

ユニバーサルプラグアンドプレイ設定

ユニバーサルプラグアンドプレイ設定	
① ユニバーサルプラグアンドプレイ機能を有効にする	Disable
② デバイス名	LP-XXXX-XXXXXX

①ユニバーサルプラグアンドプレイ機能を有効にする

Windows Me 以降の、ユニバーサルプラグアンドプレイに対応した Windows で使用できるユニバーサルプラグアンドプレイ機能を使用する場合は、［Enable］を選択します。初期値は［Disable］です。
ユニバーサルプラグアンドプレイ機能については、以下のページをご覧ください。
☞ 242 ページ「ユニバーサルプラグアンドプレイ機能」

②デバイス名

デバイス名を入力します。この名称は、ユニバーサルプラグアンドプレイ対応の Windows 上で使用されます。初期値は［プリンタ名＋ MAC アドレスの下 6 桁］です。

Rendezvous の設定

> **参 考**
> Rendezvous 機能は、Mac OS X 10.2.4 以降でご利用になれる機能です。Rendezvous の設定方法については、以下のページをご覧ください。
> ☞ 164 ページ「Rendezvous 機能の設定について」

① Rendezvous 機能を有効にする

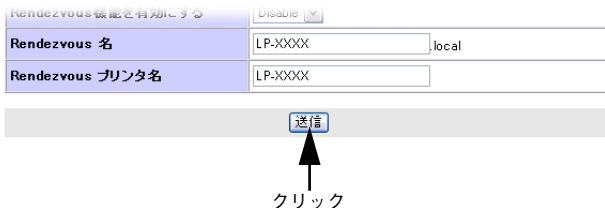
Mac OS X 10.2.4 以降で Rendezvous を使って印刷する場合は、［Enable］を選択します。

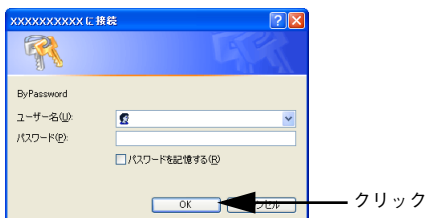
② Rendezvous 名

Mac OS X 10.2.4 以降で Rendezvous をお使いの場合は、Rendezvous 名を入力します。初期値は、ホスト名が Rendezvous 名になります。

③ Rendezvous プリンタ名

Mac OS X 10.2.4 以降で Rendezvous をお使いの場合は、Rendezvous プリンタ名を入力します。入力した名前が、プリンタを追加するときに表示されるプリンタ名になります。

4 **各項目を設定後、［送信］ボタンをクリックします。**

5 **ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。**

ユーザー名とパスワードは、工場出荷時では何も設定されていません。何も入力しなくても、［OK］ボタンをクリックすると設定が送信されます。

ユーザー名とパスワードを変更する場合は、次のメニューで行います。

- ユーザー名：［設定］-［オプション］メニューの、［管理者情報］-［管理者名］項目
- パスワード：［設定］-［オプション］メニューの、［パスワード］-［新パスワード］項目

☞ 208 ページ「オプションの各種設定（［設定］－［オプション］メニュー）」

注意

「設定は正常に更新されました！」と表示されるまでは、ネットワークインターフェイスに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

6 **設定を有効にするため、［今すぐリセット］ボタンをクリックします。**

参考

IP アドレスを変更した場合は、ここでリセットすると今回設定した IP アドレスが有効になります。引き続き EpsonNet Config（Web）を使う場合は、EpsonNet Config（Web）の再読み込みが必要です。新しく設定した IP アドレスを Web ブラウザのアドレスバーに入力して更新ボタンをクリックし、EpsonNet Config（Web）の再読み込みをしてください。

Rendezvous 機能の設定について

ご利用の Mac OS X 10.2.4 以降で、IP アドレスの取得方法に、DHCP サーバおよび APIPA 機能を使うことで、ご利用になれる機能です。ただし、ネットワークインターフェイスの Rendezvous 機能は、初期値では無効となっており、あらかじめ EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 8/9 および Mac OS X）または EpsonNet Config（Web）を使用して Rendezvous 機能を有効に設定する必要があります。

> **参考**
> EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 8/9 および Mac OS X）による Rendezvous の設定方法については、各 EpsonNet Config のヘルプをご覧ください。

1. **コンピュータに IP アドレスを設定します。**
☞ 23 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

2. **EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 8/9 および Mac OS X）を使用して、ネットワークインターフェイスに IP アドレスを設定します。**
☞ 42 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

3. **EpsonNet Config（Web）を起動して、[設定] - [ネットワーク] メニューの [TCP/IP] をクリックします。**
☞ 156 ページ「EpsonNet Config（Web）でのネットワークインターフェイス設定」

4. **[TCP/IP] 画面の [Rendezvous 機能を有効にする] ドロップダウンリストから [Enable] を選択します。**

5. **[TCP/IP] 画面の [IPアドレスの取得方法] ドロップダウンリストから [Auto] を選択します。**

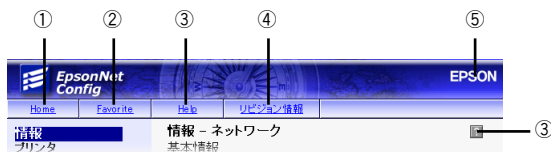
以上で Rendezvous 機能の設定は終了です。Rendezvous を使って印刷するには以下のページをご覧ください。
☞ 92 ページ「Mac OS X 10.2.x-10.3.x の場合」

6 ［送信］ボタンをクリックして、設定を有効にします。

注 意 設定変更動作中は、プリンタの電源をオフにしたり、印刷データを送信したりしないでください。

インデックスとメニュー

EpsonNet Config（Web）のすべての画面で共通の、インデックスとメニュー（情報 / 設定）について説明します。

インデックス

① Home
オープニング画面の［基本情報］が表示されます。

② Favorite
［管理者情報］で設定されたリンク先が表示されます。この項目名［Favorite］は、［オプション］-［管理者情報］の［お気に入り名］で変更することができます。

③ Help/?
ヘルプが表示されます。

④リビジョン情報
リビジョン情報が表示されます。

⑤ EPSON
エプソンのホームページ「I Love EPSON」が別ウィンドウで表示されます。

メニュー

メニューには［情報］と［設定］の２つのメニューがあります。

情報メニュー

プリンタとネットワークインターフェイスの設定状況を確認できます。

プリンタ

項目	内容
デバイス情報	ネットワークインターフェイスとプリンタの情報が表示されます。
消耗品情報	消耗品の使用状況が表示されます。
確認	各種ステータスシートの印刷により、プリンタとネットワークインターフェイスの設定状況を確認できます。
給紙情報	給紙装置の設定状況が表示されます。
印刷動作	プリンタの設定状況が表示されます。
プリンタモード環境	各プリンタモード環境の設定状況が表示されます。
インターフェイス情報	各種インターフェイスの設定状況が表示されます。

詳細は以下のページをご覧ください。

☞169 ページ「プリンタ設定の確認（［情報］-［プリンタ］メニュー）」

ネットワーク

項目	内容
基本情報	ネットワークインターフェイスの情報とプリンタの状態が表示されます。
NetWare	NetWare の設定状況が表示されます。
TCP/IP	TCP/IP の設定状況が表示されます。
AppleTalk	AppleTalk の設定状況が表示されます。
MS Network	MS Network の設定状況が表示されます。
IPP	IPP の設定状況が表示されます。
SNMP	SNMP の設定状況が表示されます。
Time	タイムサーバの設定状況が表示されます。

詳細は以下のページをご覧ください。

☞173 ページ「ネットワークインターフェイス設定の確認（［情報］-［ネットワーク］メニュー）」

設定メニュー

プリンタ、ネットワークインターフェイス、オプションについて、項目ごとに設定できます。

設定
プリンタ
給紙情報
印刷動作
プリンタモード環境
インターフェイス情報
ネットワーク
NetWare
TCP/IP
AppleTalk
MS Network
IPP
SNMP
Time
オプション
管理者情報
リセット
パスワード

プリンタ

項目	内容
給紙情報	給紙装置を設定します。
印刷動作	プリンタの印刷動作を設定します。
プリンタモード環境	各プリンタモード環境を設定します。
インターフェイス情報	各種インターフェイスを設定します。

詳細は以下のページをご覧ください。
175 ページ「プリンタの各種設定（[設定] - [プリンタ] メニュー)」

ネットワーク

項目	内容
NetWare	NetWare を設定します。
TCP/IP	TCP/IP を設定します。
AppleTalk	AppleTalk を設定します。
MS Network	MS Network を設定します。
IPP	IPP を設定します。
SNMP	SNMP を設定します。
Time	タイムサーバに関する設定をします。

詳細は以下のページをご覧ください。
198 ページ「ネットワークインターフェイスの各種設定（[設定] - [ネットワーク] メニュー)」

オプション

項目	内容
管理者情報	管理者名と、インデックスの [Favorite] からリンクする任意の URL などを設定します。
リセット	各種インターフェイス設定のリセットおよび本機を工場出荷時設定に戻します。
パスワード	ネットワークインターフェイスの設定を保護するために、パスワードを設定します。

詳細は以下のページをご覧ください。
208 ページ「オプションの各種設定（[設定] - [オプション] メニュー)」

情報メニュー

［情報］メニューから、プリンタとネットワークインターフェイスの設定状況を確認できます。［情報］メニューの各画面では、［設定］メニュー、本機の操作パネル、または EpsonNet Config（Windows）／（Mac OS 8/9 および Mac OS X）から設定した内容が表示されます。

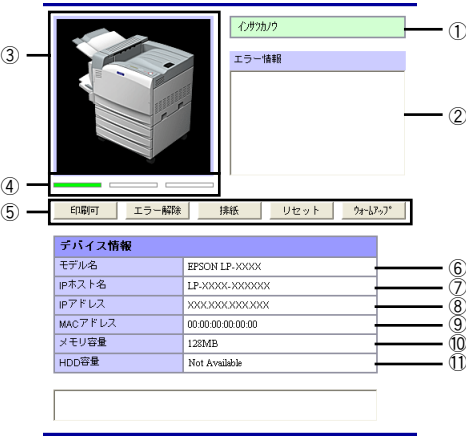
プリンタ設定の確認（［情報］-［プリンタ］メニュー）

プリンタの各種情報画面について説明します。

［情報］/［設定］メニューの、［プリンタ］の各種項目を表示するには、Java Plug-in がインストールされている必要があります。次の画面が表示されたときは URL をクリックし、ホームページから Plug-in をダウンロードしてください。

お使いの環境にJava™ Plug-inがインストールされていないため、本機能はご利用いただけません。
インストール方法については、下記ホームページをご参照ください。
http://www.i-love-epson.co.jp/products/solution/network/epsonnet/java/

クリック

デバイス情報

①プリンタのメッセージ

本機の液晶ディスプレイに表示されるメッセージが表示されます。

②エラー情報

本機で発生しているエラー情報が表示されます。2 つ以上のエラーが発生している場合は、複数のメッセージが表示されます。

③プリンタの状態

プリンタの状態を示す以下の色が、枠上に表示されます。

表示	内容
青	印刷可能または印刷中です。
黄	ワーニング状態です。
赤	印刷不可の状態です。

④ランプ（プリンタ状態表示）

本機の状態が、左から右に向かって以下の３色で表示されます。

表示	内容
緑	オンラインで印刷可能または印刷中です。透明の場合はオフラインです。
オレンジ	データを受信中です。透明の場合は受信データはありません。
赤	エラーが発生しています。透明の場合はエラーはありません。

⑤リモートコントロールボタン

本機の操作パネルから行える以下の操作を実行できます。

表示	内容
印刷可	印刷可能状態とオフライン状態を切り替えます。
エラー解除	エラー状態を解除します。
排紙	用紙を排紙します。
リセット	ネットワークインターフェイスの設定を有効にします。
ウォームアップ	節電状態から復帰します。

⑥モデル名

本機の製品名が表示されます。

⑦ IP ホスト名

本機のネットワークインターフェイスに設定されているホスト名が表示されます。

⑧ IP アドレス

本機のネットワークインターフェイスに設定されている IP アドレスが表示されます。

⑨ MAC アドレス

本機のネットワークインターフェイスの MAC アドレスが表示されます。

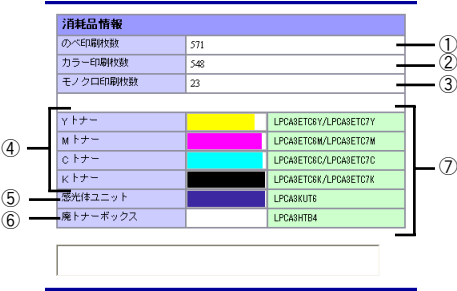
⑩メモリ容量

本機が装着するメモリの容量が表示されます。

⑪ HDD 容量

本機が装着する HDD（ハードディスク）の容量が表示されます。

参 考　オプションの HDD が装着されていない場合は、[Not Available] と表示されます。

消耗品情報

①のべ印刷枚数

ご購入時の使用開始から現在までに印刷した用紙の、累計枚数が表示されます。

②カラー印刷枚数

のべ印刷枚数のうち、カラー印刷した用紙の累計枚数が表示されます。

③モノクロ印刷枚数

のべ印刷枚数のうち、モノクロ印刷した用紙の累計枚数が表示されます。

④ Y/M/C/K トナー

Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）の各トナー残量がバー表示されます。

参考	トナーごとに表示される残量と、実際の残量との間には誤差が生じる場合があります。残量の表示は目安としてください。

⑤感光体ユニット

感光体ユニットの使用量が表示されます。

参考	表示される使用量と、実際の使用量との間には誤差が生じる場合があります。使用量の表示は目安としてください。

⑥廃トナーボックス

参考	残量はバー表示されませんが、⑦の［消耗品型番・エラー状況］の背景色が変化して、使用状況をお知らせします。

⑦消耗品型番・エラー状況

各消耗品の型番と、状態を示す以下の背景色が表示されます。

表示	内容
緑	印刷可能です。
黄	背景色の示す消耗品残量少です。
赤	印刷不可能の状態です。

確認

①テスト印刷

印刷したい項目を選択し、[印刷] ボタンをクリックします。

参 考

- オプションのネットワークインターフェイスカードが装着されていない場合は、[I/F カード情報] は表示されません。
- オプションのPS3 ROM モジュールが装着されていない場合は、[PS3 ステータスシート] と [PS3 フォントリスト] は表示されません。

表示	内容
ステータスシート	プリンタの設定状況を記載した、ステータスシートを印刷します。
ネットワーク情報	ネットワークインターフェイスの設定状況を記載した、ネットワークステータスシートを印刷します。
I/F カード情報	ネットワークインターフェイスカード（オプション）の設定状況を記載した、簡易版ネットワークステータスシートを印刷します。
PS3ステータスシート	Post Script に関するステータスシートを印刷します。
PS3 フォントリスト	Post Script で使用可能なフォント一覧を印刷します。

給紙情報、印刷動作、プリンタモード環境、インターフェイス情報

これらの項目については、以下のページをご覧ください。

☞ 175 ページ「プリンタの各種設定（[設定] - [プリンタ] メニュー）」

ネットワークインターフェイス設定の確認（[情報] - [ネットワーク] メニュー）

ネットワークインターフェイスの各種情報画面について説明します。

基本情報

ネットワークインターフェイスの情報と、プリンタの状態を確認できます。

参 考

- MAC アドレスは、ネットワークステータスシートでも確認できます。
  231 ページ「ネットワークステータスシート」
- プリンタステータスは自動的には更新されません。現在のステータスを知りたいときは、［ステータス更新］ボタンをクリックして最新の情報に更新してください。

①管理者名

ネットワークインターフェイスの管理者名が表示されます。

参 考

[管理者名] は [設定] - [オプション] メニューの [管理者情報] で設定できます。
208 ページ「管理者情報」

②設置場所

ネットワークインターフェイスの設置場所が表示されます。

参 考

[設置場所] は [設定] - [オプション] メニューの [管理者情報] で設定できます。
208 ページ「管理者情報」

③インターフェイスカード型番

ネットワークインターフェイスの型番が表示されます。

④ MAC アドレス

ネットワークインターフェイスの MAC アドレスが表示されます。

⑤ハードウェアバージョン

ネットワークインターフェイスのハードウェアバージョンが表示されます。

⑥ソフトウェアバージョン

ネットワークインターフェイスのソフトウェアバージョンが表示されます。

⑦モデル名

本機のモデル名が表示されます。

⑧ネットワークステータス

Ethernet の通信速度と通信モードが表示されます。

⑨プリンタステータス

プリンタの状態を知らせるメッセージと、以下の背景色が表示されます。

表示	内容
緑	印刷可能または印刷中です。
黄	紙残量少またはトナー / インク残量少です。
赤	紙詰まり、紙なし、トナー / インクなし、カバーオープン、オフライン、エラーのいずれかです。

⑩現在時刻

指定したタイムサーバによる取得時刻が表示されます。

参 考

［現在時刻］はタイムサーバをお使いの環境でのみ、正しく表示されます。

☞207 ページ「Time」

⑪［ステータス更新］ボタン

クリックすると、プリンタの最新情報が表示されます。

NetWare、TCP/IP、AppleTalk、MS Network、IPP、SNMP、Time

これらの項目については、以下のページをご覧ください。

☞ 198 ページ「ネットワークインターフェイスの各種設定（［設定］-［ネットワーク］メニュー）」

設定メニュー

［設定］メニューから、プリンタとネットワークインターフェイスの各種設定をできます。設定状況は［情報］メニューの各種項目にも表示されます。

参 考

- ［設定］メニューの各種項目は、本機の操作パネルからも設定できます。詳細については、ユーザーズガイド（PDF）をご覧ください。
- ［設定］-［ネットワーク］メニューの各種項目は、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 8/9 および Mac OS X）からも設定できます。ただし、EpsonNet Config（Mac OS 8/9 および Mac OS X）からは Net Ware の設定はできません。
42 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

プリンタの各種設定（［設定］-［プリンタ］メニュー）

プリンタの各種設定画面について説明します。

参 考

［情報］/［設定］メニューの、［プリンタ］の各種項目を表示するには、Java Plug-in がインストールされている必要があります。次の画面が表示されたときは URL をクリックし、ホームページから Plug-in をダウンロードしてください。

クリック

給紙情報

①トレイ優先

優先したい給紙装置を選択します。

参 考

［設定］-［プリンタ］メニューの［印刷動作］-［印刷書式］-［給紙］で［自動］が選択され、用紙トレイと用紙カセットに同じサイズの用紙がセットされている場合に有効です。

項目	内容
優先しない	用紙カセットからの給紙を優先します。
優先する	用紙トレイからの給紙を優先します。

②トレイ用紙サイズ

用紙トレイから給紙する用紙サイズを選択します。

③カセット 1/2/3/4 用紙サイズ

用紙カセットで設定した用紙サイズが表示されます。

参 考

- オプションの増設カセットユニットが装着されていない場合は、[カセット 2/3/4 用紙サイズ］に［Not Installed］と表示されます。
- EpsonNetConfig（Web）からは、用紙カセットの用紙サイズは設定できません。用紙サイズの変更は、用紙カセットの用紙ガイドを調整して行ってください。

④トレイ用紙タイプ

用紙トレイから給紙する用紙タイプを選択します。

⑤カセット 1/2/3/4 用紙タイプ

用紙カセットから給紙する用紙タイプを選択します。

参 考

オプションの増設カセットユニットが装着されていない場合は、[カセット 2/3/4 用紙タイプ］に［Not Installed］と表示され、用紙タイプは選択できません。

⑥［設定］ボタン

必要な項目を設定後、[設定］ボタンをクリックします。設定が保存されます。

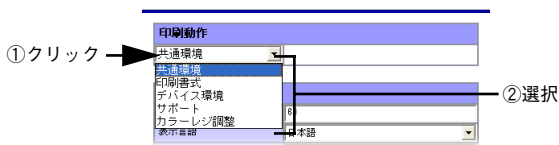
注 意

各種項目を設定後は、[設定］ボタンをクリックしてください。[設定］ボタンをクリックしないと、各種設定が本機に保存されません。

⑦［再読み込み］ボタン

[給紙情報］での設定状況を、最新の状態で表示します。

印刷動作

表示する項目を選択して､各動作環境の設定を行います｡

共通環境

① I/F タイムアウト

ネットワークインターフェイスのタイムアウト時間を、10 秒単位で、20 ～ 600（秒）の範囲で入力します。

②表示言語

本機の液晶ディスプレイの表示言語を選択します。

③パネルロック

本機の操作パネルによる設定変更を禁止する場合は、[する] を選択します。[する] を選択した場合、操作パネルからは各種設定ができません。

④フェイスアップトレイ

フェイスアップトレイ（オプション）の有無が表示されます。

⑤ LCD コントラスト

本機の液晶ディスプレイの表示濃度を、0 ～ 15 の範囲で入力します。数字が小さいほど薄く、大きいほど濃く表示されます。

⑥節電時間

本機が印刷動作していない状態から節電モードになるまでの時間を、1 ～ 180（分）の範囲で入力します。

参考

- 1 ～ 4 のいずれかを入力した場合は、入力値は操作パネル等に表示されますが、設定は 5 分として有効になります。
- [設定] - [プリンタ] メニューの [印刷動作] - [サポート] - [節電] で [しない] を選択している場合は [OFF] と表示されます。

⑦ [設定] ボタン

必要な項目を設定後、[設定] ボタンをクリックします。設定が保存されます。

注意

各種項目を設定後は、[設定] ボタンをクリックしてください。[設定] ボタンをクリックしないと、各種設定が本機に保存されません。

⑧ [再読み込み] ボタン

[共通環境] での設定状況を、最新の状態で表示します。

印刷書式

①給紙

普通紙または上質紙で印刷する場合の、給紙方法を選択します。

項目	内容
自動	用紙がセットされている給紙装置から給紙します。
トレイ	用紙トレイから給紙します。
カセット 1	用紙カセット 1 から給紙します。
カセット 2/3/4	用紙カセット 2/3/4（オプション）から給紙します。

参 考

- 普通紙、上質紙以外の用紙は、用紙トレイにセットしてください。
- オプションの増設カセットユニットが装着されている場合は、装着されている用紙カセットに応じて［カセット 2/3/4］を選択できます。
- ［設定］-［プリンタ］メニューの［給紙情報］-［トレイ優先］で［優先する］を選択している場合は、［カセット 1/2/3/4］を選択しても用紙トレイから給紙されます。

②用紙サイズ

給紙する用紙の用紙サイズを選択します。

③排紙

排紙先の用紙トレイを選択します。

参 考

オプションのフェイスアップトレイが装着されていない場合は、［フェイスアップトレイ］は表示されません。

項目	内容
フェイスダウントレイ	印刷面を下にして、フェイスダウントレイに排紙します。
フェイスアップトレイ	印刷面を上にして、フェイスアップトレイ（オプション）に排紙します。

④用紙方向
用紙の印刷方向を選択します。

項目	内容
縦	用紙の長辺を縦方向として印刷し、印刷結果が縦長（ポートレート）になります。
横	用紙の長辺を横方向として印刷し、印刷結果が横長（ランドスケープ）になります。

⑤コピー枚数
コピー印刷する枚数を、1～999（枚）の範囲で入力します。印刷するデータが何ページもある場合は、ここで設定した枚数を印刷した後に次ページの印刷に移ります。

⑥縮小
印刷データの縮小率を選択します。

項目	内容
OFF	印刷データを等倍で印刷します。
80%	印刷データを 80%に縮小して印刷します。

⑦解像度
印刷画質を選択します。

項目	内容
速い	300dpi で印刷します。印刷画質は落ちますが、速度を優先して印刷します。
きれい	600dpi で印刷します。速度は遅くなりますが、印刷画質を優先して印刷します。

⑧イメージ補正
イメージデータの補正方式を選択します。

項目	内容
1	標準の補正方式です。通常はこの設定で使用してください。
2	• ESC/P またはESC/PS モードの場合： 罫線が正しく印刷されないときに設定します。 • ESC/Page モードの場合： 本機に対応していないプリンタライバを使用している場合で、グラフィックの問題があるときに設定します。

参考 ESC/PS モードまた ESC/Page モードは、[設定] - [プリンタ] メニューの [プリンタモード環境] で設定できます。

⑨白紙節約
白紙節約機能を使用する場合は、[ON] を選択します。白紙節約機能を使用すると白紙ページを印刷しないため、用紙を節約できます。

⑩自動排紙

自動排紙機能を使用する場合は、[ON] を選択します。自動排紙機能を使用すると、ネットワークインターフェイスのタイムアウト時に、プリンタ内に残っているデータを自動的に印刷・排紙します。

参考	印刷データによっては最後に排紙コマンドを送らない場合があります。そのような場合に自動排紙機能を使用すると、プリンタ内に残ったデータを自動的に印刷・排紙します。

⑪両面印刷

両面印刷ユニット（オプション）を使用して両面印刷をする場合は、[ON] を選択します。

注意	用紙カセットの用紙ガイドは、用紙サイズの目盛りに正しく合わせてください。用紙サイズが正しく検知されないと、両面印刷できない場合があります。

参考	オプションの両面印刷ユニットが装着されていない場合は、[Not Installed] と表示され、項目を選択できません。

⑫綴じ方向

両面印刷の際に、用紙を綴じる位置を選択します。

参考	オプションの両面印刷ユニットが装着されていない場合は、[Not Installed] と表示され、項目を選択できません。

項目	内容
ロングエッジ	用紙の長辺端を綴じます。
ショートエッジ	用紙の短辺端を綴じます。

⑬［設定］ボタン

必要な項目を設定後、[設定] ボタンをクリックします。設定が保存されます。

注意	各種項目を設定後は、[設定] ボタンをクリックしてください。[設定] ボタンをクリックしないと、各種設定が本機に保存されません。

⑭［再読み込み］ボタン

[印刷書式] での設定状況を、最新の状態で表示します。

デバイス環境

① RIT

RIT（輪郭補正機能）を使用する場合は、[ON] を選択します。RIT 機能を使用すると、文字や写真画像の斜線補正や輪郭補正を行います。

参 考

- RIT 機能を有効にしてグラデーション（無段階に変化する階調）のある画像を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は RIT 機能を使用しないでください。
- カラー印刷の場合、データ上の色によっては RIT 機能が有効にならない場合があります。
- RIT（Resolution Improvement Technology）は、斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷する EPSON 独自の印刷機能です。

②トナーセーブ

トナー消費を節約する場合は、[する] を選択します。トナーセーブ機能を使用すると、カラー / モノクロのトナー使用量を節約します。

参 考

トナーセーブ機能を使用すると、色の濃度を低くして印刷するため、カラー、モノクロ印刷ともに薄い色や細かい線などは印刷されない場合があります。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

③上オフセット

印刷開始位置のオフセット値（垂直位置）を、0.5mm 単位で、-30mm（上方向）～30mm（下方向）の範囲で入力します。

④左オフセット

印刷開始位置のオフセット値（水平位置）を、0.5mm 単位で、-30mm（左方向）～30mm（右方向）の範囲で入力します。

⑤上オフセットB

用紙裏面の、印刷開始位置のオフセット値（垂直位置）を、0.5mm 単位で、-30mm（上方向）～ 30mm（下方向）の範囲で入力します。

> **参 考**
> オプションの両面印刷ユニットが装着されていない場合は、[Not Installed] と表示され、入力できません。

⑥左オフセットB

用紙裏面の、印刷開始位置のオフセット値（水平位置）を、0.5mm 単位で、-30mm（左方向）～ 30mm（右方向）の範囲で入力します。

> **参 考**
> オプションの両面印刷ユニットが装着されていない場合は、[Not Installed] と表示され、入力できません。

⑦用紙サイズフリー

用紙サイズフリー機能を使用する場合は、[ON] を選択します。用紙サイズフリー機能を使用すると、プリンタドライバで設定した用紙サイズと本機にセットしてある用紙サイズが合っているか確認します。用紙サイズが異なっている場合はエラーを表示します。

⑧自動エラー解除

自動エラー解除機能を使用する場合は、[する] を選択します。自動エラー機能を使用すると、エラーメッセージを約 5 秒間表示した後、エラーを自動的に解除して動作を継続します。自動エラー解除機能を使用しない場合は、手動でエラーを解除してください。

⑨ページエラー回避

ページエラー回避機能を使用する場合は、[ON] を選択します。通常は [OFF] に設定し、ページエラーが発生するときだけ [ON] に設定します。

> **参 考**
> - 複雑なデータ（文字数、図形などが非常に多いデータ）を印刷する場合、印刷動作に対し画像データの作成処理が追いつかないためにページエラーが発生することがあります。この場合は、送られてきた画像データに相当する本機のメモリやバッファを確保すると、ページエラーを回避することができます。
> - [ON] を選択すると、メモリ不足によるエラーを回避できる場合があります。[ON] を選択してもエラーが発生した場合は、本機のメモリを増設してください（[設定] メニューの [インターフェイス情報] で、使用しているインターフェイスの [受信バッファ] 設定を [最小] にすると、メモリを増設しなくてもエラーを回避できる場合があります。）

⑩紙種

給紙する用紙の種類を選択します。

参考

- ［厚紙］は、ハガキ、封筒、ラベル紙などの特殊紙や厚紙（紙厚：106 ～ 169g/ m^2）を給紙するときに選択します。
- ［厚紙小］は、官製ハガキなどサイズの小さい用紙を給紙するときに選択します。
- ［特厚紙］は、紙厚が 170 ～ 216g/ m^2 の厚紙を給紙するときに選択します。

⑪紙面

一度印刷した用紙の裏面に印刷する場合は、［裏］を選択します

参考

EPSON 製プリンタドライバにて印刷を行う場合は、設定を変更する必要はありません。

⑫［設定］ボタン

必要な項目を設定後、［設定］ボタンをクリックします。設定が保存されます。

注意

各種項目を設定後は、［設定］ボタンをクリックしてください。［設定］ボタンをクリックしないと、各種設定が本機に保存されません。

⑬［再読み込み］ボタン

［デバイス環境］での設定状況を、最新の状態で表示します。

サポート

①節電

印刷可能状態から消費電力の少ない節電モードに自動で移行させる場合は、[する] を選択します。

節電モードを使用する場合は、[設定] - [プリンタ] メニューの [印刷動作] - [共通環境] - [節電時間] で節電モードに移行するまでの時間を設定できます。

②[設定] ボタン

必要な項目を設定後、[設定] ボタンをクリックします。設定が保存されます。

各種項目を設定後は、[設定] ボタンをクリックしてください。[設定] ボタンをクリックしないと、各種設定が本機に保存されません。

③[再読み込み] ボタン

[サポート] での設定状況を、最新の状態で表示します。

カラーレジ調整

参 考	プリンタの輸送後や感光体ユニットの交換後など、印刷結果に色版のずれ（CMYK 各色の色ずれ）が発生する場合は、カラーレジ調整を行って色ずれを補正します。

① Cyan/Magenta/Yellow カラーレジ調整

カラーレジの値を、各色の［Left］［Center］［Right］にそれぞれ -750 ～ 750 の範囲で入力します。

参 考	入力する値については、②でカラーレジ調整シートを印刷して確認してください。

②カラーレジ調整シート

［印刷］ボタンをクリックすると、カラーレジ調整シートが印刷されます。カラーレジ調整シートの見方とカラーレジの調整方法については、ユーザーズガイド（PDF）をご覧ください。

③［設定］ボタン

必要な項目を設定後、［設定］ボタンをクリックします。設定が保存されます。

注 意	各種項目を設定後は［設定］ボタンをクリックして、②でカラーレジ調整シートを印刷してください。カラーレジ調整シートを印刷しないと、各種設定が本機に保存されません。

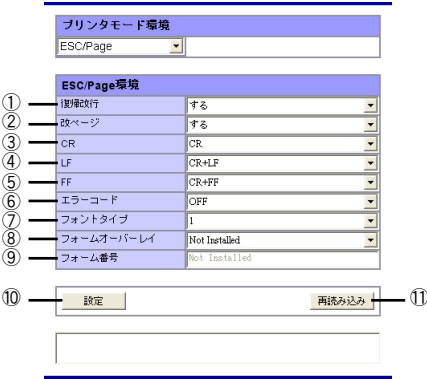
④［再読み込み］ボタン

［カラーレジ調整］での設定状況を、最新の状態で表示します。

プリンタモード環境

表示する項目を選択して､各プリンタモード環境の設定を行います。

参考　オプションの PS3ROM モジュールが装着されていない場合は、選択項目に［PS3］は表示されません。

ESC/Page 環境

①復帰改行

復帰改行をする場合は、［する］を選択します。復帰改行機能を使用すると、印刷データが右余白位置を超えたときに、自動で改行して次の行の先頭から印刷を続けます。

②改ページ

改ページをする場合は、［する］を選択します。改ページ機能を使用すると、改行により印刷データが下余白位置を超えたときに、自動で改ページして次のページから印刷を続けます。

③ CR

復帰（CR）の動作を選択します。

項目	内容
CR	復帰動作のみを行います。
CR+LF	復帰（CR）と同時に改行（LF）動作を行います。

④ LF

改行（LF）の動作を選択します。

項目	内容
CR+LF	復帰（CR）と同時に改行（LF）動作を行います。
LF	改行動作のみを行います。

⑤ FF

改ページ（FF）の動作を選択します。

項目	内容
CR+FF	復帰（CR）と同時に改ページ（FF）動作を行います。
FF	改ページ動作のみを行います。

⑥エラーコード

文字コード表にない文字データを受けたときの処理を選択します。

項目	内容
OFF	文字データを無視します。
ON	文字データをスペースに置き換えます。

⑦フォントタイプ

「幅」対「高さ」が 1 対 2 の文字サイズが指定されたとき、2 バイト系文字の全角フォントと半角フォントの優先度を選択します。

項目	内容
1	15 ポイント未満は半角フォントを優先し、15 ポイント以上は全角文字を優先して印刷します。
2	全角フォントを優先して印刷します。
3	半角フォントを優先して印刷します。

⑧フォームオーバーレイ

フォームオーバーレイ印刷をする場合は、[ON] を選択します。

参考　オプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールが本機に装着されていない場合は、[Not Installed] と表示されます。

⑨フォーム番号

フォームオーバーレイ ROM モジュール（オプション）に登録したフォームオーバーレイ番号を 1 ～ 512 の範囲で入力します。

参考　オプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールが本機に装着されていない場合は、[Not Installed] と表示されます。

⑩［設定］ボタン

必要な項目を設定後、［設定］ボタンをクリックします。設定が保存されます。

注 意	各種項目を設定後は、［設定］ボタンをクリックしてください。［設定］ボタンをクリックしないと、各種設定が本機に保存されません。

⑪［再読み込み］ボタン

［ESC/Page 環境］での設定状況を、最新の状態で表示します。

ESC/PS 環境

①連続紙

連続紙用の印刷データを、単票紙（カット紙）用に縮小印刷する動作を選択します。

> **参 考**
> ［連続紙］設定は、ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。

項目	内容
OFF	印刷データを縮小しません。
F15 →B4 ヨコ	381 × 279.4mm（15 × 11 インチ）の連続紙へのデータを、B4 横長の用紙に縮小して印刷します。
F15 →A4 ヨコ	381 × 279.4mm（15 × 11 インチ）の連続紙へのデータを、A4 横長の用紙に縮小して印刷します。
F10 →A4 タテ	254 × 279.4mm（10 × 11 インチ）の連続紙へのデータを、A4 縦長の用紙に縮小して印刷します。

②文字コード

英数カナ文字コードを切り替えます。

> **参 考**
> - コード表については、オプションのリファレンスマニュアルを参照してください。
> - ［文字コード］設定は、ESC/P 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。

項目	内容
カタカナ	カタカナコード表を選択します。
グラフィック	拡張グラフィックスコード表を選択します。

③給紙位置

用紙の印刷開始位置を選択します。

参考　［給紙位置］設定は、ESC/P 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。

項目	内容
8.5mm	8.5mm の位置から印刷を開始します。
22mm	22mm の位置から印刷を開始します。

④各国文字

英数カナ文字コード表の一部の記号を、どの国に対応させるかを選択します。日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデンから選択できます。

参考　ESC/PS モードで PC-PR201H 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。

⑤ゼロ

英数カナ文字コードの「0」の書体を選択します。

参考　ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。

項目	内容
0	「0」を選択します。
φ	「φ」を選択します。

⑥用紙位置

横方向の印字範囲（136 桁）の幅の中で、用紙をどの位置に合わせるかを選択します。

参考
- ESC/PS モードで PC-PR201H 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。
- アプリケーションソフトのプリンタ設定で PC-PR201H、シートフィーダを使用にしたときは、［中央］を選択してください。
- アプリケーションソフトの左右マージン設定によっては、左右の一部が印刷されない場合があります。このときは、アプリケーションソフトで左右マージンを大きく設定してください。

項目	内容
左	左位置に合わせます。
中央	中央位置に合わせます。［中央］を選択すると、オフセット量を選択できます。
中央 +5	中央合わせで、オフセット量を +5mm にします。
中央 -5	中央合わせで、オフセット量を -5mm にします。

⑦右マージン

右マージンを選択します。

参 考　ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。

項目	内容
用紙幅	使用する用紙の印刷保証領域いっぱいに印刷します。
136 桁	用紙サイズに関係なく 136 桁（13.6 インチ）で印刷します。136 桁に満たない用紙に印刷するときは、用紙の印刷保証領域を超える部分を切り捨てます。

⑧漢字書体

漢字に使用する書体を選択します。

参 考　ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。

⑨［設定］ボタン

必要な項目を設定後、［設定］ボタンをクリックします。設定が保存されます。

注 意　各種項目を設定後は、［設定］ボタンをクリックしてください。［設定］ボタンをクリックしないと、各種設定が本機に保存されません。

⑩［再読み込み］ボタン

［ESC/PS 環境］での設定状況を、最新の状態で表示します。

PS3 環境

参考	オプションの PS3ROM モジュールが装着されていない場合は、[PS3 環境] 画面は表示されません。

①エラーシート
PostScript のエラー発生時にエラー状態を記載したシートを印刷する場合は、[ON] を選択します。

② Coloration
PostScript でのカラー印刷モードを選択します。

項目	内容
Color	カラー印刷を行います。
Mono	モノクロ印刷を行います。
TrueColor	カラー印刷を行います。本機では [Color] と同じ印刷方法となります。

③ Image Protect
カラー印刷でメモリが不足する場合のデータ圧縮方式を選択します。

項目	内容
OFF	メモリの不足などにより可逆圧縮をできない場合は、非可逆圧縮を行います。
ON	可逆圧縮のみを行います。[ON] を選択すると印刷時間が長くなります。

④ [設定] ボタン
必要な項目を設定後、[設定] ボタンをクリックします。設定が保存されます。

注意	各種項目を設定後は、[設定] ボタンをクリックしてください。[設定] ボタンをクリックしないと、各種設定が本機に保存されません。

⑤ [再読み込み] ボタン
[PS3 環境] での設定状況を、最新の状態で表示します。

インターフェイス情報

パラレルインターフェイス

①パラレル I/F

パラレルインターフェイスにコンピュータまたはデバイスを接続する場合は、[使う]を選択します。

② ACK 幅

パラレルインターフェイスの ACK 信号のパルス幅を選択します。

項目	内容
短い	パルス幅を約 1μS に設定します。
標準	パルス幅を約 6μS に設定します。

③双方向指定

パラレルインターフェイスの双方向通信（IEEE1284 準拠）のモードを選択します。

項目	内容
ECP	双方向通信について、ECP モードに対応します。
OFF	双方向通信を行いません。
ニブル	双方向通信について、ニブルモードに対応します。

参考

- ［ニブル］と［ECP］は、どちらも双方向通信のモードです。
- ［ECP］で使用するには、コンピュータのパラレルインターフェイスやアプリケーションソフトがECPモードに対応している必要があります。
- コンピュータやアプリケーションソフトで特に指定がない場合は、［ニブル］を選択してください。

④受信バッファサイズ

受信バッファのサイズを選択します。

項目	内容
標準	メモリ容量を、印刷描画用データ受信用にバランス良く配分します。
最大	メモリ容量を、データ受信を重視して配分します。
最小	メモリ容量を、印刷描画を重視して配分します。

ネットワークインターフェイス

⑤ネットワークI/F

EpsonNet Config(Web）では、［使う］のみ選択できます。本機のネットワークインターフェイスを使用しない場合は、本機の操作パネルから設定してください。操作パネルによる設定方法については、ユーザーズガイド（PDF）をご覧ください。

⑥受信バッファサイズ

受信バッファのサイズを選択します。

項目	内容
標準	メモリ容量を、印刷描画用データ受信用にバランス良く配分します。
最大	メモリ容量を、データ受信を重視して配分します。
最小	メモリ容量を、印刷描画を重視して配分します。

USB インターフェイス

⑦ USB I/F

USB インターフェイスにデバイスを接続する場合は、[使う]を選択します。

⑧速度

USB インターフェイスの速度を選択します。

項目	内容
HS	すべての USB 接続機器に対応しています。通常はこの設定で使用します。
FS	[HS]で正しく動作しない場合は、この設定で使用します。

⑨受信バッファサイズ

受信バッファのサイズを選択します。

項目	内容
標準	メモリ容量を、印刷描画用データ受信用にバランス良く配分します。
最大	メモリ容量を、データ受信を重視して配分します。
最小	メモリ容量を、印刷描画を重視して配分します。

I/F カード設定

参考

オプションのネットワークインターフェイスカードが装着されていない場合は、[I/F カード設定] は表示されません。

⑩ I/F カード

ネットワークインターフェイスカードを使用する場合は、[使う] を選択します。

⑪受信バッファサイズ

受信バッファのサイズを選択します。

項目	内容
標準	メモリ容量を、印刷描画用データ受信用にバランス良く配分します。
最大	メモリ容量を、データ受信を重視して配分します。
最小	メモリ容量を、印刷描画を重視して配分します。

⑫ [設定] ボタン

必要な項目を設定後、[設定] ボタンをクリックします。

[設定] ボタンをクリックしただけでは、設定内容は本機に保存されません。[設定] ボタンをクリック後に、[設定] - [オプション] メニューの [リセット] で [リセット] ボタンをクリックするか、本機の電源を再投入してください。

⑬ [再読み込み] ボタン

[インターフェイス情報] での設定状況を、最新の状態で表示します。

ネットワークインターフェイスの各種設定（[設定] - [ネットワーク] メニュー）

ネットワークインターフェイスの各種設定画面について説明します。

NetWare

参考 [NetWare] ではすべての項目を入力できますが、お使いの NetWare の動作モードによって、設定の必要な項目が異なります。以下の説明をご覧になり、各動作モードで必要な項目のみ設定してください。

NetWare 基本設定

NetWare基本設定	
① NetWareを使用する	Enable
② フレームタイプ	Auto
③ 動作モード	Standby

① NetWare を使用する

NetWare を使う場合は［Enable］を選択します。
NetWare を使用しない場合や、ダイヤルアップ環境で NetWare を［Enable］にしておくと不都合がある場合に［Disable］を選択します。

②フレームタイプ

フレームタイプを選択します。

③動作モード

お使いのモードに合わせて選択します。
NetWare を使用しない場合は［Standby］を選択してください。

モード	項目
4.xJ/5.xJ/6.xJ NDSプリントサーバ	NDS Print Server
3.xJ/4.xJ バインダリプリントサーバ	Bindery Print Server
リモートプリンタモード	Remote Printer

［NSD Print Server］または［Bindery Print Server］を選択した場合は、次ページに進んでください。
［Remote Printer］を選択した場合は、以下のページに進んでください。
☞ 200 ページ「リモートプリンタ」

プリントサーバ /NDS/ バインダリ

［動作モード］で［NDS Print Server］または［Bindery Print Server］を選択した場合は、プリントサーバを設定します。

	プリントサーバ	
①	プリントサーバ名	LP-XXXX-XXXXXX
②	ポーリング間隔(5-90)	5 sec.
③	NetWareパスワード	

	NDS	
④	NDSツリー名	
⑤	NDSコンテキスト	

	バインダリ	
⑥	プライマリファイルサーバ名	

①プリントサーバ名

プリントサーバ名を、半角英数 47 文字以内で入力します。
初期値：プリンタ名 - ネットワークインターフェイスの MAC アドレスの下 6 桁

②ポーリング間隔（5 ～ 90）

通常は設定不要です。
ポーリング間隔を設定する場合は、5 ～ 90（秒）の範囲で入力します。
詳細は NetWare の取扱説明書をご覧ください。

③ NetWare パスワード

通常は設定不要です。
ネットワークインターフェイスがプリントサーバへログインするためのパスワードを設定する場合は、半角英数 20 文字以内で入力します。

④ NDS ツリー名

［NDS Print Server］を選択した場合のみ、ツリー名を半角英数 31 文字以内で入力します。リモートプリンタモードの場合は、入力不要です。

⑤ NDS コンテキスト

［NDS Print Server］を選択した場合のみ入力します。
NDS コンテキストを設定する場合は、半角英数 255 文字以内で入力します。2 バイト文字は使えません。
先頭に「.」は付けないでください。リモートプリンタモードの場合は、入力不要です。

⑥プライマリファイルサーバ名

［Bindery Print Server］を選択した場合のみ入力します。
プリントサーバがログインするファイルサーバ名を設定する場合は、半角英数 47 文字以内で入力します。

必要な項目を設定後、［送信］ボタンをクリックします。設定が保存されます。

リモートプリンタ

[動作モード] で [Remote Printer] を選択した場合は、リモートプリンタを設定します。

リモートプリンタ	
① プライマリプリントサーバ名	LP-XXXX-XXXXXX
② プリンタポート番号(0-254)	0

①プライマリプリントサーバ名

プリントサーバ名を、半角英数 47 文字以内で入力します。

②プリンタポート番号 (0 － 254)

リモートプリンタのプリンタ番号を入力します。

必要な項目を設定後、［送信］ボタンをクリックします。設定が保存されます。

TCP/IP

TCP/IP の設定画面については、以下のページをご覧ください。

☞ 156 ページ「EpsonNet Config（Web）でのネットワークインターフェイス設定」

AppleTalk

① AppleTalk を使用する
AppleTalk を使う場合は、［Enable］を選択します。

②プリンタ名
プリンタ名を半角英数 32 文字以内で、プリンタを特定しやすい名前を入力します。
初期値：プリンタ名 - ネットワークインターフェイスの MAC アドレスの下 6 桁

③ゾーン名
ゾーン名を入力します。［ネットワーク番号の取得方法］で［Auto］を選択した場合、＊を入力すると自動的に設定されます。

④エンティティタイプ
プリンタのエンティティタイプが表示されます。

⑤ネットワーク番号の取得方法
ネットワーク番号の取得方法を選択します。通常は［Auto］を選択します。

⑥手動設定時のネットワーク番号 (0-65534)
［ネットワーク番号の取得方法］で［Manual］を選択した場合は、0 から 65534 の範囲で入力します。

⑦［送信］ボタン
必要な項目を設定後、［送信］ボタンをクリックします。設定が保存されます。

各種項目を設定後は、［送信］ボタンをクリックしてください。［送信］ボタンをクリックしないと、各種設定が本機に保存されません。

MS Network

① Microsoft ネットワーク共有印刷を使用する

MS Network を使う場合は、[Enable] を選択します。
他のプロトコルを使用せず MS Network 環境でのみお使いの場合は、設定は不要です。

②プリントサーバ名

プリントサーバ名を半角英数 15 文字以内で入力します。ネットワーク上にある他のコンピュータと重複しないようにしてください。
初期値：EP + ネットワークインターフェイスの MAC アドレスの下 6 桁

③ワークグループ名

Windows ネットワークで使用中のワークグループ名またはドメイン名を、半角英数 15 文字以内で入力します。

④共有名

プリンタの共有名を半角英数 12 文字以内で入力します。LPT1、LPT2、LPT3、COM などは使用できません。

参考 ネットワーク（ワークグループ）上では、この名前がプリンタ名として表示されますので、クライアントがプリンタを特定しやすい名称にしておいてください。

⑤［送信］ボタン

必要な項目を設定後、［送信］ボタンをクリックします。設定が保存されます。

注意 各種項目を設定後は、［送信］ボタンをクリックしてください。［送信］ボタンをクリックしないと、各種設定が本機に保存されません。

IPP

① IPP URL	http://xxx.xxx.xxx.xxx:631/EPSON_IPP_Printer
② プリンタ名	EPSON_IPP_Printer
③ ロケーション	

送信 ④

① IPP URL

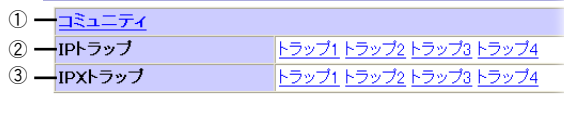
IPP 印刷時のポートとなる URL が表示されます。クライアントがポートを指定するときはこの文字列を入力しますので、この URL をクライアントに知らせてください。
書式）http:// ネットワークインターフェイスの IP アドレス：631/ 下記の項目で設定したプリンタ名

②プリンタ名

プリンタ名を入力します。入力したプリンタ名は、［IPP URL］に表示されます。プリンタを特定しやすい名前を、半角英数 127 文字以内で入力します。

③ロケーション

プリンタの設置場所を、半角英数 64 文字以内で入力します。

④［送信］ボタン

必要な項目を設定後、［送信］ボタンをクリックします。設定が保存されます。

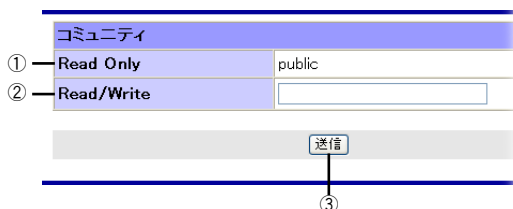
各種項目を設定後は、［送信］ボタンをクリックしてください。［送信］ボタンをクリックしないと、各種設定が本機に保存されません。

SNMP

SNMP コミュニティやトラップ情報を設定します。IP トラップと IPX トラップは、それぞれ 4 つまで設定できます。

①	コミュニティ	
②	IPトラップ	トラップ1 トラップ2 トラップ3 トラップ4
③	IPXトラップ	トラップ1 トラップ2 トラップ3 トラップ4

①コミュニティ

クリックすると、［コミュニティ］画面が表示されます。

② IP トラップ

［トラップ 1/2/3/4］をそれぞれクリックすると、各トラップ設定画面が表示されます。

③ IPX トラップ

［トラップ 1/2/3/4］をそれぞれクリックすると、各トラップ設定画面が表示されます。

コミュニティ

① Read Only

public と表示されます。

② Read/Write

MIB Read/Write 権を持つコミュニティ名を、半角英数 32 文字以内で入力します。

③［送信］ボタン

必要な項目を設定後、［送信］ボタンをクリックします。設定が保存されます。

各種項目を設定後は、［送信］ボタンをクリックしてください。［送信］ボタンをクリックしないと、各種設定が本機に保存されません。

IP トラップ

IP トラップは 4 つまで設定できます。ここでは、[トラップ 1]の画面を例に説明します。

①トラップ

IP トラップを有効にする場合は、[Enable] を選択します。初期値は [Disable] です。

②アドレス

トラップ送信先の IP アドレスを入力します。

③コミュニティ

コミュニティ名を、半角英数 32 文字以内で入力します。

④ポート番号

トラップを受け取るホストのポート番号を、0 ～ 65535 の範囲で、10 進数で入力します。

⑤ [送信] ボタン

必要な項目を設定後、[送信] ボタンをクリックします。設定が保存されます。

各種項目を設定後は、[送信] ボタンをクリックしてください。[送信] ボタンをクリックしないと、各種設定が本機に保存されません。

IPX トラップ

IPXトラップは4つまで設定できます。ここでは、[トラップ1]の画面を例に説明します。

①トラップ

IPX トラップを有効にする場合は、[Enable] を選択します。初期値は [Disable] です。

②アドレス

トラップ送信先の IPX アドレスを入力します。
書式）ネットワークアドレス：ノードアドレス（MAC アドレス）

③コミュニティ

コミュニティ名を、半角英数 32 文字以内で入力します。

④ソケット番号

トラップを受け取るホストのソケット番号を、0 ～ FFFF の範囲で、16 進数で入力します。

⑤［送信］ボタン

必要な項目を設定後、[送信] ボタンをクリックします。設定が保存されます。

各種項目を設定後は、[送信] ボタンをクリックしてください。[送信] ボタンをクリックしないと、各種設定が本機に保存されません。

Time

タイムサーバから取得する時刻情報を設定します。

①時刻

ネットワークインターフェイスが取得する現在時刻を表示します。［時刻取得］ボタンをクリックすると時刻を再表示します。この時、［タイムサーバ設定］が［Enable］である必要があります。

②タイムサーバ

タイムサーバによる時刻合わせを許可する場合は、［Enable］を選択します。

③タイムサーバ IP アドレス

タイムサーバの IP アドレスを入力します。

④同期間隔（1-10080）

タイムサーバへの時刻同期の間隔を、1 ～ 10080 の範囲で入力します。

⑤時差（GMT ＋ / － HH：MM）

世界標準時（GMT）からの差を設定します。

⑥タイムサーバステータス

タイムサーバとの接続状態を表示します。

表示	内容
成功	タイムサーバとの時刻同期が正しく行われています。
同期	プリンタまたはプリンタに接続された機器に時刻同期しています。
失敗	タイムサーバーとの時刻同期が失敗しています。
無効	時刻同期が行われていません。（［タイムサーバ］：［Disable］）

⑦［更新］ボタン

必要な項目を設定後、［更新］ボタンをクリックします。設定が保存されます。

注 意 各種項目を設定後は、［更新］ボタンをクリックしてください。［更新］ボタンをクリックしないと、各種設定が本機に保存されません。

オプションの各種設定（［設定］-［オプション］メニュー）

オプションの各種設定画面について説明します。

管理者情報

ネットワークインターフェイスの管理者名を設定します。また、よく使う任意の URL を設定すると、インデックスの［Favorite］からリンクすることができます。

参 考	［Favorite］の名前を変更している場合は、インデックスに設定した名前で表示されます。

① 管理者名
② 設置場所
お気に入り
③ お気に入り名　Favorite
④ お気に入りURL
⑤ 説明
送信
⑥

①管理者名

ネットワークインターフェイスの管理者名を、半角英数 255 文字以内または全角 127 文字以内で入力します。

②設置場所

ネットワークインターフェイスの設置場所を、半角英数 255 文字または全角 127 文字以内で入力します。

③お気に入り名

リンク名を半角英数 20 文字以内または全角 10 文字以内で入力します。

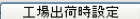
④お気に入り URL

リンクしたいURLを半角英数64文字以内で入力します。ftp:へのリンクはできません。

⑤説明

リンク先の説明を半角英数 64 文字または全角 32 文字以内で入力します。入力した内容は本画面でのみ表示します。

⑥［送信］ボタン

必要な項目を設定後、［送信］ボタンをクリックします。設定が保存されます。

注 意	各種項目を設定後は、［送信］ボタンをクリックしてください。［送信］ボタンをクリックしないと、各種設定が本機に保存されません。

リセット

各種インターフェイスのリセットおよび工場出荷時設定をします。
終了のメッセージが表示されたら、更新は完了です。

注意！

インターフェイスカードをリセットしようとしています
続けてもよろしいですか？

①［リセット］ボタン

各種インターフェイスの設定を有効にします。

> **参考**　各設定の終了画面で［今すぐリセット］をクリックした場合やプリンタの電源を再投入した場合は、ここでのリセットは不要です。

②［工場出荷時設定］ボタン

プリンタとネットワークインターフェイスのすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

パスワード

パスワードは、ネットワークインターフェイスの設定を保護するためのものです。設定画面を開くときや、設定を保存するときに使います。
パスワードは、半角英数 20 文字以内で入力します（大文字・小文字が区別されます）。

参考
- 工場出荷時状態では、パスワードは何も登録されていません。
- パスワードは、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 8/9 および Mas OS X）と EpsonNet Config (Web) で共通に使用するものです。それぞれのユーティリティを使う場合は、パスワードの管理に注意してください。
- パスワードを忘れてしまった場合は、ネットワークインターフェイスを工場出荷時の設定に戻す必要があります。
236 ページ「ネットワークインターフェイスの工場出荷時への戻し方」

①旧パスワード

現在使用しているパスワードを入力します。

参考
パスワードを設定していない場合は、入力する必要はありません。

②新パスワード

新しいパスワードを入力します。

③パスワードの再入力

新しいパスワードを再入力します。

④［送信］ボタン

必要な項目を設定後、［送信］ボタンをクリックします。設定が保存されます。

注意
各種項目を設定後は、［送信］ボタンをクリックしてください。［送信］ボタンをクリックしないと、各種設定が本機に保存されません。

困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法について説明します。

全 OS 共通

ネットワークインターフェイスの設定ができない / ネットワーク印刷ができない

処置 1)
まず、ネットワークステータスシートが印刷できるかどうか確認してください。
ネットワークステータスシートの印刷ができない場合は、本機の操作パネルの［ネットワーク I/F セッテイメニュー］-［ネットワーク I/F］設定が、［ツカウ］になっているか確認してください。
ネットワークステータスシートの印刷が可能な場合は、ネットワークステータスシートに印刷されたネットワークの設定に誤りがないか確認してください。
☞ 231 ページ「ネットワークステータスシート」

処置 2)
HUB 、ケーブルなどが正常か確認してください。まず HUB を見て、デバイスが接続されているポートのリンクランプが点灯 / 点滅しているか確認してください。
リンクランプが消灯している場合は、次のことを確認してください。
- 他のポートに接続して、リンクランプが点灯 / 点滅するかどうか
- 使用しているケーブルが断線していないかどうか

処置 3)
TCP/IP で使用している場合は、IP アドレスがお使いの環境で有効な値に設定されているか確認してください。
工場出荷時の値は ［192.168.192.168］ですが、製品の仕様上、工場出荷時の状態のままでは使用できません。この IP アドレス（192.168.192.168）を使用する場合は、工場出荷時の値を一旦消してから同じ IP アドレスを再入力することで使用可能となります。ネットワークインターフェイスの IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。

設定する IP アドレスがわからない

処置）
外部との接続（インターネットへの接続、電子メールなど）を行う場合は、JPNIC (http://www.nic.ad.jp/) に申請を行って IP アドレスを正式に取得していただく必要がありますので、ネットワーク管理者へご相談ください。
IP アドレスを使用するにあたって、外部との接続を将来的にも一切行わないという条件のもとに、下記の範囲のプライベートアドレスをご使用になることも可能です (RFC1918 で規定されています)。
プライベートアドレス：
10.0.0.1 ～ 10.255.255.254
172.16.0.1 ～ 172.31.255.254
192.168.0.1 ～ 192.168.255.254

設定した IP アドレスが変わってしまう

処置 1）

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 8/9 および Mac OS X）の TCP/IP の設定で、［IP アドレスの設定方法］を［自動］に設定していないかを確認して固定アドレスを設定してください。［自動］を選択すると、プリンタの電源を入れるたびに、IP アドレスが変わってしまいます。

☞ 51 ページ「ネットワークインターフェイス設定」

処置 2）

［自動］に設定する場合は、プリンタの電源を入れる順番を決めていただくか、電源を常時オンにしておいてください。

処置 3）

TCP/IP の設定で、［PING による設定］のチェックが外れていることを確認してください。チェックされていると、外部から ARP/PING コマンドで IP アドレスが変更されてしまう可能性があります。

印刷時間に時間がかかる / データの末尾が欠けた状態になる

処置）

接続されている HUB の通信モードに合わせネットワークインターフェイスの通信モードを固定させてください。

ネットワークインターフェイスの通信モードが初期値設定（自動認識）の場合、接続されている HUB の通信モード（全二重 / 半二重）が固定されていると、ネットワークインターフェイスと HUB の通信モードに不整合が起きます。その結果、プリンタの排紙ランプが点滅したままの状態になり、印刷速度が異常に遅くなったり、またはタイムアウトにより末尾のデータが欠けた状態で出力されたりする場合があります。

ユーザーズガイド（PDF）をご覧になり、接続されている HUB の通信モードに合わせネットワークインターフェイスの通信モードを固定させてください。

EpsonNet Config（Windows）が起動できない

処置）

EpsonNet Config（Windows）のインストール後に、OS 上でプロトコルやサービスの追加、削除を行うと、EpsonNet Config（Windows）が起動しなくなります。EpsonNet Config（Windows）を削除し、再インストールしてください。

☞ 237 ページ「ユーティリティの削除方法」
☞ 45 ページ「EpsonNet Config（Windows）」

EpsonNet Config（Windows）の起動時に「ネットワークがインストールされていないため、EpsonNet Config（Windows）を使用することはできません」と表示される

このメッセージは、次のような場合に表示されます。

- コンピュータに TCP/IP 、IPX/SPX のどちらのプロトコルも組み込まれていない場合
- コンピュータに TCP/IP プロトコルのみが組み込まれていて、コンピュータの IP アドレスが正しく設定されていない場合
- コンピュータに TCP/IP プロトコルのみが組み込まれていて、DHCP サーバから各種アドレスを取得する設定下で、DHCP サーバが応答しない場合

処置）

［OK］ボタンをクリックするとEpsonNet Config（Windows）が起動する場合がありますが、TCP/IP の設定はできません。お使いのコンピュータのネットワーク設定を行ってください。

☞ 23 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

EpsonNet Config（Web）が起動できない

処置）

EpsonNet Config（Web）を実行するには、まず、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 8/9 および Mac OS X）、ARP/PING コマンドまたは本機の操作パネルからネットワークインターフェイスの IP アドレスを設定する必要があります。現在の設定は、ネットワークステータスシートの［IP Address］欄で確認できます。

☞ 43 ページ「設定方法の概要」
☞ 231 ページ「ネットワークステータスシート」

ARP/PING コマンドでネットワークインターフェイスの IP アドレスを設定できない

処置）

ping コマンドを実行後、「Reply from （IP address): ...」のメッセージが確認できず、「Request Time Out」や「Reply from .....: Destination host unreachable」などのメッセージが表示される場合は、接続しているネットワークケーブル、ネットワーク機器などのネットワーク環境を確認してください。なお、ARP/PING コマンドによる設定は、同一ネットワーク上でのみ行うことができます。

EpsonNet Config（Windows）の［モデル名］に何も表示されず、［IP アドレス］に［NONE］と表示される

処置 1）

ネットワークインターフェイスの IP アドレスが初期値の場合、［モデル名］と［IP アドレス］が表示されない場合がありますが、ネットワークインターフェイスの設定は行えます。この場合、ネットワークインターフェイスは MAC アドレスで判別します。MAC アドレスは、ネットワークステータスシートの［MAC Address］欄で確認できます。

231 ページ「ネットワークステータスシート」

ネットワークインターフェイスの設定を行うと、正しく表示されるようになります。

処置 2）

EpsonNet Config（Windows）の［表示］メニューの［最新の情報に更新］を実行してください。

処置 3）

EpsonNet Config（Windows）の［ツール］メニューの［オプション］-［タイムアウト］で、［通信エラーとする時間］を大きい値に設定してください。この場合、EpsonNet Config（Windows）の動作が遅くなる（探索に時間がかかります）ため注意してください。

Windows 95/98/Me

EpsonNet Printを使って印刷した時に、ダイヤルアップ接続ダイアログが表示される

処置〉
ダイヤルアップでインターネットに接続するよう設定されている場合に、このメッセージが表示されることがあります。キャンセルするとその後は正常に印刷されますが、Windows 起動後の最初の印刷時に、毎回メッセージが表示されます。
このメッセージが表示されないようにするには、LAN 接続でインターネットに接続するよう設定するか、手動でダイヤルアップネットワークを起動してください。

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003

EpsonNet Printを使って印刷した時に、ダイヤルアップ接続ダイアログが表示される

処置）
ダイヤルアップでインターネットに接続するよう設定されている場合に、このメッセージが表示されることがあります。キャンセルするとその後は正常に印刷されますが、Windows 起動後の最初の印刷時に、毎回メッセージが表示されます。
このメッセージが表示されないようにするには、LAN 接続でインターネットに接続するよう設定するか、手動でダイヤルアップネットワークを起動してください。

Windows NT Server4.0 経由で、管理者以外のクライアントから印刷できない

処置）
プリントサーバ上でプリンタのアクセス権リストから、[Creater Owner] が削除されている場合、もしくは [Creater Owner] の権利が [印刷] か [アクセス権なし] に設定されている場合にこの現象が発生します。正しく印刷するには、[Creater Owner] の権利を [文書 / ドキュメントの管理] に設定する必要があります。初期設定は [文書 / ドキュメントの管理] です。

Macintosh

セレクタにプリンタが表示されない（Mac OS 8.6-9.x）

処置）
次のことを確認してください。

- Open Transport 搭載機種の場合
  コントロールパネルの［AppleTalk］で［Ethernet］が選択されているか
- Open Transport 非搭載機種の場合
  コントロールパネルの［ネットワーク］で［EtherTalk］が選択されているか

セレクタで AppleTalk が［使用］になっているか、HUB、ケーブルなどのネットワーク機器もあわせて確認してください。

［プリントセンター］または［プリンタ設定ユーティリティ］の［追加］画面でプロトコルを選択しても、プリンタが表示されない（Mac OS X）

処置 1）
プリンタドライバがインストールされているかを確認してください。

処置 2）
次のことを確認してください。

- EPSON AppleTalk の場合
  ［システム環境設定］の［ネットワーク］画面で［表示：］ドロップダウンリストから［内蔵 Ethernet］を選択し、［AppleTalk］タブで、［AppleTalk 使用］にチェックが付いているか
- EPSON TCP/IP の場合
  ・［システム環境設定］の［ネットワーク］-［TCP/IP］タブで、各種アドレスが設定されているか
  ・ネットワークインターフェイスに初期値以外の正しい IP アドレスが設定されているか
- Rendezvous の場合
  EpsonNet Config（Web）の［設定］-［ネットワーク］の［TCP/IP］タブで、［Rendezvous 機能を有効にする］が［Enable］に設定されているか

NetWare

NetWare サーバ経由の印刷で、クライアントでは印刷が終了するが、プリンタから出力されない

処置）
サーバでキュー/ プリントサーバのユーザーの中に、印刷を行おうとしているユーザーが登録されているか確認してください。また、NetWare サーバに本機のネットワークインターフェイスがログインしているかどうか確認してください。

EpsonNet Config（Windows）または EpsonNet Config（Web）が正しく起動しない

処置）
Microsoft の Service for NetWare Directory Service がインストールされているマシンでは、EpsonNet Config（Windows）またはEpsonNet Config（Web）が正常に起動しない場合があります。
NDS サービスをご利用の場合は Novell クライアントサービスをインストールしてください。

EpsonNet Config（Windows）のリスト画面で、IPX グループにプリンタが表示されない

処置）
次の項目を確認してください。
- プリンタの電源がオンになっているか
- ネットワークインターフェイスが、EpsonNet Config（Windows）を使用しているコンピュータと同一セグメントにあるか（同一セグメントにない場合は、［ツール］メニューの［オプション］-［方法］で設定してください。）
- EpsonNet Config（Windows）を起動するコンピュータから、管理者権限でログインしているか

EpsonNet Config（Windows）の起動に時間がかかる

処置）
コンピュータに Novell クライアントサービスなどをインストールしている場合や、Microsoft 社製 NetWare クライアントをインストールしている場合、ダイヤルアップネットワークに IPX を使用するため、EpsonNet Config（Windows）の動作が遅くなる場合があります。これらが必要でない場合は、使用しない設定にしてください。

• Windows 2000/XP/Server 2003 の場合
①［コントロールパネル］画面で、［ネットワーク接続］をダブルクリックします。
Windows 2000 の場合は、［コントロールパネル］画面で［ネットワークとダイヤルアップ接続］をダブルクリックします。

② IPX/SPX 互換プロトコルを使用しない接続を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
③ [NWLink IPX/SPXNetBIOS 互換トランスポートプロトコル] または [NetWare 用クライアントサービス] のチェックを外します。

• Windows 95/98/Me の場合

① [コントロールパネル] 画面で、[ネットワーク] をダブルクリックします。
②IPX/SPX 互換プロトコルを使用しないネットワークアダプタをダブルクリックします。
③ [バインド] タブをクリックし、IPX/SPX 互換プロトコルや Novell NetWare クライアント用のプロトコルのチェックを外します。

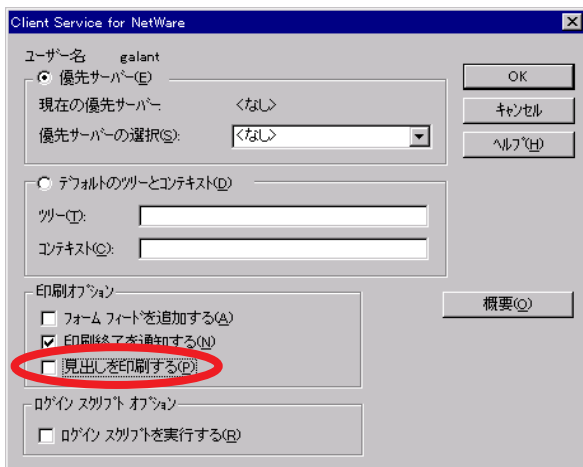
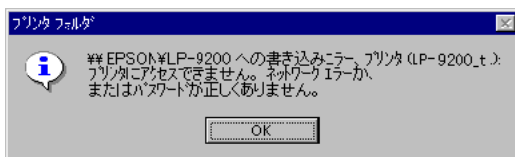
• Windows NT4.0 の場合

① [コントロールパネル] 画面で、[ネットワーク] をダブルクリックします。
② [バインド] タブをクリックし、[バインドの表示] で [すべてのアダプタ] を選択します。
③使用しないネットワークアダプタの IPX/SPX 互換プロトコルや Novell NetWare クライアント用のプロトコルを選択し、[無効] ボタンをクリックします。

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 から NetWare4.xJ 経由で印刷すると、NetWare のバナー（見出し）が印刷されてしまう

処置)

CSNW（Client Service for NetWare）や GSNW（Gateway Service for NetWare）の [印刷オプション] の設定で [見出しを印刷する] のチェックボックスにチェックされているためです。このチェックを外すと、バナーは出力されなくなります。

上記 OS の [コントロールパネル] で [CSNW] または [GSNW] を起動し、[印刷オプション] で [見出しを印刷する] チェックボックスのチェックを外してください。

Windows 95/98 からNetWare経由で印刷を実行すると、次のようなエラーが表示されて印刷できない

サーバーコンソール画面では［out of disk space］のメッセージが表示される

処置）
2 つの原因が考えられます。下記をご覧ください。

- NetWare サーバの SYS ボリュームがいっぱいに近い状態です。
  この場合は NetWare サーバの SYS ボリュームの空きを増やしてください。
- キューディレクトリへの書込み権限がありません。
  この場合は NetWare サーバの SYS ボリュームで、キューディレクトリへの書込み権限を与えてください。

その他の便利な機能の紹介

ここでは、次の内容を紹介します。

プリンタドライバの自動インストール

プリンタドライバの自動インストール機能は、ネットワーク接続されたプリンタのエプソン製 Windows 用プリンタドライバだけが利用できる機能です。
任意のコンピュータにクライアント用のプリンタドライバを格納しておき、それをクライアントがコピーすることで、プリンタドライバのインストール作業を簡略化することができます。プリンタドライバの自動インストールには次の方法があります。
下記のユーティリティの詳細や入手方法については、以下のページをご覧ください。
14 ページ「ネットワークツール / ソフトウェアの入手方法」

EpsonNet InstallManager のプリンタドライバ自動インストール機能

ネットワークプリンタのクライアント側のセットアップを、自動で行えるソフトウェアです。各クライアントが、管理者により作成・配付されたスクリプトファイルを実行するだけでプリンタのセットアップが完了します。ネットワークプリンタを、多数のクライアントで共有する際に便利です。

EpsonNet WebManager のプリンタドライバ自動インストール機能

1. 管理ユーティリティ EpsonNet WebManager をインストールしたコンピュータに、Windows 用のプリンタドライバを格納します。
2. クライアントPCの Webブラウザから管理者に指定されたURL にアクセスすると、コンピュータに格納されているプリンタドライバが自動的にインストールされます。

ネットワークプリンタの状態確認

ここでは、ネットワークプリンタの状態を確認できるユーティリティを紹介します。
これらのユーティリティを活用すると、離れた場所にあるプリンタを自分のコンピュータから設定したり、トラブルを確認することができます。
下記のユーティリティの詳細や入手方法については、以下のページをご覧ください。
☞ 14 ページ「ネットワークツール / ソフトウェアの入手方法」

クライアント用ユーティリティ

EPSON プリンタウィンドウ !3

本製品に付属しているユーティリティで、対象 OS はプリンタドライバと同様です。
ネットワークプリンタの用紙やトナー・感光体と、エラー内容などを確認することができます。
EPSON プリンタウィンドウ !3 の詳細については、ユーザーズガイド（PDF）をご覧ください。

参 考 MS Network または IPP 印刷をする場合、EPSON プリンタウィンドウ !3 は使用できませんのでご注意ください。

管理者用ユーティリティ

EpsonNet WebManager

EpsonNet WebManager は、Web ブラウザベースのネットワークプリンタ管理ユーティリティです。ネットワークプリンタの状態を確認できるほか、ネットワークに関する各種設定を行うことができます。
プリンタの管理には業界標準の SNMP/MIB を使用していますので、MIB に対応している他社製プリンタの管理も可能です（プリンタメーカによってプリンタ MIB の実装に一部違いがあり、同じ情報でも EpsonNet WebManager で取得できない場合があります）。

ネットワーク管理ツールのご案内

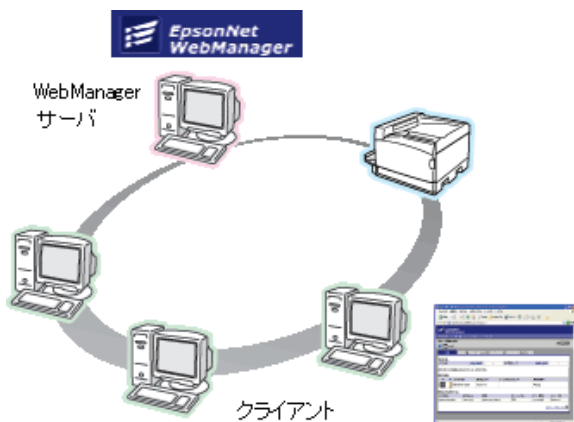
EPSON では、オフィスの中でさらに効果的・効率的に EPSON プリンタをお使いいただくためのネットワーク管理ツールをご提供しております。
印刷だけでなく、トータルなプリンタ管理を含めてご提案しております。ぜひご活用ください。
ユーティリティの詳細や入手方法については、以下のページをご覧ください。
☞ 14 ページ「ネットワークツール / ソフトウェアの入手方法」

ネットワークプリンタ管理

EpsonNet WebManager

EpsonNet WebManager とは

EpsonNet WebManager は Web ブラウザベースのネットワークプリンタ管理ユーティリティです。以下のようなネットワーク管理者の要望を解決します。

- オフィスのプリンタの状態を常に把握しておきたい
- 管理するプリンタのエラー状況を一目で把握したい
- エラーが起きたプリンタがどこにあるかをすぐ知りたい
- ユーザーが使用するプリンタドライバのバージョンを一元管理したい

EpsonNet WebManager を使うと

ネットワーク上のプリンタを探し出して、集中管理できます。オフィスごとや課単位のグループを作ることで、多くのプリンタでも効率的に管理できます。EpsonNet WebManager が提供する機能を使うと、次のようなこと（管理）ができます。

- プリンタの一覧や配置を把握できます
  ネットワーク上にプリンタが多数存在する場合、それらのプリンタすべてを把握するのは困難です。EpsonNet WebManager を使えば、登録されているプリンタの一覧表を表示させることができるので、管理者は手元のブラウザでネットワーク上のプリンタを一括管理できます。また、プリンタに資産管理番号を付与して一覧表示することもできますので、資産管理に関する管理者の負担を軽減できます。

  さらに、オフィスのレイアウト図にプリンタアイコンを配置して表示する機能によって、プリンタの 2 次元的な配置位置を表示させることができます。プリンタの場所と状態を同時に管理できますので、障害発生時の早期解決を支援します。

- プリンタで発生している問題（障害発生状況）を把握できます
  毎日 9 時、毎週月曜日など、指定した時間間隔で、管理しているプリンタで発生している障害の一覧情報を E-mail で受け取る（知る）ことができます。また、障害の発生履歴を記録することもできます。届いた E-mail や記録された履歴を元に、プリンタでの障害の発生頻度や、どのプリンタで障害が多発しているか（障害発生分布）など、障害発生の傾向も知ることができます。障害発生の傾向を知ることで、深刻な事態を招く前に必要な対策を講じることができ、プリンタをより安定して利用することができます。
  プリンタで発生している障害の内容は、プリンタの設置場所に行かなくても、手元のブラウザで知ることができます。別の階や別の棟にあるプリンタであっても、目の前のブラウザで障害の内容を把握できるので、わざわざ出向くことなく、困っているユーザーに電話で適切な対処方法を指示することもできます。

- プリンタの稼動状況と消耗品の残量を知ることができます
  プリンタの稼動状況や消耗品の残量推移の履歴（ログ）を記録できますので、これらの履歴情報から各プリンタの利用頻度を把握することができます。利用頻度に関する情報を活用すれば、消耗品の手配やプリンタの配置を最適化することができます。EpsonNet WebManager を使うことでプリンタをより有効に活用できるようになります。

- プリンタドライバを収集・配布できます
  インターネットから最新のプリンタドライバを自動的に収集できます。また、収集したドライバは、実際に印刷を実行するクライアント（印刷を行うユーザー）のコンピュータへ、Web ブラウザ経由で配信することもできます。
  EpsonNet WebManager はインターネットと連携することができるので、ワンクリックでエプソンのホームページから最新のプリンタドライバをダウンロードし、配布可能な形態で格納できます。クライアントは、通知された URL に Web ブラウザでアクセスし、プリンタを指定することでプリンタドライバをインストール、印刷できるようになります。

主な機能の紹介

プリンタ管理

EpsonNet WebManager はインターネット標準の SNMP プロトコルを使用して、ネットワークプリンタを管理する為に必要な情報を取得 / 設定します。

検索・一覧	・ネットワーク上のプリンタを探索し一覧表示が可能 ・ネットワーク指定によりルータを越えた先のプリンタも探索可能 ・特定のデバイス / 特定のネットワーク / 特定のアドレスに基づいた検索が可能 ・プリンタを一覧表示する際の列項目はカスタマイズ可能
グループ管理	・管理プリンタを論理グループに分けて管理が可能 ・レイアウト図を作成することで、プリンタの位置と状態を同時に確認可能（レイアウト表示）
デバイス管理	EpsonNet WebManager では管理するプリンタをデバイスと呼びます。 ・「デバイス詳細画面」により、プリンタのより詳細な状態・情報を確認可能 ・プリンタ本体に表示されているメッセージもリモートで確認可能 *1 ・ネットワーク設定・本体設定がリモートで可能 ・障害発生 / 消耗品 / 稼動状況のログ取得が可能（ログ収集）*2 ・印刷ジョブに関する情報の表示と印刷の中止が可能 *3 ・E-Mail によるグループ単位での定期的な状態の通知が可能（障害通知）*4

*1 対応する情報が取得可能なプリンタのみ表示可能です。

*2 EpsonNet WebManager で取得したログは指定された時間間隔でファイルに出力されます。また、出力したファイルを E-mail に添付して発信することもできます。

*3 印刷ジョブ情報に対応した EPSON プリンタのみ可能です。

*4 EpsonNet WebManager 上で設定した間隔で障害が発生していれば E-Mail で通知します。

ドライバ管理
EpsonNet WebManager を使用すると、以下のプリンタドライバを管理できます。

- EpsonNet　WebManager で管理できる EPSON 製プリンタのプリンタドライバ（PostScript ドライバは不可）
  エプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/）で最新情報をご確認ください。
- EPSON 製 Windows 用プリンタドライバ

ドライバ配信	「ドライバ格納ツール」により FD/CD-ROM 等のメディアからプリンタドライバを配布可能な形態で格納 クライアントは通知された URL に Web ブラウザでアクセスし、プリンタを指定することでプリンタドライバのインストールが可能
インターネット連携	インターネットと連携し、エプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/）から最新のプリンタドライバをダウンロードし、配布可能な形態で格納可能 （実際にプリンタドライバを収集する際には上記 URL に自動でアクセスします。）

参考

Adobe Acrobat をお使いの方は、上記ホームページをご覧になる前に、Adobe Acrobat の［ファイル］/［編集］メニュー -［環境設定］-［Web Capture］の順にクリックし、［Web リンクを開く］を［Web ブラウザ内］/［Web ブラウザで開く］に設定してください。

EpsonNet NDPS Gateway

EpsonNet NDPS Gateway は、NDPS（Novell Distributed Print Services）環境でEPSONプリンタからの印刷や、EPSONプリンタの状態監視を可能にするゲートウェイソフトウェアです。NDPS 技術を使って設計されていないプリンタでも、プリンタの設定や状態の確認ができます。EpsonNet NDPS Gateway ソフトウェアを使うと、NDPSユーザーはNDPSのほとんどすべての機能を利用することができます。

EpsonNet NDPS Gateway の特長は次の通りです。

次の接続タイプをサポートします。

キューベースプリンタ、IPX 環境での RP モード、TCP/IP 環境での LPR モードの 3 つのリモートプリンタをサポートしています。

自動的にプリンタエージェントを作成できます。

自動作成されたプリンタエージェントが自動的に検索され、ネットワーク上でパブリックアクセスプリンタとしてすぐに使えます。

双方向フィード・バック機能をサポートします。

クライアントとプリンタ間の双方向通信をサポートします。ジョブやプリンタの状態、トナー・感光体および紙の残量といった情報を、プリンタからリアルタイムで取得できます。

ピュアIPベースの印刷と、IPXベースの印刷をサポートします。

EpsonNet NDPS Gateway は、エプソンのホームページからダウンロードしていただけます。アドレスは下記の通りです。

http://www.i-love-epson.co.jp/

参 考

Adobe Acrobat をお使いの方は、上記ホームページをご覧になる前に、Adobe Acrobat の［ファイル］/［編集］メニュー -［環境設定］-［Web Capture］の順にクリックし、［Web リンクを開く］を［Web ブラウザ内］/［Web ブラウザで開く］に設定してください。

付録

ネットワークステータスシート

ネットワークステータスシートを印刷すると、ネットワークインターフェイスの設定の状況を確認することができます。ネットワークステータスシートにはMACアドレスや、設定したIPアドレスなどの情報が記載されています。
ネットワークステータスシートの詳しい内容については、以下のページご覧ください。
233 ページ「ネットワークステータスシートの印刷例（初期値）」

ネットワークステータスシートの印刷

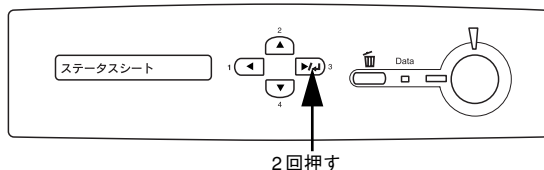
ネットワークステータスシートは、本機の操作パネルを使用して印刷します。

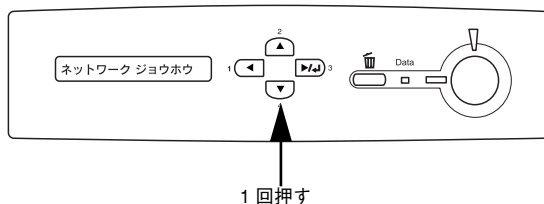
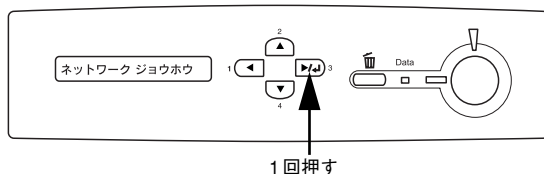
注意
プリンタの電源をオンにすると、しばらくの間ネットワークインターフェイスは初期化動作を行います（初期化動作中は2つのランプが緑点滅/オレンジ点灯になります)。初期化動作中にネットワークステータスシートの印刷を実行すると、ネットワークインターフェイスの状態が正しく印刷されない場合があります（IPアドレスの欄に（NONE）と印刷される等）。このような場合は、しばらく待ってから再度印刷を実行してください。

参考
本機の操作パネルの［ネットワーク I/F セッテイメニュー］-［ネットワーク I/F］設定が、［ツカウ］になっているか確認してください。

1. **プリンタに用紙をセットし、電源をオンにします。**

2. **液晶ディスプレイに、［インサツカノウ］または［セツデン］と表示されていることを確認します。**

3. **［▶/↵(3)］スイッチを2回押します。**
液晶ディスプレイに［ステータスシート］と表示されます。

4 ［▼(4)］スイッチを 1 回押します。

液晶ディスプレイに［ネットワーク ジョウホウ］と表示されます。

5 ［▶/↵(3)］スイッチを 1 回押します。

- ネットワークステータスシート（3 枚）が印刷されます。ネットワークステータスシートの印刷には数秒かかります。
- 印刷が終了後しばらくすると印刷可ランプが点灯し、液晶ディスプレイに［インサツカノウ］と表示されます。

ネットワークステータスシートの印刷例（初期値）

参考
- （NONE）と表示される項目は､有効な値を設定すると､その値が表示されます。
- ネットワークステータスシートは、全部で３枚印刷されます。

```
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
HH EPSON Network Status Sheet (1/3) HH
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
<General Information>
Card Type                  EPSON Built-in 10Base-T/100Base-TX Print Server
MAC Address                  00:00:48:XX:XX:XX
Hardware                     XX.XX
Software                     XX.XX
Printer Model                LP-9800C
Time                         XXXX-XX-XX XX:XX:XX GMT+XX:XX

<Ethernet>
Network Status               100BASE-TX, Full Duplex

<Netware(R)>                 Enable
Network Address              (NONE)
Primary Frame Type           (NONE)
Mode                         Standby
Print Server Name            (NONE)
Polling Interval             (NONE)
NDS Tree                     (NONE)
NDS Context                  (NONE)
Primary File Server Name     (NONE)
Primary Print Server Name    (NONE)
Printer Port Number          (NONE)

<TCP/IP>
Get IP Address               Manual
IP Address                   (NONE)
Subnet Mask                  (NONE)
Default Gateway              (NONE)
APIPA                        Disable
Set using PING               Enable
Acquisition way of DNS ADDR  Disable
DNS Server Address           (NONE)
                             (NONE)
                             (NONE)
Acquire Host/Domain name     Disable
Host Name                    LP-9800C-XXXXXX
Domain Name                  (NONE)
Register the NW I/F to DNS   Disable
  Register directly to DNS   Disable
Universal Plug and Play      Disable
  Device Name                (NONE)
Rendezvous                   Disable
  Rendezvous Name            (NONE)
  Rendezvous Printer Name    (NONE)
  Rendezvous Service         (NONE)

HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH LP-9800C HH
```

```
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
HH EPSON Network Status Sheet (2/3) HH
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
<AppleTalk(R)>                Enable
Printer Name                  LP-9800C-XXXXXX
Zone Name                     *
Network Number Set            Auto
Network Number                65534
Node ID                       XXX
Entity Type #1                EPSONPAGEJ4

<MS Network(R)>               Enable
Print Server Name             EPXXXXXX
Workgroup Name                WORKGROUP
Share Name                    EPSON

<IPP>
IPP URL                       (NONE)
Printer Name                  EPSON_IPP_Printer
Location                      (NONE)

HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH LP-9800C HH
```

```
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
HH EPSON Network Status Sheet (3/3) HH
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
<SNMP>
Read Community                 public
IP Trap 1                      Disable
IP Trap Address 1              (NONE)
IP Trap Community 1            (NONE)
IP Trap Port 1                 (NONE)
IP Trap 2                      Disable
IP Trap Address 2              (NONE)
IP Trap Community 2            (NONE)
IP Trap Port 2                 (NONE)
IP Trap 3                      Disable
IP Trap Address 3              (NONE)
IP Trap Community 3            (NONE)
IP Trap Port 3                 (NONE)
IP Trap 4                      Disable
IP Trap Address 4              (NONE)
IP Trap Community 4            (NONE)
IP Trap Port 4                 (NONE)
IPX Trap 1                     Disable
IPX Trap Address 1             (NONE)
IPX Trap Community 1           (NONE)
IPX Trap Socket 1              (NONE)
IPX Trap 2                     Disable
IPX Trap Address 2             (NONE)
IPX Trap Community 2           (NONE)
IPX Trap Socket 2              (NONE)
IPX Trap 3                     Disable
IPX Trap Address 3             (NONE)
IPX Trap Community 3           (NONE)
IPX Trap Socket 3              (NONE)
IPX Trap 4                     Disable
IPX Trap Address 4             (NONE)
IPX Trap Community 4           (NONE)
IPX Trap Socket 4              (NONE)

<Time>
Time Server                    Disable
Time Server IP Address         (NONE)
Synchronize Interval           (NONE)
Time Difference(GMT+/-HH:MM)   +XX:XX
Time Server Status             Invalid

HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH LP-9800C HH
```

ネットワークインターフェイスの工場出荷時への戻し方

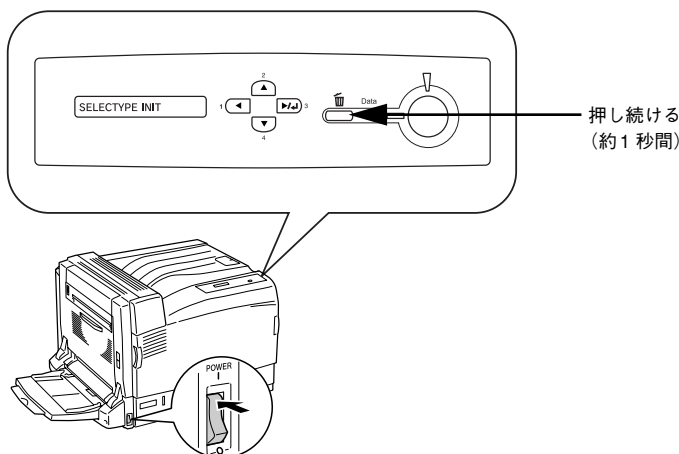
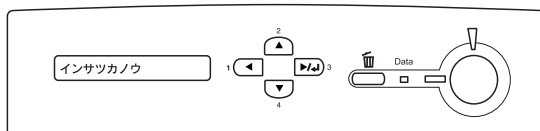
次の場合に、ネットワークインターフェイスを工場出荷時の状態に戻してください。

- ネットワークインターフェイスに誤った設定をした場合
- ネットワークインターフェイスが誤動作をして、ネットワークインターフェイスが設定ユーティリティに表示されなくなった場合

工場出荷時への戻し方は次の通りです。

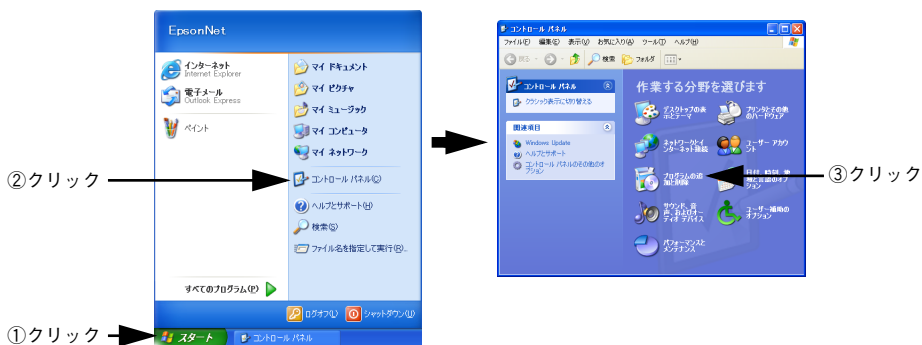
参 考	ネットワークインターフェイスを工場出荷時の状態に戻すと、他のすべてのパネル設定値も工場出荷時の状態に戻ります。

1. **本機の電源をオフにします。**

2. **［ジョブキャンセル］スイッチを押しながら、電源をオンにします。**
液晶ディスプレイの表示が［SELECTYPE INIT］と表示されるまで、約 1 秒間［ジョブキャンセル］スイッチを押し続けます。

3. **液晶ディスプレイの表示が［インサツカノウ］と表示されたら、ネットワークステータスシートを印刷してシートの記載内容を確認してください。**
231 ページ「ネットワークステータスシートの印刷」

ユーティリティの削除方法

ユーティリティの削除方法を説明します。

Windows 用ユーティリティ

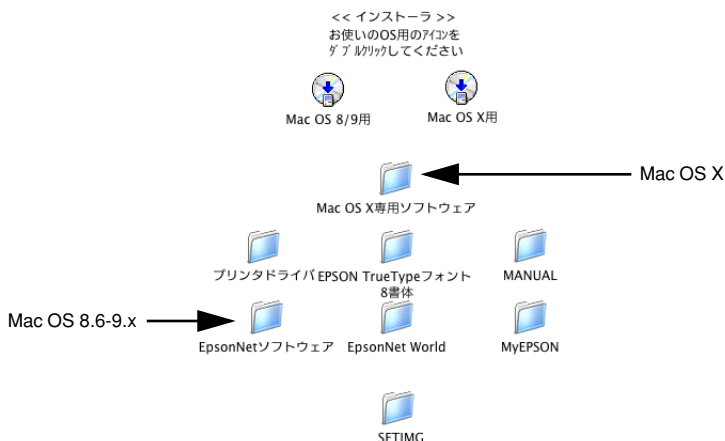
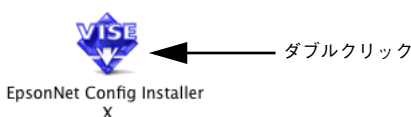
1. **［スタート］ボタン -［コントロールパネル］の順にクリックして、［プログラムの追加と削除］をクリックします。**
Windows 95/98/Me/2000/NT4.0 の場合は、［スタート］ボタン -［設定］-［コントロールパネル］の順にクリックして、［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

2. **削除したいユーティリティを選択して、［変更と削除］ボタンをクリックします**
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［削除］ボタンをクリックします。
Windows 95/98/Me/NT4.0 の場合は、［追加と削除］ボタンをクリックします。
この後は、画面の指示に従ってください。

Macintosh 用ユーティリティ

参 考	Mac OS X の場合、EpsonNet Config（Mac OS X）を削除するには管理者権限をもつユーザーでログインする必要があります。

EpsonNet Config（Mac OS 8/9 および Mac OS X）の削除方法を説明します。

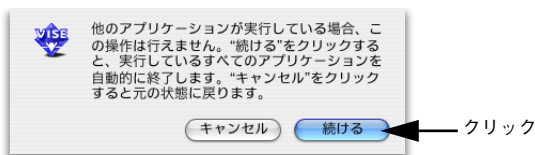
1. **コンピュータに、本製品付属の「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットし、デスクトップの CD-ROM アイコンをダブルクリックします。**
   Mac OS 8.6-9.x の場合は、コンピュータに CD-ROM をセットして次へ進みます。

2. **［Mac OS X 専用ソフトウェア］フォルダをダブルクリックして開き、［EpsonNet ソフトウェア］フォルダをダブルクリックして、［EpsonNet Config］フォルダをダブルクリックします。**
   Mac OS 8.6-9.x の場合は、［EpsonNet ソフトウェア］フォルダをダブルクリックします。

3. **［EpsonNet Config Installer X］アイコンをダブルクリックします。［認証］画面が表示されたら、パスワードを入力してください。**
   Mac OS 8.6-9.x の場合は、［EpsonNet Config Installer 9］アイコンをダブルクリックします。

4. **表示された画面で［続ける...］ボタンをクリックします。**

5 ［ライセンス］画面の使用許諾内容を確認し、［同意］ボタンをクリックします。

6 ［お読みください］画面の内容を確認し、［続ける］ボタンをクリックします。

7 画面上部のドロップダウンリストから［アンインストール］を選択し、［アンインストール］ボタンをクリックします。

8 ［続ける］ボタンをクリックします。

9 この後は、画面の指示に従ってアンインストールします。

10 ［終了］ボタンをクリックします。

ARP/PING コマンドでの IP アドレス設定

ARP/PING コマンドから、ネットワークインターフェイスの IP アドレスを設定する手順を説明します。
ARP/PING コマンドは、次の条件の両方を満たしたときに使えます。

- 設定に使うコンピュータが、ネットワークインターフェイスと同じセグメントにあるとき
- Windows に TCP/IP が正常に組み込まれ、設定されている場合

参考
本機の操作パネルの［IP アドレスセッテイ］で［PING］が選択されていることを確認してください。［PING］が選択されていない場合は、ARP/PING コマンドからの IP アドレス設定はできません。
操作パネルからの設定方法については、ユーザーズガイド（PDF）をご覧ください。

ネットワークインターフェイスの IP アドレスを 192.168.100.201（プライベートアドレス）に設定する場合を例に説明します。

ゲートウェイアドレスの設定

設定に使うコンピュータに、ゲートウェイアドレスを設定します。

1 ゲートウェイになるサーバやルータがある場合、そのサーバやルータのアドレスを設定します。

ゲートウェイがない場合は自分自身のコンピュータの IP アドレスをゲートウェイアドレスに設定します。
☞ 23 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

2 ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにし、［コマンドプロンプト］を起動してください。

Windows 95/98/Me の場合は、［MS-DOS プロンプト］を起動してください。

3 同一セグメント内の動作中コンピュータ、またはルータやゲートウェイがあれば、それらに対して PING コマンドを実行します。設定に使用しているコンピュータ以外の機器に対して、PING コマンドを実行してください。

書式）　ping_ 最寄りのコンピュータなどの IP アドレス（_ は半角スペース）
例 ）　IP アドレス 192.168.100.101 のコンピュータがある場合
　　　C:¥>ping_192.168.100.101
PING コマンドが成功すると、「Reply from 192.168.100.101: bytes=32 time<10ms TTL=255」というメッセージが表示されます (time などの値は変動します)。

❹ arpコマンドを実行して、ネットワークインターフェイスに設定したいIPアドレスを、ネットワークインターフェイスのMACアドレスと関連付けます。

参考

- IPアドレスは、ほかのネットワーク機器やコンピュータですでに使用されているIPアドレスと重複しないようにしてください。
- MACアドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。

231ページ「ネットワークステータスシート」

書式） arp_-s_ネットワークインターフェイスに設定したいIPアドレス_ネットワークインターフェイスのMACアドレス（_は半角スペース）

例） C:¥>arp_-s_192.168.100.201_00-00-48-93-00-00

❺ pingコマンドを実行して、ネットワークインターフェイスのIPアドレスを設定します。

書式） ping_手順4でネットワークインターフェイスに設定したIPアドレス（_は半角スペース）

例） C:¥>ping_192.168.100.201

ping コマンドが成功すると、「Reply from 192.168.100.201: bytes=32 time<10ms TTL=255」というメッセージが表示されます（timeなどの値は変動します）。ここで表示されたIPアドレスが192.168.100.201であることを確認します。

参考

- ここで「time out」などのメッセージが表示された場合、IPアドレスは正しく登録されていません。手順3から、再度設定をしてください。
- pingコマンドでIPアドレスを設定した場合、サブネットマスクはIPアドレスのクラスによって自動的に変更されます。ネットワーク環境に合わせてサブネットマスクおよびデフォルトゲートウェイを変更する場合は、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS8/9 および Mac OS X）から設定してください。設定方法については、以下のページをご覧ください。

51ページ「ネットワークインターフェイス設定」

❻ ネットワークステータスシートを印刷します。

ネットワークステータスシートに、ネットワークインターフェイスに設定したIPアドレスが印刷されます。ここでIPアドレスが正しく設定できたことを確認します。

231ページ「ネットワークステータスシート」

ユニバーサルプラグアンドプレイ機能

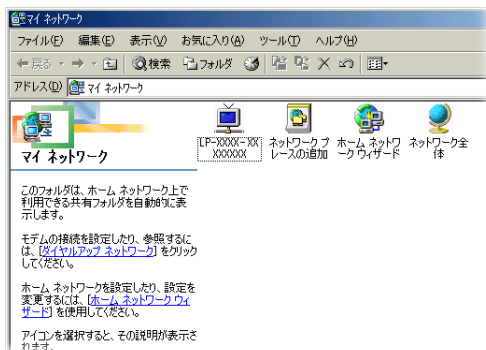
Windows Me 以降の、ユニバーサルプラグアンドプレイに対応した Windows から本機のネットワークインターフェイスを装着したプリンタを使う場合、次のような便利な機能が利用できます。
Windows Me でこれらの機能を使用する場合は、以下のページをご覧になり、［ユニバーサル プラグ アンド プレイ］をインストールしてください。
244 ページ「ユニバーサル プラグ アンド プレイのインストール」

参考
ネットワークインターフェイスのユニバーサルプラグアンドプレイ機能は、初期設定では無効になっています。使用するには、EpsonNet Config（Windows）または EpsonNet Config（Web）から設定してください。EpsonNet Config（Windows）による設定方法については、EpsonNet Config（Windows）のヘルプをご覧ください。
162 ページ「ユニバーサルプラグアンドプレイ設定」

ユニバーサルプラグアンドプレイ機能

Windows Me で利用できる機能を例に説明します。

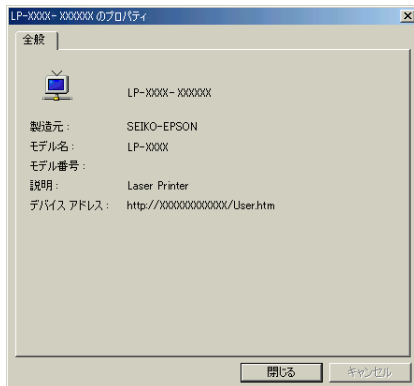
プリンタアイコンの自動表示

プリンタ（ネットワークインターフェイス）をネットワークに接続するだけで、［マイネットワーク］にプリンタアイコンが表示されます。

プリンタ情報の表示

自動表示されたプリンタアイコンをダブルクリックすると、プリンタの簡易情報が表示されます。
プリンタの簡易情報表示には、Web ブラウザを使用します。Web ブラウザは、Windows に標準で組み込まれているものをお使いいただけます。

☞ 154 ページ「EpsonNet Config（Web）の概要」

ネットワークインターフェイス情報の表示

自動表示されたプリンタアイコンを右クリックして［プロパティ］を選択すると、ネットワークインターフェイスの簡易情報（IP アドレスなど）を確認できます。

IP アドレスの自動設定

セグメント内で適切な IP アドレスが自動的に割り当てられる（DHCP サーバまたは UPnP の機能によって、ネットワークインターフェイスの IP アドレスが自動的に設定される）ため、ネットワークインターフェイスの IP アドレス設定が不要です。
ただし、TCP/IP 印刷をする場合は、手動で IP アドレスを設定することをお勧めします。

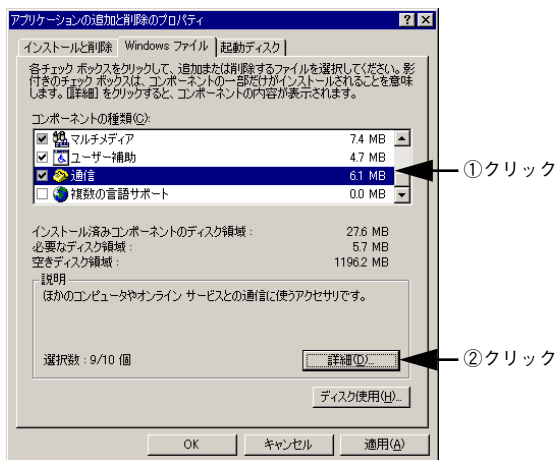
☞ 43 ページ「設定方法の概要」

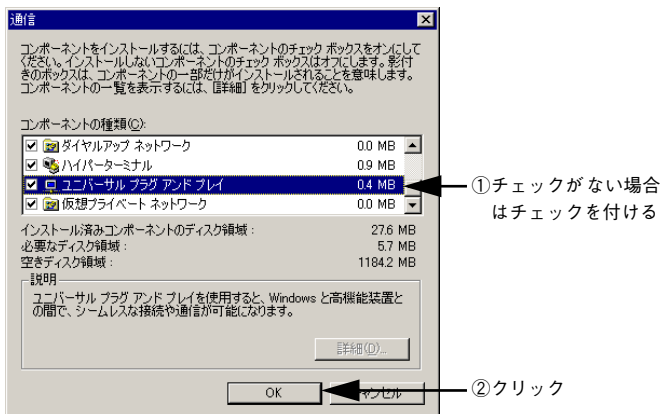
ユニバーサル プラグ アンド プレイのインストール

Windows Me をお使いの場合は、次の手順でインストールします。

1. [スタート] ボタン - [設定] - [コントロールパネル] の順にクリックして、[アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。

2. [Windows ファイル] タブをクリックします。

3. [コンポーネントの種類] 一覧の [通信] をクリックし、[詳細] ボタンをクリックします。

4. [ユニバーサル プラグ アンド プレイ] チェックボックスがチェックされていない場合は、チェックして、[OK] ボタンをクリックします。

チェックされている場合はインストール済みですので、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

5 ［コンポーネントの種類］一覧で、［OK］ボタンをクリックします。インストールが始まります。

6 インストールが終了したら、コンピュータを再起動します。

参 考	WindowsをCD-ROMからセットアップした場合は、そのCD-ROMをコンピュータに挿入するように求めるメッセージが表示されます。

用語集

A

APIPA

Automatic Private IP Addressing。ネットワーク機器に対して IP アドレスを自動的に割り当て、利用するための機能。DHCP サーバが存在しない小規模なネットワークなどで、IP アドレスの割り当てと管理を行う。APIPA を利用することによって、ユーザーはネットワークの IP アドレスを意識することなく、ネットワーク上のほかのクライアント等と通信することができる。

AppleTalk

すべての Macintosh に標準で付属する、LAN システムの規格、もしくはネットワークソフトウェアの名称。Macintosh の標準的なネットワークプロトコルになっている。

ARP

Address Resolution Protocol。TCP/IP プロトコル群に属するアドレス解決プロトコル。ホストの IP アドレスから MAC アドレスを検索するときに用いる。相手のホストが保持している IP アドレスと MAC アドレスの対応法を変更する場合にも使う。

D

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol。コンピュータの IP アドレスやデフォルト・ゲートウェイなどの TCP/IP 関連情報をサーバに問い合わせて自動的に設定するプロトコル。クライアントの起動時に、サーバが空いている IP アドレスを自動的に割り当てる。

DNS

Domain Name System。ネットワーク上のコンピュータ名と、その IP アドレスとの対応付けを行う仕組み。IP アドレスは 4 桁の 8 ビット単位での数値のため、人間にとっては覚えにくい。そこで、人間が覚えやすいような名前（ドメイン名）との対応を保存しておき、必要に応じてドメイン名から IP アドレスへの変換を行う。変換を行うサーバを DNS サーバという。

E

ESC/P

Epson Standard Code for Printer。エプソンが開発したプリンタ制御コードの体系。ドットインパクトプリンタに最初に搭載され、業界標準となっている。

ESC/Page

Epson Standard Code for Page Printer。ESC/P をベースにページプリンタ用に拡張したページ記述言語。ページ内での位置制御やグラフィックス描画、オーバーレイ（重ね合わせ）など、多彩な機能が組み込まれている。

ESC/PS
Epson Standard Code for Printer Super。日本電気の PC-PR 系のプリンタが採用していた制御コードと ESC/P の双方の制御コードに対応した拡張版で、両者のコードは自動的に判別され、制御モードが切り替わるようになっている。

EtherTalk
Macintosh 用の LAN を実現するためのシステムの 1 つ。Ethernet のケーブルを使って運用する AppleTalk ネットワークのこと。Ethernet インターフェイスを接続し、コントロールパネルで EtherTalk を選択すればよい。

H

HUB
ネットワークを構築する際に必要な集線装置。複数本のシールドツイストペアケーブルを RJ-45 モジュラージャックで接続し、スター型 LAN を構築する。

I

IPP
Internet Printing Protocol。IPP を使うことにより、インターネットを経由しての印刷が可能となる。

IPX
Internetwork Packet Exchange。Novell 社の NetWare のプロトコル。

IP アドレス
IP による通信でネットワーク内の各コンピュータに割り振られる番号(アドレス)のこと。国内では日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC) が IP アドレスの登録手続きを代行しており、ここから世界的にユニークな IP アドレスを取得できる。

L

LPR
Line Printer Daemon Protocol。BSD UNIX で使われてきたリモート印刷プロトコル。TCP/IP 上で動作する。

M

MAC アドレス
Media Access Control アドレス。ネットワーク機器に組み込まれている機器固有の物理アドレス。

MIB
Management Information Base。ネットワーク管理のための SNMP(Simple Network Management Protocol) マネージャと SNMP エージェントとでやりとりされるネットワーク管理のための一種のデータベースで、100 以上のオブジェクト(管理対象)を含むテーブルになっている。管理対象となる機器ごとに MIB を持つ。

N

NDPS

Novell Distributed Print Services。米 Novell 社の NetWare が提供する分散プリント機能。NDPS によりプリンタ管理に要するコストの削減や、ネットワークを利用するユーザーや管理者の生産性を引き上げることを目的としている。

NDS

Novell Directory Services。米 Novell 社の NetWare4.0 以降に搭載されているディレクトリ・サービス機能。ユーザーやサーバ、プリンタなどの共有資源を一元管理できる。各資源はツリー状のネットワーク構造で論理的に配置することができる。
一度 NetWare にログインすれば、それ以降はそれぞれの NetWare サーバにログインすることなく、ネットワーク全体のサーバやプリンタなどが使えるようになる。

NetBEUI

通信プロトコルの 1 つ。ネットワーク・アドレスの設定が不要だが、ルータを越えての使用はできない。

NetBIOS

パソコン・ネットワーク用の通信プロトコルと API の規約。

NetWare

米 Novell 社が開発したパソコン LAN 用ネットワーク OS。IPX/SPX という独自プロトコルを使用する。

NWADMIN

NetWare 4.x のファイルシステム管理ツール。ネットワーク管理者はツリー内のすべてのオブジェクトを管理できる。オブジェクトの作成、オブジェクトのプロパティの変更、コンテキスト上から別の場所へのコンテキストの移動が行える。また、ファイルシステム、ディレクトリサービスのトラスティ、ツリーにあるすべてのオブジェクトの有効な権利を確認できる。

P

PCONSOLE

NetWare3.x のプリントサービス設定、管理ツール。

PING

TCP/IP が実装されたコンピュータ間で送受信テストを行い、接続の確認に使用するコマンド。LAN 環境もしくはコンピュータ自体の設定に障害が発生している場合、障害箇所を特定する際に、まずローカル・ホストに対して ping コマンドを実行し、正常に TCP/IP が実装されているか確認する。

PS

PostScript。アドビシステムズ社が開発したページ記述言語。高品位の印刷ができるため、DTP 用のレイアウトソフトがこの形式を採用している。文字・図形・画像などと、これらの属性とページ内での位置を指定することができる。1996 年には PDF 形式への対応などを追加した Level 3 が発表されている。

R

Rendezvous

Mac OS X 10.2.x から採用された LAN 内の通信プロトコル。IETF（Internet Engineering Task Force）で議論されている「Zeroconf」という技術がベースになっている。TCP/IP ネットワーク上で動作し、IP アドレスの自動割り当て、IP アドレスに対するサービス名の割り当て、LAN 内の Rendezvous 対応機器の認識という 3 つの作業を自動で行う。

S

SNMP

Simple Network Management Protocol。TCP/IP ネットワーク管理の標準プロトコルで、ネットワークの構成や、HUB、ルータなどのネットワーク機器に関しての管理情報のやり取りに使用される。ネットワーク管理システムは「マネージャ」、ネットワーク機器は「エージェント」などといわれる。

T

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocol。インターネット標準の通信プロトコル。RFC（Request for Comments）の形で公開されているため、広く普及している。

U

UPnP

Universal Plug and Play。Microsoft の新技術で、Windows Me で機能が提供されている。Web ベースのプロトコルを使って各種のデバイスが互いに存在を確認しあい、やり取りできるようにするもの。例えばプリンタをネットワークに接続するだけで、ネットワーク上でプリンタを認識することができる。

イ

インターネット印刷

Windows 2000 以降 の OS に実装されている機能。Web ブラウザから、ファイアウォールを越えた先にあるプリンタへ印刷することができる。

エ

エンティティタイプ

オブジェクトのタイプ。これにより、オブジェクトが正当なものであるか否かを識別できる。

ケ

ゲートウェイ

クライアントのアクセスを代行する代理サーバ。企業では一般に社内LANとインターネットの間にゲートウェイ・サーバを設置し、社内LANからはゲートウェイ・サーバ経由でインターネットへアクセスする。異なるプロトコルのシステムやネットワークを相互に接続する。中継機能専用のコンピュータはルータと呼び、ゲートウェイとは区別する。

コ

コンテキスト

NetWare の NDS で、ディレクトリツリー内の各オブジェクトの配置を示すもの。会社名、組織名、部門名などの要素から構成される。

サ

サブネットマスク

TCP/IP ネットワークでは、同じネットワーク部を持ったコンピュータ同士が通信できる。したがってネットワーク部とホスト部とを区別する必要があり、その際に使用されるのがサブネットマスク。サブネットマスクは IP アドレス同様に 32 ビットからなり、クラス C では 24 ビット (255.255.255.0) が標準で使用される。

シ

シールドツイストペアケーブル

電線を 2 本ずつより合わせて対にしたケーブル。Ethernet や電話のモジュラーケーブル、USB ケーブルなどに使われている。電気干渉に強い構造となっているものを、シールド型と呼ぶ。

ソ

ゾーン名

AppleTalk で設定される、サーバやプリンタなどのネットワーク資源を論理的に扱うためのグループ。

タ

ダイナミック DNS

IP アドレスとホスト名の組み合わせを動的に更新する DNS 。これにより、ホストの IP アドレスが DHCP によって変わっても、ホスト名は維持される。LAN 内にダイナミック DNS 対応の DHCP サーバが必要。

ネ

ネットワーククラス

IP アドレスは、ネットワーク ID とホスト ID の区切り位置によって、A、B、C の 3 つのクラスに分けられる。たとえば、クラス A は、IP アドレスの上位 8 ビットがマスクされている。どのクラスに属するかは、企業などが IP アドレスを取得する際に決定する。

ハ

バインダリ

NetWare3.x で、ユーザー、グループ、ワークグループなどの構成要素を定義しているデータベース。NetWare4.x 以降は、バインダリの代わりに NDS を使用。

フ

フレームタイプ

ネットワーク上の通信（Workstation ← packet → Client）で、パケットに定義されているもの。サーバがサポートするフレームタイプに合わせて設定する。

プロキシサーバ

インターネットと接続する際に、セキュリティを確保するために設置されるサーバ。

ホ

ポート番号

TCP や UDP が備える機能で、複数アプリケーションを同一コンピュータまたはサーバ上で扱うための仕組み。サーバやパソコンは、インターネットから受信したパケットを、ポート番号によって引き渡すアプリケーションを特定する。

ポーリング

NetWare の、プリンタ環境設定オプションの 1 つ。ポートドライバ（NPRINTER）が定期的にデータポートを確認（ポーリング）し、データポートがプリンタにデータを転送する準備ができているかを調べる。

ユ

ユニバーサルプラグアンドプレイ

UPnP（Universal Plug and Play）。Microsoft の新技術で、ネットワーク上のデバイスを自動的に認識する機能。この機能は Windows Me 以降で提供されている。

索引

数字

A

C

D

E

F

H

I

L

M

N

P

R

S

T

U

あ

い

う

え

お

か

き

け

こ

さ

し

す

せ

そ

た

て

と

も

ゆ

よ

ら

り

れ

ろ

わ

改訂履歴

Revision	改訂ページ	改訂内容	備考
NPD0648_01	全て	新規制定	